

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																										
現 行		改 正																																																																																																																										
<p>5. 障害の有無 有り：①床掘作業において、障害物等により施工条件に制限がある場合（たとえば作業障害が多い場合） ②土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がある場合 無し：①構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合 ②構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締め切り工法掘削の場合 ③土留・仮締切工の中に切梁・腹起し又は基礎杭等の障害がない場合</p> <p>6. 施工方法「標準」及び「平均施工幅1m以上2m未満」において掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業を行う場合は、障害の有無で「有り」を適用する。</p> <p>7. 小型バックホウの坑内搬入搬出については、「3-2 掘削補助機械搬入搬出」により計上する。</p> <p>8. 坑内でバックホウを使用する場合、及び基面整正、床掘補助作業に防護施設、送風機等が必要な場合は別途計上する。</p>		<p>現行どおり</p>																																																																																																																										
<p>表3.2 障害の有無</p> <table border="1"> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> <tr> <td>障害の有無</td> <td>無し 有り</td> </tr> </table>		積算条件	区 分	障害の有無	無し 有り																																																																																																																							
積算条件	区 分																																																																																																																											
障害の有無	無し 有り																																																																																																																											
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.3 床掘り 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">代表機材規格</th> <th colspan="4">施工方法</th> <th rowspan="2">左記以外 (小規模)</th> <th rowspan="2">現場 制約 あり</th> </tr> <tr> <th>標準</th> <th>平均 施工幅 1m以上 2m未満</th> <th>掘削 深さ 5m超 20m以下</th> <th>掘削 深さ 20m超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.8m³（平積 0.6m³）</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.45m³（平積 0.35m³）</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m³（平積 0.2m³）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラムシェル[油圧ロープ式・クローラ型] 平積 0.8m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラムシェル[油圧クラムシェル・テレスコピック式] 平積 0.4m³</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小型バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.08m³（平積 0.06m³）</td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※◎：障害有りの場合，△：土留方式無し以外の場合</p>		項目	代表機材規格	施工方法				左記以外 (小規模)	現場 制約 あり	標準	平均 施工幅 1m以上 2m未満	掘削 深さ 5m超 20m以下	掘削 深さ 20m超	機械	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	○						バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）		○					バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）					○		クラムシェル[油圧ロープ式・クローラ型] 平積 0.8m ³				○			クラムシェル[油圧クラムシェル・テレスコピック式] 平積 0.4m ³			○				小型バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.08m ³ （平積 0.06m ³ ）			◎	○			労務	R1 運転手（特殊）	○	○	○	○	○		R2 普通作業員	△	△	○	○	○	○	R3 特殊作業員			◎	○			R4 -							材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	○	○	○	○	○		Z2 -							Z3 -							Z4 -							市場単価	S -							<p>次頁へ移動</p>	
項目	代表機材規格			施工方法						左記以外 (小規模)	現場 制約 あり																																																																																																																	
		標準	平均 施工幅 1m以上 2m未満	掘削 深さ 5m超 20m以下	掘削 深さ 20m超																																																																																																																							
機械	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	○																																																																																																																										
	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）		○																																																																																																																									
	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）					○																																																																																																																						
	クラムシェル[油圧ロープ式・クローラ型] 平積 0.8m ³				○																																																																																																																							
	クラムシェル[油圧クラムシェル・テレスコピック式] 平積 0.4m ³			○																																																																																																																								
	小型バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）] 山積 0.08m ³ （平積 0.06m ³ ）			◎	○																																																																																																																							
労務	R1 運転手（特殊）	○	○	○	○	○																																																																																																																						
	R2 普通作業員	△	△	○	○	○	○																																																																																																																					
	R3 特殊作業員			◎	○																																																																																																																							
	R4 -																																																																																																																											
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油	○	○	○	○	○																																																																																																																						
	Z2 -																																																																																																																											
	Z3 -																																																																																																																											
	Z4 -																																																																																																																											
市場単価	S -																																																																																																																											
1・④・5																																																																																																																												
積算上の注意事項		(控え頁) 1/2																																																																																																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

前頁より移動 →

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.3 床掘り 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	施工方法					備考
		標準	平均 施工幅 1m以上 2m未満	掘削 深さ 5m超 20m以下	掘削 深さ 20m超	左記 以外 (小規模)	
機械	バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第23次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	○					賃料
	バックホウ(クローラ型) [標準型後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第43次基準値)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		○				賃料
	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)					○	
	クラムシェル [油圧ロープ式・クローラ型] 平積0.8m ³				○		
	クラムシェル [油圧クラムシェル・テレスコピック式] 平積0.4m ³			○			
	小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.08m ³ (平積0.06m ³)			◎	○		
K3	—						
労務	R1 運転手(特殊)	○	○	○	○	○	
	R2 普通作業員	△	△	○	○	○	○
	R3 特殊作業員			◎	○		
	R4	—					
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油	○	○	○	○	○	
	Z2	—					
	Z3	—					
	Z4	—					
市場単価	S	—					

※◎：障害有りの場合，△：土留方式無し以外の場合

代表機械の変更
(歩掛り改定に伴う)

1・④・6

積算上の注意事項		(控え頁) 2/2
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現 行	改 正	備 考	
	<p>⑥ 人力運搬工</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、機械運搬が使用出来ない箇所での人力運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、仮置きされた土砂等の人力積込～人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-2 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の人力積込～人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-3 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）積ブロック類</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、仮置きされた積ブロック類（控35cm）の人力積込～人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-4 人肩運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、人力掘削（床掘り）から人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-5 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、仮置きされた土砂等の人力積込～小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-6 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の人力積込～小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-7 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）積ブロック類</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、仮置きされた積ブロック類（控35cm）の人力積込～小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-8 小車運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、人力掘削（床掘り）から小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> </div>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、機械運搬が使用出来ない箇所において、小車を使用した人力運搬に適用する。 なお、法勾配は1:3.75（15度）以下の現場に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、仮置きされた土砂等の人力積込～人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-2 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の人力積込～人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-3 人肩運搬（積込み～運搬～取卸し）積ブロック類</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、仮置きされた積ブロック類（控35cm）の人力積込～人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-4 人肩運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度未満で、人力掘削（床掘り）から人肩運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-5 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）土・石</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、仮置きされた土砂等の人力積込～小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-6 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）セメント等</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の人力積込～小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-7 小車運搬（積込み～運搬～取卸し）積ブロック類</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、仮置きされた積ブロック類（控35cm）の人力積込～小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>1-1-8 小車運搬（運搬～取卸し）</p> <p>(1) 道路幅員が0.5m程度以上で、人力掘削（床掘り）から小車運搬～人力取卸しの一連作業を行う場合</p> <p>(1) 人力運搬（積込み～運搬～取卸し）は、人力による積込み、小車による運搬、人力による取卸しに適用し、人力運搬（運搬～取卸し）は、小車による運搬、人力による取卸しに適用する。</p> <p>(2) 運搬対象は土砂（粘性土、砂、砂質土、レキ質土、岩塊・玉石混り土）とする。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 人力運搬（積込み～運搬～取卸し）</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(2) 人力運搬（運搬～取卸し）</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div>	<p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	1・⑥・1		(控え頁) 1/9

改正理由	一部改正	改正 現行																																																			
現行		改正																																																			
<div data-bbox="359 520 1225 1724" data-label="Complex-Block"> <p>2. 施工パッケージ 2-1 人肩運搬（積み込み～運搬～取卸し）土・石 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 人肩運搬（積み込み～運搬～取卸し）土・石 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土砂</td> <td rowspan="3">(表2.2)</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石</td> </tr> <tr> <td>栗石・クラッシュラン</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、仮置きされた土砂等の積み込み～人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積み込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 6$ L：換算距離 (m) H：水平距離 (m) h：高低差 (m)</p> <p>表2.2 換算距離</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">換算距離</td> <td>20m以下</td> </tr> <tr> <td>40m以下</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td> </tr> <tr> <td>80m以下</td> </tr> <tr> <td>100m以下</td> </tr> <tr> <td>120m以下</td> </tr> <tr> <td>140m以下</td> </tr> <tr> <td>160m以下</td> </tr> <tr> <td>180m以下</td> </tr> <tr> <td>200m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表2.3 人肩運搬（積み込み～運搬～取卸し）土・石 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div>		土質	換算距離	土砂	(表2.2)	岩塊・玉石	栗石・クラッシュラン	積算条件	区分	換算距離	20m以下	40m以下	60m以下	80m以下	100m以下	120m以下	140m以下	160m以下	180m以下	200m以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	-	R3	-	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<div data-bbox="1596 520 1745 548" data-label="Text"> <p>23. 施工パッケージ</p> </div> <div data-bbox="1872 1073 2125 1192" data-label="Text"> <p>削除</p> </div>	<div data-bbox="2599 527 2816 590" data-label="Text"> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> </div> <div data-bbox="2599 1066 2816 1129" data-label="Text"> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> </div>
土質	換算距離																																																				
土砂	(表2.2)																																																				
岩塊・玉石																																																					
栗石・クラッシュラン																																																					
積算条件	区分																																																				
換算距離	20m以下																																																				
	40m以下																																																				
	60m以下																																																				
	80m以下																																																				
	100m以下																																																				
	120m以下																																																				
	140m以下																																																				
	160m以下																																																				
	180m以下																																																				
	200m以下																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																			
機械	K1	-																																																			
	K2	-																																																			
	K3	-																																																			
労務	R1	普通作業員																																																			
	R2	-																																																			
	R3	-																																																			
	R4	-																																																			
材料	Z1	-																																																			
	Z2	-																																																			
	Z3	-																																																			
	Z4	-																																																			
市場単価	S	-																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/9																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																	
現行	改正		備考																																
<p>2-2 人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.4 人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1" data-bbox="489 695 1154 789"> <tr> <td>換算距離</td> </tr> <tr> <td>(表2.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の積込み～人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 6$ L：換算距離(m) H：水平距離(m) h：高低差(m)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表2.5 人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" data-bbox="406 1201 1181 1598"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">1・⑥・3</p>	換算距離	(表2.2)	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
換算距離																																			
(表2.2)																																			
項目	代表機労材規格	備考																																	
機械	K1	—																																	
	K2	—																																	
	K3	—																																	
労務	R1	普通作業員																																	
	R2	—																																	
	R3	—																																	
	R4	—																																	
材料	Z1	—																																	
	Z2	—																																	
	Z3	—																																	
	Z4	—																																	
市場単価	S	—																																	
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>3/9</p>																																

改正理由	一部改正	改正 現行																																		
現 行		改 正																																		
<p>2-3 人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.6 人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1"> <tr> <td>換算距離</td> </tr> <tr> <td>(表2.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、仮置きされた積ブロック類(控35cm)の積込み～人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 6$ L: 換算距離(m) H: 水平距離(m) h: 高低差(m)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表2.7 人肩運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		換算距離	(表2.2)	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	-	R3	-	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">削除</div>	
換算距離																																				
(表2.2)																																				
項目	代表機労材規格	備考																																		
機械	K1	-																																		
	K2	-																																		
	K3	-																																		
労務	R1	普通作業員																																		
	R2	-																																		
	R3	-																																		
	R4	-																																		
材料	Z1	-																																		
	Z2	-																																		
	Z3	-																																		
	Z4	-																																		
市場単価	S	-																																		
備考		記載の削除 (歩掛り改定に伴う)																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 4/9																																	

改正理由	一部改正	改正 現行																																																								
現 行		改 正																																																								
<p>2-4 人肩運搬(運搬～取卸し)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.8 人肩運搬(運搬～取卸し) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>掘削(床掘り)の有無</th> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土砂</td> <td>無し</td> <td rowspan="4">(表2.2)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、人力掘削(床掘り)から人肩運搬～取卸しの一連作業他、人肩用のモッコ代等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積み込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 6$ L：換算距離(m) H：水平距離(m) h：高低差(m)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表2.9 人肩運搬(運搬～取卸し) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1・⑥・5</p>		土質	掘削(床掘り)の有無	換算距離	土砂	無し	(表2.2)	有り	岩塊・玉石	無し	有り	項目	代表機労材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	—		R3	—		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; text-align: center;"> <p>削除</p> </div>		備考
土質	掘削(床掘り)の有無	換算距離																																																								
土砂	無し	(表2.2)																																																								
	有り																																																									
岩塊・玉石	無し																																																									
	有り																																																									
項目	代表機労材規格		備考																																																							
機械	K1	—																																																								
	K2	—																																																								
	K3	—																																																								
労務	R1	普通作業員																																																								
	R2	—																																																								
	R3	—																																																								
	R4	—																																																								
材料	Z1	—																																																								
	Z2	—																																																								
	Z3	—																																																								
	Z4	—																																																								
市場単価	S	—																																																								
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>5/9</p>																																																							

記載の削除
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

2-5 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表2.10 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石 積算条件区分一覧
(積算単位：m³)

土質	換算距離
土砂	(表 2.2)
岩塊・玉石	
栗石・クラッシュラン	

(注) 1. 上表は、仮置きされた土砂等の積込み～小車運搬～取卸しの一連作業他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。
2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。
なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。
L = H + h × 8
L : 換算距離 (m)
H : 水平距離 (m)
h : 高低差 (m)

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表2.11 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1	—
	K 2	—
	K 3	—
労務	R 1	普通作業員
	R 2	—
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1	—
	Z 2	—
	Z 3	—
	Z 4	—
市場単価	S	—

1・⑥・6

~~表3-⑥-1~~ **表23.10 小車人力運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石**
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表23.10 小車人力運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石 積算条件区分一覧
(積算単位：m³)

土質	換算距離
土砂	(表 23.2)
岩塊・玉石	
栗石・クラッシュラン	

(注) 1. 上表は、仮置きされた土砂等の積込み～~~小車~~人力運搬～取卸しの一連作業~~の他~~、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。
2. ~~運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。~~
~~なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。また、複数個所で積込み(または取卸し)をする場合は、その中心を起点(または終点)として水平距離を算出する。~~
L = H + h × 8
L : 換算距離 (m)
H : 水平距離 (m)
h : 高低差 (m)

表3.2 換算距離

積算条件	区分
換算距離	20m以下
	40m以下
	60m以下
	80m以下
	100m以下
	120m以下
	140m以下
	160m以下
	180m以下
	200m以下

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表23.113 小車人力運搬(積込み～運搬～取卸し)土・石 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1	—
	K 2	—
	K 3	—
労務	R 1	普通作業員
	R 2	—
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1	—
	Z 2	—
	Z 3	—
	Z 4	—
市場単価	S	—

1・⑥・2

語句の追加・修正
(歩掛り改定に伴う)

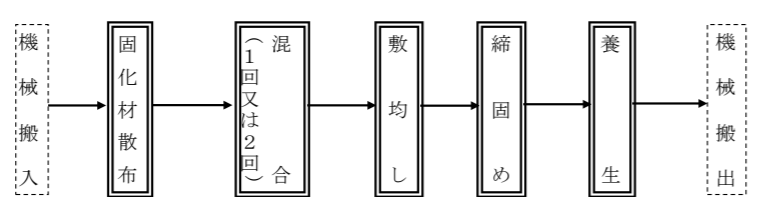
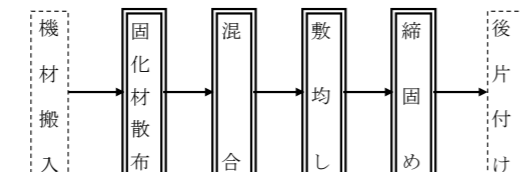
記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																																		
現行		改正																																		
<p>2-6 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.12 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1"> <tr> <td>換算距離</td> </tr> <tr> <td>(表 2.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、仮置きされたセメント、鋼材、木材、二次製品等の積込み～小車運搬～取卸しの一連作業他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 8$ L：換算距離(m) H：水平距離(m) h：高低差(m)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表2.13 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)セメント等 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		換算距離	(表 2.2)	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	—	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">削除</div>	
換算距離																																				
(表 2.2)																																				
項目	代表機労材規格	備考																																		
機械	K 1	—																																		
	K 2	—																																		
	K 3	—																																		
労務	R 1	普通作業員																																		
	R 2	—																																		
	R 3	—																																		
	R 4	—																																		
材料	Z 1	—																																		
	Z 2	—																																		
	Z 3	—																																		
	Z 4	—																																		
市場単価	S	—																																		
1・⑥・7		記載の削除 (歩掛り改定に伴う)																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 7/9																																	

改正理由	一部改正	改正 現行																																		
現行		改正																																		
<p>2-7 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.14 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <tr> <td>換算距離</td> </tr> <tr> <td>(表 2.2)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、仮置きされた積ブロック類(控 35cm)の積込み～小車運搬～取卸しの一連作業他、小車の損料等、の施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 8$ L：換算距離(m) H：水平距離(m) h：高低差(m)</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表2.15 小車運搬(積込み～運搬～取卸し)積ブロック類 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		換算距離	(表 2.2)	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	—	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">削除</p>	
換算距離																																				
(表 2.2)																																				
項目	代表機労材規格	備考																																		
機械	K 1	—																																		
	K 2	—																																		
	K 3	—																																		
労務	R 1	普通作業員																																		
	R 2	—																																		
	R 3	—																																		
	R 4	—																																		
材料	Z 1	—																																		
	Z 2	—																																		
	Z 3	—																																		
	Z 4	—																																		
市場単価	S	—																																		
1・⑥・8		記載の削除 (歩掛り改定に伴う)																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 8/9																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																					
現	行	改	正																																																																																					
<p>2-8 小車運搬(運搬～取卸し) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.16 小車運搬(運搬～取卸し) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>掘削(床掘り)の有無</th> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土砂</td> <td>無し</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩塊・玉石</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、人力掘削(床掘り)から小車運搬～取卸しの一連作業他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。 $L = H + h \times 8$ L：換算距離(m) H：水平距離(m) h：高低差(m)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.17 小車運搬(運搬～取卸し) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">1・⑥・9</p>		土質	掘削(床掘り)の有無	換算距離	土砂	無し	(表 2.2)	有り	岩塊・玉石	無し	有り	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>2-8 2 小車人力 運搬(運搬～取卸し) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.164 小車人力運搬(運搬～取卸し) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>掘削(床掘り)の有無</th> <th>換算距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土砂</td> <td>無し</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表 2.2)</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>岩塊・玉石</td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、人力掘削(床掘り)から小車人力運搬～取卸しの一連作業の他、小車の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離とは、積込み中心より荷卸し中心間の平均片道距離をいう。 なお、地形等により高低差がある場合は、下記の式により補正した距離を適用する。また、複数個所で積込み(または取卸し)をする場合は、その中心を起点(または終点)として水平距離を算出する。 $L = H + h \times 8$ L：換算距離(m) H：水平距離(m) h：高低差(m)</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.175 小車人力運搬(運搬～取卸し) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">1・⑥・3</p>		土質	掘削(床掘り)の有無	換算距離	土砂	無し	(表 2.2)	土砂	有り	岩塊・玉石	無し	岩塊・玉石	有り	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正</p>
土質	掘削(床掘り)の有無	換算距離																																																																																						
土砂	無し	(表 2.2)																																																																																						
	有り																																																																																							
岩塊・玉石	無し																																																																																							
	有り																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																						
機械	K1	—																																																																																						
	K2	—																																																																																						
	K3	—																																																																																						
労務	R1	普通作業員																																																																																						
	R2	—																																																																																						
	R3	—																																																																																						
	R4	—																																																																																						
材料	Z1	—																																																																																						
	Z2	—																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						
土質	掘削(床掘り)の有無	換算距離																																																																																						
土砂	無し	(表 2.2)																																																																																						
土砂	有り																																																																																							
岩塊・玉石	無し																																																																																							
岩塊・玉石	有り																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																						
機械	K1	—																																																																																						
	K2	—																																																																																						
	K3	—																																																																																						
労務	R1	普通作業員																																																																																						
	R2	—																																																																																						
	R3	—																																																																																						
	R4	—																																																																																						
材料	Z1	—																																																																																						
	Z2	—																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 9/9																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>⑦ 安定処理工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地盤改良工における安定処理に適用する。</p> <p>(1) スタビライザ混合 現位置での路上混合作業で、混合深さ1m以下、かつ1層までの混合に適用する。 なお、1層の混合深さが1mを超える場合や2層以上混合する場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) バックホウ混合 現場条件によりスタビライザによる施工出来ない路床改良工事、及び構造物基礎の地盤改良工事で、1層の混合深さが路床1m以下・構造物基礎2m以下における現位置での混合作業に適用する。 なお、固化材はセメント系のみとし、路床改良における適用可能な現場条件とは次のいずれかに該当する箇所とする。</p> <p>① 施工現場が狭隘な場合 ② 転石がある場合 ③ 移設出来ない埋設物がある場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) スタビライザ混合</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 養生中の飛散防止等の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>(2) バックホウ混合</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">1・⑦・1</p>		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p><u>現場条件によりスタビライザによる施工出来ない路床改良工事、及び構造物基礎の地盤改良工事で、1層の混合深さが路床1m以下・構造物基礎2m以下における現位置での混合作業に適用する。</u> <u>現場条件によりスタビライザによる施工が出来ない路床改良工事のうち1層の混合深さが路床1m以下における現位置での混合作業、又は構造物基礎の地盤改良工事で1層の混合深さが2m以下における現位置での混合作業に適用する。</u></p>	記載の追加・削除
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.2 安定処理 代表機材規格一覧

使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考		
スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合		
			K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合		
		K2 ブルドーザ湿地 [低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 7t 級	賃料			
	-	K3 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t	賃料			
			R1 運転手(特殊) R2 普通作業員 R3 土木一般世話役 R4 -			
				Z1 セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック Z2 軽油 1.2号 バトロール給油 Z3 - Z4 -		
					S 市場単価	
	バックホウ	路床			機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t
			K2 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t			賃料
			K3 -			
		R1 運転手(特殊) R2 普通作業員 R3 土木一般世話役 R4 -				
			Z1 セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック Z2 軽油 1.2号 バトロール給油 Z3 - Z4 -			
				S 市場単価		
	バックホウ			構造物基礎	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t
K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式・超低騒音型] 運転質量 0.8~1.1t		賃料				
K3 -						
R1 土木一般世話役 R2 運転手(特殊) R3 特殊作業員 R4 普通作業員						
		Z1 セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック Z2 軽油 1.2号 バトロール給油 Z3 - Z4 -				
			S 市場単価			

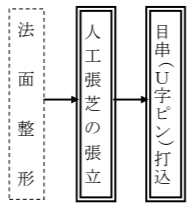
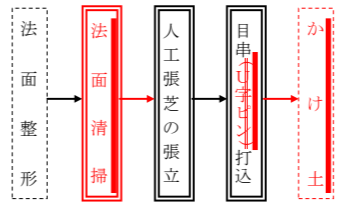
現行どおり

表3.2 安定処理 代表機材規格一覧

使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考		
スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 0.6m×幅 2.0m	混合深さ 0.6m以下の場合		
			K1 スタビライザ [路床改良用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 処理深さ 1.2m×幅 2.0m	混合深さ 0.6mを超え 1m以下の場合		
		K2 ブルドーザ湿地 [低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 7t 級 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料			
	-	K3 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t	賃料			
			R1 運転手(特殊) R2 普通作業員 R3 土木一般世話役 R4 -			
				Z1 セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック Z2 軽油 1.2号 バトロール給油 Z3 - Z4 -		
					S 市場単価	
	バックホウ	路床			機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t
			K2 タイヤローラ [普通型・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 8~20t			賃料
			K3 -			
		R1 運転手(特殊) R2 普通作業員 R3 土木一般世話役 R4 -				
			Z1 セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック Z2 軽油 1.2号 バトロール給油 Z3 - Z4 -			
				S 市場単価		
	バックホウ			構造物基礎	機械	K1 バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t
K2 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.8~1.1t		賃料				
K3 -						
R1 土木一般世話役 R2 運転手(特殊) R3 特殊作業員 R4 普通作業員						
		Z1 セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1t バック Z2 軽油 1.2号 バトロール給油 Z3 - Z4 -				
			S 市場単価			

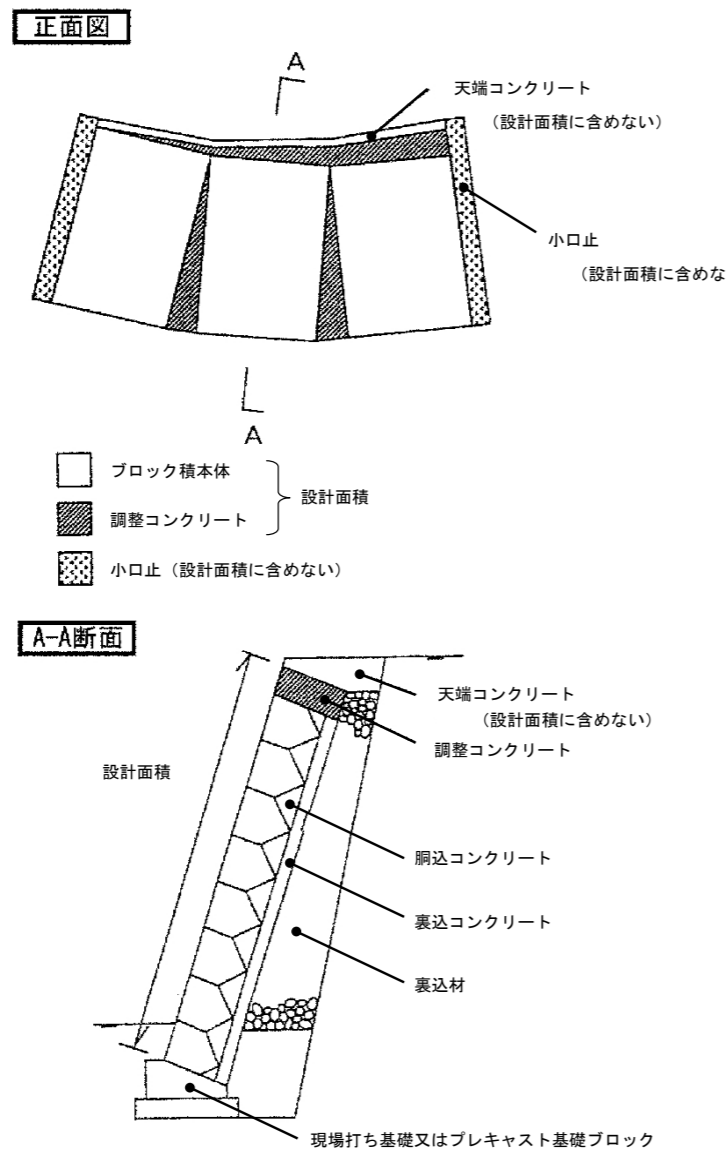
代表機械の変更
代表機械の変更

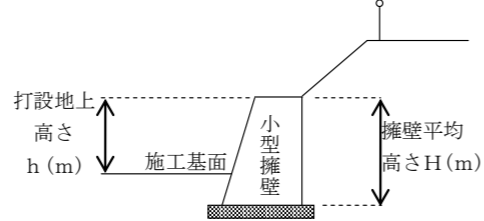
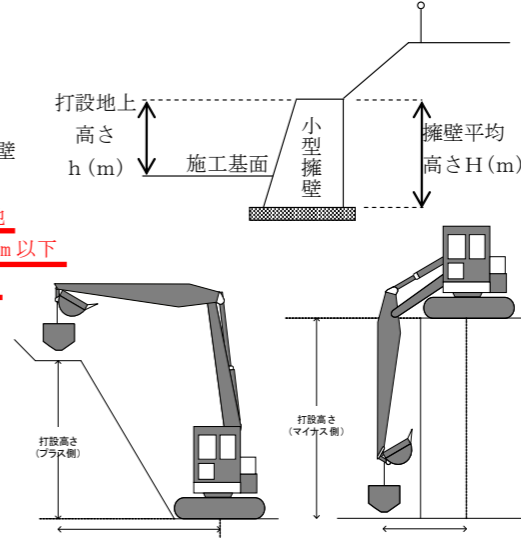
積算上の注意事項	(控え頁) 2/2
----------	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
現	行	改	正																															
<p>⑥ 人工張芝工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人工張芝（ネット又はワラ付張芝）を法面に張る場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 目串の有無に関係なく適用出来る。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 人工張芝 (1) 条件区分 人工張芝における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。 (注) 1. 人工張芝の張付け等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 法面整形は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.1 人工張芝 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>張芝 幅 100cm ワラ付</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑥・1</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	—	R4	—	材料	Z1	張芝 幅 100cm ワラ付	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人工張芝（ネット又はワラ付張芝）を法面に張る施工する場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 目串の有無に関係なく適用出来る。 2. 法面清掃は、法面のゴミ、浮き石等を除去し、地山と人工張芝（ネット又はワラ付張芝）との付着を良好にする作業とする。 3. かけ土は必要に応じて別途計上する。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 人工張芝 (1) 条件区分 人工張芝における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。 (注) 1. 法面清掃、人工張芝の張付け立、目串打込、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 法面整形は含まない。 3. 落下防止、姿勢維持のための仮設ロープ等を使用する場合は別途計上する。 4. 人工張芝の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.14)</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1	—																																
	K2	—																																
	K3	—																																
労務	R1	普通作業員																																
	R2	土木一般世話役																																
	R3	—																																
	R4	—																																
材料	Z1	張芝 幅 100cm ワラ付																																
	Z2	—																																
	Z3	—																																
	Z4	—																																
市場単価	S	—																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																								
現	行	改 正	備 考																																																							
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリートブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリートブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋規格</th> <th>鉄筋 10m² 当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td style="text-align: center;">0.1t 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.1t を超え 0.2t 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック (勾配 1 割未満・ブロック質量 150kg/個以上 450kg/個以下) の設置、鉄筋 (加工・組立)、目地材の設置、調整コンクリートの打設 (材料費を含む)、現場内小運搬 (50m まで) の他、水抜きパイプ (水抜き孔用吸出し防止材を含む) 等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、目地材料費は含まない。</p> <p>2. 鉄筋の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.03)</p> <p>3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</p> <p>4. 目地材料費は必要量を別途計上する。</p> <p>5. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td>SD295A D13</td> </tr> <tr> <td>SD295A D16</td> </tr> <tr> <td>SD345 D13</td> </tr> <tr> <td>SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td>不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> <td>鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・5</p>		鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量	(表 3.2)	0.1t 以下	0.1t を超え 0.2t 以下	積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295A D13	SD295A D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種	不要	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 運転手 (特殊)		R 2 ブロック工		R 3 普通作業員		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材 (碎石)」より計上する。</p> <p>6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td>SD295A D13</td> </tr> <tr> <td>SD295A D16</td> </tr> <tr> <td>SD345 D13</td> </tr> <tr> <td>SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td>不要</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295A D13	SD295A D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種	不要	<p>記載の追加・修正</p> <p>語句の削除</p>
鉄筋規格	鉄筋 10m ² 当り使用量																																																									
(表 3.2)	0.1t 以下																																																									
	0.1t を超え 0.2t 以下																																																									
積算条件	区 分																																																									
鉄筋規格	SD295A D13																																																									
	SD295A D16																																																									
	SD345 D13																																																									
	SD345 D16~25																																																									
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																									
	不要																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																								
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																								
	K 2 -																																																									
	K 3 -																																																									
労務	R 1 運転手 (特殊)																																																									
	R 2 ブロック工																																																									
	R 3 普通作業員																																																									
	R 4 土木一般世話役																																																									
材料	Z 1 間知ブロック 高 250×幅 400×控 350 滑面																																																									
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																								
	Z 3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																									
	Z 4 -																																																									
市場単価	S -																																																									
積算条件	区 分																																																									
鉄筋規格	SD295A D13																																																									
	SD295A D16																																																									
	SD345 D13																																																									
	SD345 D16~25																																																									
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																									
	不要																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																																																							

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																			
現	行	改 正	備 考																																			
<p>3-2 大型ブロック積</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 大型ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">水抜きパイプの有無</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック（勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む）、現場内小運搬（50mまで）の他、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。</p> <p>2. 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。</p> <p>3. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</p> <p>4. 目地材料費は、実数量（材料ロスを含んだ数量）を別途計上する。</p> <p>5. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 大型ブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 大型ブロック 控え500mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑧・6</p>		水抜きパイプの有無	有り	無し	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 ブロック工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 大型ブロック 控え500mm		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、大型ブロック（勾配1割未満、ブロック質量4,600kg/個以下、控え長500mm以上）の設置、鉄筋（加工・組立）、目地材の設置、調整コンクリートの打設（材料費を含む）、現場内小運搬（50mまで）の他、水抜きパイプ（水抜き孔用吸出し防止材を含む）等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、鉄筋材料費及び目地材料費は含まない。</p> <p>2. 鉄筋材料費は必要量を別途計上する。</p> <p><u>3. 裏込材投入転圧又は胴込材投入転圧は、「3-10 胴込・裏込材（砕石）」より計上する。</u></p> <p><u>4. 現場条件により足場が必要な場合は別途計上する。</u></p> <p><u>5. 目地材料費は、実数量（材料ロスを含んだ数量）を別途計上する。</u></p> <p><u>6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。</u> (4. 参考図 4-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート参照)</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		記載の追加・修正
水抜きパイプの有無																																						
有り																																						
無し																																						
項目	代表機材規格	備考																																				
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）]25t吊	賃料																																				
	K2 -																																					
	K3 -																																					
労務	R1 普通作業員																																					
	R2 ブロック工																																					
	R3 土木一般世話役																																					
	R4 特殊作業員																																					
材料	Z1 大型ブロック 控え500mm																																					
	Z2 -																																					
	Z3 -																																					
	Z4 -																																					
市場単価	S -																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	
現行	改正		備考
	<p>4. 参考図 1-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート</p>  <p>2・⑧・23</p>	<p>4. 参考図 1-1 調整コンクリート・小口止・天端コンクリート</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
⑪ 場所打擁壁工(1)	<p style="text-align: center;">現 行</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1. 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁 (A)</p> <p>(1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設地上高さが2m以下の場合</p> <p>1-1-2 小型擁壁 (B)</p> <p>(1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設地上高さが2mを超え28m以下かつ水平打設距離20m以下(クローラークレーンの場合は水平打設距離30m以下)の場合</p> <p>1-1-3 重力式擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-4 もたれ式擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが3.0m以上8.0m以下のもたれ式擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-5 逆T型擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁</p> <p>(2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合</p> <p>(3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合</p> <p>(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-6 L型擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが3.0m以上7.0m以下のL型擁壁</p> <p>(2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合</p> <p>(3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合</p> <p>(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、「⑫場所打擁壁工(2)」を適用する。</p> </div>  <p style="text-align: center;">2・⑪・1</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1. 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁 <u>(A)</u></p> <p>(1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</p> <p>(2) コンクリート <u>打設地上高さが2m以下の場合</u> <u>打設地上高さが施工基面より上の場合、打設地上高さ0m以上2.5m以下、且つ水平打設距離4.5m以下</u></p> <p>(3) <u>コンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m以上0m未満、且つ水平打設距離3.5m以下</u></p> <p>1-1-2 小型擁壁 <u>(B)</u></p> <p>(1) <u>擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁</u></p> <p>(2) <u>コンクリート打設地上高さが2mを超え28m以下かつ水平打設距離20m以下(クローラークレーンの場合は水平打設距離30m以下)の場合</u></p> <p>1-1-3 <u>2</u> 重力式擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-4 <u>3</u> もたれ式擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが3.0m以上8.0m以下のもたれ式擁壁</p> <p>(2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-5 <u>4</u> 逆T型擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁</p> <p>(2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合</p> <p>(3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合</p> <p>(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-6 <u>5</u> L型擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが3.0m以上7.0m以下のL型擁壁</p> <p>(2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合</p> <p>(3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合</p> <p>(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合</p> <p>(5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、「⑫場所打擁壁工(2)」を適用する。</p> </div>  <p style="text-align: center;">参考図(バックホウによるコンクリート打設範囲)</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/15

改正理由	一部改正	改正 現行	
現行	改正		備考
<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p><u>2-1 小型擁壁 (A) 及び (B)</u></p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は、必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。</p> <p>2・①・2</p>	<p>現行どおり</p> <p>2-1 小型擁壁 <u>(A) 及び (B)</u></p> <p>現行どおり</p>		<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/15

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3. 施工パッケージ
3-1 小型擁壁 (A)

(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.1 小型擁壁(A) 積算条件区分一覧

(積算単位：m3)					
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	
(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	
				特殊養生(ジェットヒータ)	
			養生工無		
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)	
		特殊養生(ジェットヒータ)			
		養生工無			
		有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)
					特殊養生(ジェットヒータ)
養生工無					
有り	一般養生・特殊養生(練炭)				
	特殊養生(ジェットヒータ)				
養生工無					

- (注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、現場内小運搬(5m以内)、シュート・ホップの架設移動、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホップ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。
2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06)
3. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。
4. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。
5. 足場が必要な場合は別途計上すること。
6. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。
7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。

表3.2 擁壁平均高さ

積算条件	区分
擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満
	0.6m以上0.8m未満
	0.8m以上1.0m以下

2・⑩・5

3. 施工パッケージ
3-1 小型擁壁 ~~(A)~~

現行どおり

表3.1 小型擁壁 ~~(A)~~ 積算条件区分一覧

(積算単位：m3)					
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	
(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	
				特殊養生(ジェットヒータ)	
			養生工無		
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)	
		特殊養生(ジェットヒータ)			
		養生工無			
		有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)
					特殊養生(ジェットヒータ)
養生工無					
有り	一般養生・特殊養生(練炭)				
	特殊養生(ジェットヒータ)				
養生工無					

- (注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、現場内小運搬(5m以内)、シュート・ホップの架設移動、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホップ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。
- ~~2. コンクリート打設に使用するバケットの容量は0.3m³を標準とする。~~
- ~~3. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06)~~
- ~~4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。~~
- ~~5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-~~9~~8ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。~~
- ~~6. 足場が必要な場合は別途計上すること。~~
- ~~7. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。~~
- ~~8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。~~

現行どおり

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td><td>18-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-12-25(20) (普通)</td><td>18-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (普通)</td><td>21-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-12-25(20) (普通)</td><td>21-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>27-8-25(20) (普通)</td><td>24-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>27-12-25(20) (普通)</td><td>24-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40(普通)</td><td>21-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>18-12-40(普通)</td><td>21-12-25 (早強)</td></tr> <tr><td>21-8-40(普通)</td><td>24-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>21-12-40(普通)</td><td>24-12-25 (早強)</td></tr> <tr><td>24-8-40(普通)</td><td>18-8-25(高炉)</td></tr> <tr><td>24-12-40(普通)</td><td>18-12-25(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td><td>各種</td></tr> <tr><td>21-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>24-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <caption>表3.4 小型擁壁(A) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr><td>K2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2 型わく工</td><td></td></tr> <tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr> <tr><td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローラー</td><td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td></tr> <tr><td>Z3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z4 -</td><td></td></tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分		コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)	21-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)	24-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)	24-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)	27-8-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)	27-12-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)	18-8-40(普通)	21-8-25 (早強)	18-12-40(普通)	21-12-25 (早強)	21-8-40(普通)	24-8-25 (早強)	21-12-40(普通)	24-12-25 (早強)	24-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	24-12-40(普通)	18-12-25(高炉)	21-8-25(20) (高炉)	各種	21-12-25(20) (高炉)		24-8-25(20) (高炉)		24-12-25(20) (高炉)		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローラー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1"> <caption>表3.4 小型擁壁(A) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クリーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積0.45m³ (平積0.35m³) 吊能力2.9t</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr><td>K3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2 型わく工</td><td></td></tr> <tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr> <tr><td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローラー</td><td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td></tr> <tr><td>Z3 軽油1.2号 バトルール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z4 -</td><td></td></tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クリーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローラー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z3 軽油1.2号 バトルール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p>代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表材料の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算条件	区分																																																																																																				
コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)																																																																																																			
	21-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)																																																																																																			
	24-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)																																																																																																			
	24-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)																																																																																																			
	27-8-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)																																																																																																			
	27-12-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)																																																																																																			
	18-8-40(普通)	21-8-25 (早強)																																																																																																			
	18-12-40(普通)	21-12-25 (早強)																																																																																																			
	21-8-40(普通)	24-8-25 (早強)																																																																																																			
	21-12-40(普通)	24-12-25 (早強)																																																																																																			
	24-8-40(普通)	18-8-25(高炉)																																																																																																			
	24-12-40(普通)	18-12-25(高炉)																																																																																																			
	21-8-25(20) (高炉)	各種																																																																																																			
	21-12-25(20) (高炉)																																																																																																				
	24-8-25(20) (高炉)																																																																																																				
	24-12-25(20) (高炉)																																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
機械	K1 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																																			
	K2 -																																																																																																				
	K3 -																																																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																																																				
	R2 型わく工																																																																																																				
	R3 土木一般世話役																																																																																																				
	R4 特殊作業員																																																																																																				
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																				
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローラー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																																			
	Z3 -																																																																																																				
	Z4 -																																																																																																				
市場単価	S -																																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																																			
機械	K1 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油 バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クリーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力2.9t	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																																			
	K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																																			
	K3 -																																																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																																																				
	R2 型わく工																																																																																																				
	R3 土木一般世話役																																																																																																				
	R4 特殊作業員																																																																																																				
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																				
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローラー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																																			
	Z3 軽油1.2号 バトルール給油																																																																																																				
	Z4 -																																																																																																				
市場単価	S -																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 4/15																																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行																																					
現 行		改 正																																					
備 考																																							
<p>3-2 小型擁壁 (B)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 小型擁壁(B) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>施工条件</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表 3.6)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、運搬バケットへのコンクリート積込作業、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>2. コンクリートの機械打設に使用するバケット容量は0.6m3を標準とする。</p> <p>3. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.06)</p> <p>4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p>6. 足場が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 施工条件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">施工条件</td> <td>打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下</td> </tr> <tr> <td>水平打設距離 30m 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・7</p>		擁壁平均高さ	コンクリート規格	施工条件	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.6)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	積算条件	区分	施工条件	打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下	打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下	打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下	打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下	水平打設距離 30m 以下	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">削除</div>		<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
擁壁平均高さ	コンクリート規格	施工条件	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																		
(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.6)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																		
					特殊養生(ジェットヒータ)																																		
					養生工無																																		
				有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																		
			特殊養生(ジェットヒータ)																																				
			養生工無																																				
			有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																		
					特殊養生(ジェットヒータ)																																		
養生工無																																							
有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																						
	特殊養生(ジェットヒータ)																																						
	養生工無																																						
積算条件	区分																																						
施工条件	打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下																																						
	打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下																																						
	打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下																																						
	打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下																																						
	水平打設距離 30m 以下																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 5/15																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																				
	<p>現行</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 小型擁壁(B) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン [油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型] 50t 吊</td> <td>・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>水平打設距離 30m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">→</div> <div data-bbox="1855 966 2122 1092" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">削除</p> </div> <div data-bbox="2582 987 2804 1060" data-label="Text"> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> </div> <tr> <td>積算上の注意事項</td> <td></td> <td></td> <td>(控え頁) 6/15</td> </tr>	項目	代表機材規格	備考	機械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料	クローラクレーン [油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型] 50t 吊	・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料	K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	型わく工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油	水平打設距離 30m 以下の場合	Z4	—		市場単価	S	—		積算上の注意事項			(控え頁) 6/15
項目	代表機材規格	備考																																																					
機械	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料																																																					
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料																																																					
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料																																																					
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料																																																					
	クローラクレーン [油圧駆動式ウィンチ・ラチスジブ型] 50t 吊	・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料																																																					
K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																					
K3	—																																																						
労務	R1	普通作業員																																																					
	R2	型わく工																																																					
	R3	土木一般世話役																																																					
	R4	特殊作業員																																																					
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																					
	Z2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																				
	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油	水平打設距離 30m 以下の場合																																																				
	Z4	—																																																					
市場単価	S	—																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 6/15																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-3 重力式擁壁
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.8 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)

擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類		圧送管延長距離区分
				一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	
1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
				一般養生		
			有り	一般養生		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
				一般養生		
2.0m以上 5.0m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		
	(表 3.3)	有り	無し	一般養生	(表 3.9)	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		

(注) 1. 上表は、重力式擁壁(擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(擁壁平均高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(擁壁平均高さが2m以上の場合)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。
2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)
3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。
4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。
5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。
6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。

2・⑩・9

3-3 重力式擁壁
現行どおり

表3.95 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)

擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類		圧送管延長距離区分
				一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	
1.0mを超え 2.0m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.95)	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
				一般養生		
			有り	一般養生		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
				一般養生		
2.0m以上 5.0m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.95)	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		
	(表 3.3)	有り	無し	一般養生	(表 3.95)	
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
				養生工無		

(注) 1. 上表は、重力式擁壁(擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(擁壁平均高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(擁壁平均高さが2m以上の場合)、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。
2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)
3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。
4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。
5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。
6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。

2・⑩・7

積算上の注意事項			(控え頁) 7/15
----------	--	--	---------------

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																						
現	行	改	正																																																																																						
<p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工②-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p>9. 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。</p>		<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>																																																																																						
<p style="text-align: center;">表3. 9 圧送管延長距離区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">積算条件</td> <td style="text-align: center;">区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">圧送管延長 距離区分</td> <td style="text-align: center;">90m 未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m 以上 180m 未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m 以上 280m 以下</td> </tr> </table>		積算条件		区分		延長無し	圧送管延長 距離区分	90m 未満	90m 以上 180m 未満	180m 以上 280m 以下	<p>表3. 96 圧送管延長距離区分</p> <p>現行どおり</p>																																																																														
積算条件	区分																																																																																								
	延長無し																																																																																								
圧送管延長 距離区分	90m 未満																																																																																								
	90m 以上 180m 未満																																																																																								
	180m 以上 280m 以下																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 10 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">擁壁平均高さ</th> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">1mを超え 2m 未満</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1</td> <td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">2m以上5m以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1</td> <td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> <td>一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考	1mを超え 2m 未満	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2	-		K 3	-		労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		2m以上5m以下	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z 4	-		市場単価	S	-		<p>表3. 107 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																						
1mを超え 2m 未満	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																						
		K 2	-																																																																																						
		K 3	-																																																																																						
	労務	R 1	普通作業員																																																																																						
		R 2	型わく工																																																																																						
		R 3	土木一般世話役																																																																																						
		R 4	特殊作業員																																																																																						
	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																						
		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																						
		Z 3	-																																																																																						
Z 4		-																																																																																							
市場単価	S	-																																																																																							
2m以上5m以下	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																						
		K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																					
		K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																					
	労務	R 1	普通作業員																																																																																						
		R 2	型わく工																																																																																						
		R 3	土木一般世話役																																																																																						
		R 4	とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																					
	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																						
		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																						
		Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																					
Z 4		-																																																																																							
市場単価	S	-																																																																																							
2・⑩・10		2・⑩・8																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 8/15																																																																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																				
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>[参考図] 擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さH (m) $H = A / L$ A = 正面図での擁壁面積 (m²) L = 擁壁延長 (m)</p> <p style="text-align: center;">擁壁正面図 擁壁断面図</p> <p style="text-align: center;">3-4 もたれ式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表3.11 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</caption> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上8.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04) 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・11</p>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">3-4.3 もたれ式擁壁 現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>表3.4.3 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</caption> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上8.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・9</p>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																			
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																			
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
		養生工無																																																					
		有り	一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
	有り	無し	養生工無																																																				
			一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
		有り	一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
仮囲い内ジェットヒータ養生																																																							
コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																			
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																			
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
		養生工無																																																					
		有り	一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
	仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
	有り	無し	養生工無																																																				
			一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
		有り	一般養生																																																				
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																				
仮囲い内ジェットヒータ養生																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 9/15																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																
現	行	改 正	備 考																																
	<p>4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p>6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工②-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 もたれ式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 とび工 特殊作業員</td> <td>一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・12</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 とび工 特殊作業員	一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z4 -		市場単価	S	-		<p>現行どおり</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-98ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p>現行どおり</p> <p>表3. 129 もたれ式擁壁 代表機材規格一覧</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・10</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																	
機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																		
	K2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																	
	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																	
労務	R1 普通作業員																																		
	R2 型わく工																																		
	R3 土木一般世話役																																		
	R4 とび工 特殊作業員	一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																	
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																		
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																		
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																	
	Z4 -																																		
市場単価	S	-																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 10/15																																

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																												
現	行	改 正	備 考																																																																											
<p>3-5 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.14)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、逆T型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。</p> <p>3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p>6. ガス圧接が必要な場合は、「市場単価 鉄筋工(ガス圧接工)」により別途計上する。</p> <p>7. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「土木工事標準歩掛第2編6章仮設工⑩-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p>		コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	有り	無し	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	有り	有り	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<p>3-5.4 逆T型擁壁 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.140 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.14.1)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.9.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、逆T型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9.8ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p>		コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14.1)	無し	無し	一般養生	(表 3.9.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	有り	無し	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	有り	有り	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																									
(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																									
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
				一般養生																																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
		有り	有り	無し		有り	一般養生																																																																							
							特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																							
							仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																							
							一般養生																																																																							
							特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																							
							仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																							
有り	有り	有り	有り	一般養生																																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
				一般養生																																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																									
(表 3.3)	(表 3.14.1)	無し	無し	一般養生	(表 3.9.6)																																																																									
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
				一般養生																																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
		有り	有り	無し		有り	一般養生																																																																							
							特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																							
							仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																							
							一般養生																																																																							
							特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																							
							仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																							
有り	有り	有り	有り	一般養生																																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
				一般養生																																																																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																																										
2・⑩・13		2・⑩・11																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 11/15																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																								
現	行	改 正	備 考																																								
<p style="text-align: center;">表3. 14 鉄筋量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">鉄筋量</td> <td>0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満</td> </tr> <tr> <td>0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満</td> </tr> <tr> <td>0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満</td> </tr> <tr> <td>0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満</td> </tr> <tr> <td>0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない数量とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>		積算条件	区分	鉄筋量	0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満	0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満	0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満	0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満	0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満	<p style="text-align: center;">表3. 141 鉄筋量</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>																																
積算条件	区分																																										
鉄筋量	0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満																																										
	0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満																																										
	0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満																																										
	0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満																																										
	0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満																																										
<p style="text-align: center;">表3. 15 逆T型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m3/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 とび工 特殊作業員</td> <td>一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td>鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td>鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td>鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td>鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・14</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m3/h		K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 とび工 特殊作業員	一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合	Z 3 軽油 1.2号 パトロール給油		Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		<p style="text-align: center;">表3. 152 逆T型擁壁 代表機材規格一覧</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																									
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m3/h																																										
	K 2 業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																									
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																									
労務	R 1 普通作業員																																										
	R 2 型わく工																																										
	R 3 土木一般世話役																																										
	R 4 とび工 特殊作業員	一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																									
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																										
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m3 以上 0.06t/m3 未満の場合																																								
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m3 以上 0.08t/m3 未満の場合																																								
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m3 以上 0.10t/m3 未満の場合																																								
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m3 以上 0.12t/m3 未満の場合																																								
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m3 以上 0.14t/m3 未満の場合																																								
	Z 3 軽油 1.2号 パトロール給油																																										
Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																										
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 12/15																																								

改正理由	一部改正	改正 現行																																																														
現	行	改 正	備 考																																																													
<p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">3-6 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.14)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、L型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「4章②型枠工」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">2・⑩・15</p>		コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	有り	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<p style="text-align: center;">3-6.5 L型擁壁 現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.16.3 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.14.1)</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.9.6)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、L型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-9.8ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上すること。</p> <p style="text-align: center;">2・⑩・13</p>		コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14.1)	無し	無し	一般養生	(表 3.9.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	有り	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																											
(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																												
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																												
			有り	一般養生																																																												
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																												
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																												
		有り	無し	無し		一般養生																																																										
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																										
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																										
			有り	有り		有り	一般養生																																																									
							特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																									
							仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																									
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																											
(表 3.3)	(表 3.14.1)	無し	無し	一般養生	(表 3.9.6)																																																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																												
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																												
			有り	一般養生																																																												
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																												
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																												
		有り	無し	無し		一般養生																																																										
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																										
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																										
			有り	有り		有り	一般養生																																																									
							特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																									
							仮囲い内 ジェットヒータ養生																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 13/15																																																													

改正理由	一部改正	改正 現行																																																							
現 行		改 正																																																							
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">表3. 17 L型擁壁 代表機材規格一覧</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> <td>一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋量が 0.04t/m³ 以上 0.06t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td>鉄筋量が 0.06t/m³ 以上 0.08t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td>鉄筋量が 0.08t/m³ 以上 0.10t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td>鉄筋量が 0.10t/m³ 以上 0.12t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td>鉄筋量が 0.12t/m³ 以上 0.14t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		表3. 17 L型擁壁 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工		R 3	土木一般世話役		R 4	とび工 特殊作業員	一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		<p>表3. 14 L型擁壁 代表機材規格一覧</p>	
表3. 17 L型擁壁 代表機材規格一覧																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																							
機械	K 1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																							
	K 2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																						
	K 3	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																							
	R 2	型わく工																																																							
	R 3	土木一般世話役																																																							
	R 4	とび工 特殊作業員	一般, 特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																						
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																							
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																						
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																						
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																							
Z 4	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																							
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																							
2・⑩・16		2・⑩・14																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 14/15																																																						

現行どおり

現行どおり

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																										
現	行	改 正	備 考																										
	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-7 化粧型枠 「4章②型枠工」による。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-8 化粧型枠(材料費) 「4章②型枠工」による。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-9 ペーラインコンクリート(材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p style="text-align: center;">表3.18 ペーラインコンクリート(材料費) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工費は、⑩場所打擁壁工(1)の各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。 2. 上表は、場所打擁壁工におけるペーラインコンクリートの材料費(ロス等含む)を含む。 3. ペーラインコンクリートのロス率は、次表を標準とする。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p style="text-align: center;">表3.19 ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">材料</th> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ペーラインコンクリート</td> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-10 止水板設置 止水板が必要な場合は、別途計上する。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-11 裏込砕石 裏込砕石が必要な場合は、「⑦基礎・裏込砕石工」により別途計上する。</div>	擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3.3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	材料	擁壁種類	ロス率	ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06	重力式・もたれ式擁壁	+0.04	逆T型・L型擁壁	+0.02	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-76 化粧型枠 「4章②型枠工」による。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-87 化粧型枠(材料費) 「4章②型枠工」による。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-98 ペーラインコンクリート(材料費) 現行どおり</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p style="text-align: center;">表3.185 ペーラインコンクリート(材料費) 積算条件区分一覧</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <p style="text-align: center;">表3.196 ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">材料</th> <th style="text-align: center;">擁壁種類</th> <th style="text-align: center;">ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ペーラインコンクリート</td> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-109 止水板設置 止水板が必要な場合は、別途計上する。</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3-110 裏込砕石 裏込砕石が必要な場合は、「⑦基礎・裏込砕石工」により別途計上する。</div>	材料	擁壁種類	ロス率	ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06	重力式・もたれ式擁壁	+0.04	逆T型・L型擁壁	+0.02	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
擁壁種類	コンクリート規格																												
小型擁壁	(表 3.3)																												
重力式・もたれ式擁壁																													
逆T型・L型擁壁																													
材料	擁壁種類	ロス率																											
ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06																											
	重力式・もたれ式擁壁	+0.04																											
	逆T型・L型擁壁	+0.02																											
材料	擁壁種類	ロス率																											
ペーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06																											
	重力式・もたれ式擁壁	+0.04																											
	逆T型・L型擁壁	+0.02																											
積算上の注意事項	2・⑩・17	2・⑩・15	(控え頁) 15/15																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>⑩ 排水構造物工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付け、撤去、据付け・撤去作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 ヒューム管（B形管）</p> <p>(1) ヒューム管、B形管（ソケット管）の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) ヒューム管、B形管（ソケット管）を仮設に使用する場合</p> <p>1-1-2 ボックスカルバート</p> <p>(1) 1ブロックを1部材で構成するプレキャスト製ボックスカルバート（内空断面が台形タイプの物を含む）の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-3 暗渠排水管</p> <p>(1) 硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-4 フィルター材</p> <p>(1) 暗渠排水管の敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度碎石等）の敷設の場合</p> <p>1-1-5 管（函）渠型側溝</p> <p>(1) 車道部、歩道部等の側溝を兼ねた排水構造物の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) 製品長が2m/個以下かつ内径又は内空幅が200mm以上400mm以下の場合</p> <p>(3) 製品長が2m/個かつ内径又は内空幅が400mmを超え600mm以下の場合</p> <p>1-1-6 プレキャスト集水樹</p> <p>(1) プレキャスト製集水樹の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) プレキャスト製集水樹の質量（蓋版除く）が50kg/基以上2,800kg/基以下の場合</p> <p>1-1-7 鉄筋コンクリート台付管</p> <p>(1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって、かつ、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部がフラットになっている（管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む）プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-8 プレキャストL形側溝</p> <p>(1) プレキャスト製L形側溝の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>1-1-9 プレキャストマンホール</p> <p>(1) プレキャスト製マンホールの据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) プレキャスト製マンホールの内径が1,500mm以下の場合</p> <p>1-1-10 PC管</p> <p>(1) PC管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) PC管を仮設に使用する場合</p> <p>1-1-11 コルゲートパイプ</p> <p>(1) コルゲートパイプの据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) コルゲートパイプを仮設に使用する場合</p> <p>1-1-12 コルゲートフリユーム</p> <p>(1) コルゲートフリユームの据付け、撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>(2) コルゲートフリユームを仮設に使用する場合</p>			
		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加 （歩掛り改定に伴う）</p> <p>記載の追加 （歩掛り改定に伴う）</p>
2・⑩・1		<p>(3) 規格が「フランジ型円形」、「ラップ型円形」の場合</p> <p>(3) 規格が「A形」の場合</p>	
積算上の注意事項			<p>（控え頁）</p> <p>1 / 7</p>

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 ヒューム管 (B形管)</p> <p>(1) 巻きコンクリート (固定基礎) を含む撤去、据付け・撤去の場合</p> <p>1-2-2 ボックスカルバート</p> <p>(1) グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施工の場合</p> <p>(2) 製品長 1.0m/個で縦締めを行う場合</p> <p>(3) 曲線部における縦締め施工の場合</p> <p>(4) コンクリート養生で、特殊な養生を必要とする場合</p> <p>1-2-3 暗渠排水管</p> <p>(1) 持上げ高が 2m 以上の場合</p> <p>(2) 埋設を行わない地上露出配管の敷設の場合</p> <p>1-2-4 フィルター材</p> <p>(1) 暗渠排水管の敷設を行わない場合</p> <p>1-2-5 管 (函) 渠型側溝</p> <p>(1) 土中に全体埋設される場合</p> <p>(2) 内径又は内空幅が 200mm 未満又は 600mm を超える場合</p> <p>(3) 製品長が 2m を超える場合</p> <p>1-2-6 プレキャスト集水樹</p> <p>(1) プレキャスト製集水樹の質量 (蓋版除く) が 50kg/基未満及び 2,800kg/基を超える場合</p> <p>(2) 組立式プレキャスト製集水樹の場合</p> <p>1-2-7 プレキャストマンホール</p> <p>(1) 円形断面以外の基礎碎石の場合</p> <p>1-2-8 PC管</p> <p>(1) 巻きコンクリート (固定基礎) を含む撤去、据付・撤去の場合</p> <p>(2) 管径 1,800mm を超える PC 管の据付、据付・撤去の場合</p> <p>1-2-9 コルゲートパイプ</p> <p>(1) 持上げ高が 2m 以上の場合</p> <p>(2) 規格が「フランジ型」で型式が「アーチ形」の場合</p> <p>1-2-10 コルゲートフリューム</p> <p>(1) 持上げ高が 2m 以上の場合</p>		<p>現行どおり</p> <p>1-2-9 コルゲートパイプ</p> <p>(1) 持上げ高が 2m 以上の場合</p> <p>(2) 規格が「フランジ型円形」で型式が「アーチ形」、「ラップ型円形」以外の場合</p> <p>(3) さや管工法 (既設管路内設置) を行う場合</p> <p>1-2-10 コルゲートフリューム</p> <p>(1) 持上げ高が 2m 以上の場合</p> <p>(2) 規格が「A形」以外の場合</p>	<p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
2・⑩・2			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/7

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																					
現	行	改 正	備 考																																					
<p>3-11 PC管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.28 PC管 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管 径</th> <th>固定基礎</th> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">据 付</td> <td rowspan="3">(表 3.29)</td> <td>90° 巻き</td> <td rowspan="2">(表 3.5)</td> </tr> <tr> <td>180° 巻き</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、PC管の設置、基礎砕石、巻きコンクリート(コンクリート、型枠)、運搬距離30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 撤去作業、据付・撤去作業は、PC管のみを対象としている。 3. 基面整正は含まない。 4. コンクリート、基礎砕石の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.07、基礎砕石が+0.20とする。 5. 作業区分が据付又は据付・撤去の場合、管径2,000mmは適用出来ない。</p> <p style="text-align: center;">表3.29 管径</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">管 径</td> <td>600mm</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">管 径</td> <td>1,200mm</td> </tr> <tr> <td>700mm</td> <td>1,350mm</td> </tr> <tr> <td>800mm</td> <td>1,500mm</td> </tr> <tr> <td>900mm</td> <td>1,650mm</td> </tr> <tr> <td>1,000mm</td> <td>1,800mm</td> </tr> <tr> <td>1,100mm</td> <td>2,000mm</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑩・23</p>		作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格	据 付	(表 3.29)	90° 巻き	(表 3.5)	180° 巻き	無し	—	撤 去		—	—	据付・撤去		—	—	積算条件	区分	積算条件	区分	管 径	600mm	管 径	1,200mm	700mm	1,350mm	800mm	1,500mm	900mm	1,650mm	1,000mm	1,800mm	1,100mm	2,000mm	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">6. PC管の材料費は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格																																					
据 付	(表 3.29)	90° 巻き	(表 3.5)																																					
		180° 巻き																																						
		無し	—																																					
撤 去		—	—																																					
据付・撤去		—	—																																					
積算条件	区分	積算条件	区分																																					
管 径	600mm	管 径	1,200mm																																					
	700mm		1,350mm																																					
	800mm		1,500mm																																					
	900mm		1,650mm																																					
	1,000mm		1,800mm																																					
	1,100mm		2,000mm																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/7																																					

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																
現	行	改 正	備 考																																																																																																																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・賃料 ・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="20">材料</td> <td>Z 1</td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 600mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 700mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 700mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 800mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 900mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 900mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,100mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,200mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,500mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	R 3	運転手 (特殊)	上記以外の場合	R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	PC管 1種 外圧 S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 600mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 700mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 800mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 900mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,000mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,100mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,200mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,350mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,500mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,650mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,800mm の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・賃料 ・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t</td> <td>・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="20">材料</td> <td>Z 1</td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 600mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 700mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 700mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 800mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 900mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 900mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,000mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,100mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,200mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,350mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,500mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,650mm の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>PC管 1種 外圧 S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,800mm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合	労務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	R 3	運転手 (特殊)	上記以外の場合	R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	PC管 1種 外圧 S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 600mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 700mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 800mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 900mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,000mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,100mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,200mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,350mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,500mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,650mm の場合		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,800mm の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 4	-		市場単価	S	-		<p>代表材料の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																	
機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合																																																																																																																																																																	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合																																																																																																																																																																	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合																																																																																																																																																																	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																																																	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合																																																																																																																																																																	
	K 2	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																																																																																
K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合																																																																																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																	
	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																																																																																																
	R 3	運転手 (特殊)	上記以外の場合																																																																																																																																																																
	R 4	土木一般世話役																																																																																																																																																																	
材料	Z 1	PC管 1種 外圧 S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 600mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 700mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 800mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 900mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,000mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,100mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,200mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,350mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,500mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,650mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																																																
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																																																																																																
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																	
	Z 4	-																																																																																																																																																																	
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																
	機械	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t 吊	・賃料 ・管径が 600mm の場合																																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・管径が 700mm~1,350mm の場合																																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・管径が 1,500mm~1,650mm の場合																																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊		・賃料 ・作業区分が撤去、管径が 2,000mm の場合																																																																																																																																																																	
K 2		バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																																																																																																																																
K 3	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t	・賃料 ・管径が 1,350mm~1,800mm, 固定基礎が 180° 巻きの場合																																																																																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																	
	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																																																																																																
	R 3	運転手 (特殊)	上記以外の場合																																																																																																																																																																
	R 4	土木一般世話役																																																																																																																																																																	
材料	Z 1	PC管 1種 外圧 S形 管径 600mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 600mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 700mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 700mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 800mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 900mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 900mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,000mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,000mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,100mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,100mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,200mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,200mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,350mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,350mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,500mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,500mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,650mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,650mm の場合																																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧 S形 管径 1,800mm×長さ 4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、管径が 1,800mm の場合																																																																																																																																																																
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																																																																																																
	Z 3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																	
	Z 4	-																																																																																																																																																																	
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																
	積算上の注意事項			(控え頁) 4/7																																																																																																																																																															

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																															
現 行		改 正																																																																															
<p>3-12 コルゲートパイプ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.31 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> <th>パイプ径</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="6">フランジ型</td> <td>250～600mm</td> <td rowspan="6">円形</td> </tr> <tr> <td>750～900mm</td> </tr> <tr> <td>1,000～1,200mm</td> </tr> <tr> <td>1,300mm</td> </tr> <tr> <td>1,500～1,600mm</td> </tr> <tr> <td>1,800～2,200mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(表 3.32)</td> <td rowspan="10">ラップ型</td> <td>2,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>2,500mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>3,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>3,500mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>4,500mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コルゲートパイプの設置、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬及び組立等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 基面整正は含まない。</p> <p>表3.32 作業区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">作業区分</td> <td>据付</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> </tr> </tbody> </table> <p>2・⑩・25</p>		作業区分	規格	パイプ径	型式		フランジ型	250～600mm	円形	750～900mm	1,000～1,200mm	1,300mm	1,500～1,600mm	1,800～2,200mm	(表 3.32)	ラップ型	2,000mm	円形		アーチ形	2,500mm	円形		アーチ形	3,000mm	円形		アーチ形	3,500mm	円形		アーチ形	4,000mm	円形		アーチ形	4,500mm	円形		アーチ形	積算条件	区分	作業区分	据付	撤去	据付・撤去	<p>3-12 PC管 (材料費) (1) 条件区分 PC管 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>3-123 コルゲートパイプ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.31 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> <th>パイプ径</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">(表 3.32)</td> <td rowspan="14">フランジ型</td> <td>250～600mm</td> <td rowspan="14">円形</td> </tr> <tr> <td>750～900mm</td> </tr> <tr> <td>800mm 以上 1200mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,000～1,200mm</td> </tr> <tr> <td>1,300mm</td> </tr> <tr> <td>1,200mm を超え 1,800mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,500～1,600mm</td> </tr> <tr> <td>1,800～2,200mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">ラップ型</td> <td>2,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td>2,000mm 以上 2,500mm 以下</td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>3,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td>3,000mm</td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>2,000mm 2,500mm を超え 3,000mm 以下</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td>2,500mm 3,000mm を超え 3,500mm 以下</td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>4,000mm 3,500mm を超え 4,500mm 以下</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td>4,500mm</td> <td>アーチ形</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コルゲートパイプの設置、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬及び組立 (据付時)、解体 (撤去時) 等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 床掘り、基礎 (均しコンクリート、基礎砕石)、埋戻し、基面整正は含まない。 3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料費は含まれていないため、別途計上する。 4. パッキング以外のベーパーピング、パイプ内足場等の補助工法については、必要な費用を別途計上する。</p> <p>現行どおり</p>		作業区分	規格	パイプ径	型式	(表 3.32)	フランジ型	250～600mm	円形	750～900mm	800mm 以上 1200mm 以下	1,000～1,200mm	1,300mm	1,200mm を超え 1,800mm 以下	1,500～1,600mm	1,800～2,200mm	ラップ型	2,000mm	円形	2,000mm 以上 2,500mm 以下	アーチ形	3,000mm	円形	3,000mm	アーチ形	2,000mm 2,500mm を超え 3,000mm 以下	円形	2,500mm 3,000mm を超え 3,500mm 以下	アーチ形	4,000mm 3,500mm を超え 4,500mm 以下	円形	4,500mm	アーチ形	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>区分の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	規格	パイプ径	型式																																																																														
	フランジ型	250～600mm	円形																																																																														
		750～900mm																																																																															
		1,000～1,200mm																																																																															
		1,300mm																																																																															
		1,500～1,600mm																																																																															
		1,800～2,200mm																																																																															
(表 3.32)	ラップ型	2,000mm	円形																																																																														
			アーチ形																																																																														
		2,500mm	円形																																																																														
			アーチ形																																																																														
		3,000mm	円形																																																																														
			アーチ形																																																																														
		3,500mm	円形																																																																														
			アーチ形																																																																														
		4,000mm	円形																																																																														
			アーチ形																																																																														
4,500mm	円形																																																																																
	アーチ形																																																																																
積算条件	区分																																																																																
作業区分	据付																																																																																
	撤去																																																																																
	据付・撤去																																																																																
作業区分	規格	パイプ径	型式																																																																														
(表 3.32)	フランジ型	250～600mm	円形																																																																														
		750～900mm																																																																															
		800mm 以上 1200mm 以下																																																																															
		1,000～1,200mm																																																																															
		1,300mm																																																																															
		1,200mm を超え 1,800mm 以下																																																																															
		1,500～1,600mm																																																																															
		1,800～2,200mm																																																																															
		ラップ型		2,000mm	円形																																																																												
				2,000mm 以上 2,500mm 以下	アーチ形																																																																												
				3,000mm	円形																																																																												
				3,000mm	アーチ形																																																																												
				2,000mm 2,500mm を超え 3,000mm 以下	円形																																																																												
				2,500mm 3,000mm を超え 3,500mm 以下	アーチ形																																																																												
4,000mm 3,500mm を超え 4,500mm 以下	円形																																																																																
4,500mm	アーチ形																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 5/7																																																																														

改正理由	一部改正	改正 現 行	
現 行		改 正	

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1	—
	K 2	—
	K 3	—
労務	R 1	普通作業員
	R 2	—
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 400mm 板厚 2.0mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 250～600mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 800mm 板厚 2.7mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 750～900mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,200mm 板厚 2.7mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,000～1,200mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,350mm 板厚 3.2mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,300mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,500mm 板厚 3.2mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,500～1,600mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,800mm 板厚 3.2mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,800～2,200mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 2,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 2,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 2,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 2,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 3,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 3,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 3,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 3,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 4,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 4,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 4,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 4,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 2,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 2,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 2,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 2,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 3,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 3,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 3,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 3,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 4,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 4,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 4,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 4,500mm の場合
	Z 2	—
	Z 3	—
Z 4	—	
市場単価	S	—

現行どおり

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方掘削・旋回型・低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)・山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)吊能力 2.9t〕 賃料
	K 2	—
	K 3	—
労務	R 1	普通作業員
	R 2	熟練作業員
	R 3	土木一般世話役
	R 4	運転手(特殊)
材料	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 400mm 板厚 2.0mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 250～600mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 800mm 板厚 2.7mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 750～900mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,200mm 板厚 2.7mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,000～1,200mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,350mm 板厚 3.2mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,300mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,500mm 板厚 3.2mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,500～1,600mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1形 1,800mm 板厚 3.2mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,800～2,200mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 2,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 2,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 2,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 2,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 3,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 3,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 3,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 3,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 4,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 4,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ 円形 2形 4,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、型式が円形、パイプ径が 4,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 2,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 2,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 2,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 2,500mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 3,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 3,000mm の場合
	Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 3,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 3,500mm の場合
Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 4,000mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 4,000mm の場合	
Z 1	コルゲートパイプ アーチ形 4,500mm 板厚 4.5mm 作業区分が据付又は据付・撤去、型式がアーチ形、パイプ径が 4,500mm の場合	
Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	
Z 3	—	
Z 4	—	
市場単価	S	—

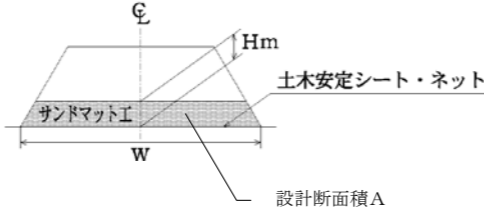
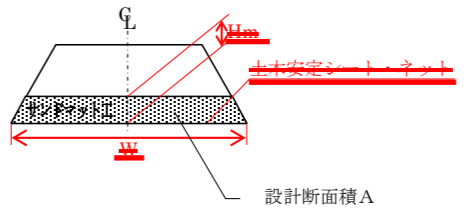
代表機材の変更
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																				
現	行	改	正																																																																																																																			
備 考																																																																																																																						
<p>3-13 コルゲートフリューム (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.34 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="7" style="text-align: center;">(表 3.32)</td> <td>350×350mm</td> </tr> <tr><td>400×400mm</td> </tr> <tr><td>500×500mm</td> </tr> <tr><td>600×600mm</td> </tr> <tr><td>700×700mm</td> </tr> <tr><td>800×750mm</td> </tr> <tr><td>900×800mm</td> </tr> <tr><td>1,000×850mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コルゲートフリュームの設置、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬及び組立等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 基面整正は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.35 コルゲートフリューム 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="10">材料</td><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 350×350 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 400×400 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 500×500 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 600×600 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 700×700 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 800×750 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 900×800 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 1,000×850 の場合</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>		作業区分	規格	(表 3.32)	350×350mm	400×400mm	500×500mm	600×600mm	700×700mm	800×750mm	900×800mm	1,000×850mm	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 350×350 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 400×400 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 500×500 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 600×600 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 700×700 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 800×750 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 900×800 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 1,000×850 の場合	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>3-14 コルゲートフリューム (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.34 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表 3.32)</td> <td>350×350mm 以上 550×550mm 以下</td> </tr> <tr><td>400×400mm</td></tr> <tr><td>500×500mm</td></tr> <tr><td>600×600mm</td></tr> <tr><td>550×550mm を超え 750×750mm 以下</td></tr> <tr><td>700×700mm</td></tr> <tr><td>800×750mm</td></tr> <tr><td>900×800mm</td></tr> <tr><td>1,000×850mm</td></tr> <tr><td>1,000×850mm</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コルゲートフリュームの設置、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬及び組立(据付時)、解体(撤去時)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 床掘り、基礎（均しコンクリート、基礎砕石）、埋戻し等は含まない。 3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料費は含まれていないため、別途計上する。 4. パッキング以外のすべり防止、止水壁、浮上り防止等の補助工法については、必要な費用を別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.35 コルゲートフリューム 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)「後方掘 小旋回型・低騒音型・クレーン機能 付」・排出ガス対策型(第3次基準 値) 山積 0.45m³(車積 0.35m³) 荷 能力 2.9t 貸料</td></tr> <tr><td>K 2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K 3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R 4</td><td>運転手(特殊)</td></tr> <tr><td rowspan="10">材料</td><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 350×350 以上 550×550 以下の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 400×400 以上 500×500 を超え 750×750 以下の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 500×500 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 600×600 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 700×700 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 800×750 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 900×800 の場合</td></tr> <tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 1,000×850 の場合</td></tr> <tr><td>Z 2</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td></tr> <tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>		作業区分	規格	(表 3.32)	350×350mm 以上 550×550mm 以下	400×400mm	500×500mm	600×600mm	550×550mm を超え 750×750mm 以下	700×700mm	800×750mm	900×800mm	1,000×850mm	1,000×850mm	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)「後方掘 小旋回型・低騒音型・クレーン機能 付」・排出ガス対策型(第3次基準 値) 山積 0.45m ³ (車積 0.35m ³) 荷 能力 2.9t 貸料	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	運転手(特殊)	材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 350×350 以上 550×550 以下の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 400×400 以上 500×500 を超え 750×750 以下の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 500×500 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 600×600 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 700×700 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 800×750 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 900×800 の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 1,000×850 の場合	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>区分の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機材の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	規格																																																																																																																					
(表 3.32)	350×350mm																																																																																																																					
	400×400mm																																																																																																																					
	500×500mm																																																																																																																					
	600×600mm																																																																																																																					
	700×700mm																																																																																																																					
	800×750mm																																																																																																																					
	900×800mm																																																																																																																					
1,000×850mm																																																																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																				
機械	K 1	—																																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																				
	R 3	—																																																																																																																				
	R 4	—																																																																																																																				
材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 350×350 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 400×400 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 500×500 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 600×600 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 700×700 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 800×750 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 900×800 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 1,000×850 の場合																																																																																																																				
	Z 2	—																																																																																																																				
	Z 3	—																																																																																																																				
Z 4	—																																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																																				
作業区分	規格																																																																																																																					
(表 3.32)	350×350mm 以上 550×550mm 以下																																																																																																																					
	400×400mm																																																																																																																					
	500×500mm																																																																																																																					
	600×600mm																																																																																																																					
	550×550mm を超え 750×750mm 以下																																																																																																																					
	700×700mm																																																																																																																					
	800×750mm																																																																																																																					
	900×800mm																																																																																																																					
	1,000×850mm																																																																																																																					
	1,000×850mm																																																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																				
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)「後方掘 小旋回型・低騒音型・クレーン機能 付」・排出ガス対策型(第3次基準 値) 山積 0.45m ³ (車積 0.35m ³) 荷 能力 2.9t 貸料																																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																				
	R 3	特殊作業員																																																																																																																				
	R 4	運転手(特殊)																																																																																																																				
材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 350×350 以上 550×550 以下の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 400×400 以上 500×500 を超え 750×750 以下の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 500×500 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 600×600 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 700×700 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 800×750 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 900×800 の場合																																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が 1,000×850 の場合																																																																																																																				
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																				
	Z 3	—																																																																																																																				
Z 4	—																																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																																				
2・⑩・27		現行どおり																																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 7/7																																																																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正		備 考
<p>⑱ 排水構造物工(現場打ち集水桝・街渠桝(本体))</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現場打ちの集水桝・街渠桝(本体)に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現場打ちの集水桝・街渠桝の設置</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) プレキャスト製品の場合 (2) 集水桝・街渠桝(本体)の1箇所当りのコンクリート使用数量が0.20m³未満、又は3.42m³を超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="510 945 1092 1470" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <pre> graph TD A[床掘] --> B[資機材搬入] B --> C[基礎碎石敷均し・転圧] C --> D[型枠製作・設置] D --> E[コンクリート打設・養生] E --> F[型枠撤去] F --> G[資機材搬出] G --> H[埋戻] </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. 基礎碎石の有無にかかわらず適用出来る。</p> <div data-bbox="371 1558 1219 1598" style="border: 2px solid red; height: 15px; width: 286px;"></div> <p style="text-align: center;">2・⑱・1</p>	<p>現行どおり</p> <div data-bbox="1855 955 2139 1501" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <pre> graph TD A[床掘] --> B[資機材搬入] B --> C[基礎碎石敷均し・転圧] C --> D[鉄筋加工・組立] D --> E[型枠製作・設置] E --> F[コンクリート打設・養生] F --> G[型枠撤去] G --> H[資機材搬出] H --> I[埋戻] </pre> </div> <p>現行どおり</p> <p style="color: red; font-size: small;">3. 鉄筋加工・組立費が必要な場合は、「市場単価 鉄筋工」より計上する。</p>	<p>記載の追加</p> <p>記載の追加</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現行									
現 行		改 正									
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 現場打ち集水柵・街渠柵(本体)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 現場打ち集水柵・街渠柵(本体)積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>1箇所当り コンクリート使用量</th> <th>コンクリート打設工法</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(表 3.2)</td> <td>(表 3.3)</td> <td>(表 3.4)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭) 特殊養生(ジェットヒータ) 養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、現場打ちによる集水柵・街渠柵のコンクリート打設、現場内小運搬(15m以内)、シュートの架設・移動(人力打設の場合)、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助作業(バックホウ(クレーン機能付)打設の場合)、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業を含む)、基礎砕石、養生の施工の他、雑機器具(シュート、コンクリートバケット、コンクリートパイププレート、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材、電気ドリル、電気ノコギリ、つき締め機械等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. コンクリート打設工法の選定は、図3-1を標準とする。現場条件により図3-1により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>3. コンクリート、基礎砕石の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリート使用量が1.03m³以下/箇所の場合+0.06、1.03m³超え/箇所の場合+0.07、また基礎砕石が+0.20とする。</p> <p>4. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>5. 雪寒仮囲いの養生が必要な場合は、「養生工無」を選択し別途計上する。</p> <p>6. 蓋版は別途計上する。</p> <p>7. 足掛け金物は別途計上する。ただし、集水柵コンクリート打設時に足掛け金物を先付けするタイプの場合、足掛け金物の設置手間は上表を含む。</p> <p>8. 基面整正は含まない。</p>		コンクリート規格	1箇所当り コンクリート使用量	コンクリート打設工法	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)	一般養生・特殊養生(練炭) 特殊養生(ジェットヒータ) 養生工無	<p>現行どおり</p> <p>9. 鉄筋加工・組立費が必要な場合は、「市場単価 鉄筋工」より計上する。</p> <p>現行どおり</p>	
コンクリート規格	1箇所当り コンクリート使用量	コンクリート打設工法	養生工の種類								
(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)	一般養生・特殊養生(練炭) 特殊養生(ジェットヒータ) 養生工無								
<p>4.5m超</p> <p>4.5m以下</p> <p>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし</p> <p>適用範囲外</p> <p>打 1.0m超</p> <p>1.0m以下</p> <p>人力打設 (現場内小運搬 15m以下)</p> <p>15m以下 15m超</p> <p>0m</p> <p>2m以下 2m超 4m以下 4m超</p> <p>上</p> <p>-1.0m以上</p> <p>-1.0m未満</p> <p>バックホウ (クレーン機能付) 打設 ※吊り走行なし</p> <p>適用範囲外</p> <p>-6.5m以上</p> <p>-6.5m未満</p> <p>水平打設距離</p> <p>(注) コンクリート使用量が1.03m³超え/箇所の場合、設計日打設量は10m³/日未満とする。</p> <p>図3-1 コンクリート打設工法の選定</p> <p>2・⑱・2</p>		<p>記載の追加</p>									
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2								

改正理由	一部改正	改正 現行																																							
現 行		改 正																																							
<p>⑬ サンドマット工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、軟弱地盤処理工のサンドマット工に適用する。</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 サンドマット (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 サンドマット 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>砂材料費の有無</td></tr> <tr><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、サンドマットの敷均し、補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 土量は締固め（敷均し）後土量とする。 3. 砂の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.23）</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 サンドマット 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 砂 再生砂</td> <td>砂材料費有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2・⑬・1</p>		砂材料費の有無	有り	無し	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 級		K2 -		K3 -		労務	R1 運転手 (特殊)		R2 普通作業員		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z2 砂 再生砂	砂材料費有りの場合	Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 土木安定シート・ネットの施工が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>⑬.3. 施工パッケージ ⑬.3-1 サンドマット (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表⑬.3.1 サンドマット 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>砂材料費の有無</td></tr> <tr><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、サンドマットの敷均し、補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 土量は締固め（敷均し）後土量とする。 3. 砂の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.2316）</p> <p style="text-align: center;">次頁へ移動</p>		砂材料費の有無	有り	無し	備考
砂材料費の有無																																									
有り																																									
無し																																									
項目	代表機材規格	備考																																							
機械	K1 ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 級																																								
	K2 -																																								
	K3 -																																								
労務	R1 運転手 (特殊)																																								
	R2 普通作業員																																								
	R3 -																																								
	R4 -																																								
材料	Z1 軽油 1.2号 バトロール給油																																								
	Z2 砂 再生砂	砂材料費有りの場合																																							
	Z3 -																																								
	Z4 -																																								
市場単価	S -																																								
砂材料費の有無																																									
有り																																									
無し																																									
積算上の注意事項																																									
		<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p style="text-align: right;">(控え頁) 1/2</p>																																							

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																													
	<p>2-2 安定シート・ネット</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.3 安定シート・ネット 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1"> <tr><th>シート種類</th></tr> <tr><td>シート</td></tr> <tr><td>ネット</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、盛土の安定処理のために行う安定シート・ネットの設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 安定シート・ネットの材料のロスを含む。（標準ロス率は、+0.11）</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表2.4 安定シート・ネット 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>土木安定シート・ネット ナイロン・ポリエステル系 1470N/3cm</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	シート種類	シート	ネット	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	土木安定シート・ネット ナイロン・ポリエステル系 1470N/3cm	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>前頁より移動</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表2.3.2 サンドマット 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>ブルドーザ [湿地・<u>低騒音型</u>・排出ガス対策型 (第<u>3</u>次基準値)] <u>167t級</u></td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K2</td><td><u>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</u></td><td></td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手 (特殊)</td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z2</td><td>砂 再生砂</td><td>砂材料費有りの場合</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	ブルドーザ [湿地・ <u>低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値)] <u>167t級</u>	賃料	K2	<u>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</u>		K3	—		労務	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	砂 再生砂	砂材料費有りの場合	Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う) 代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
シート種類																																																																																
シート																																																																																
ネット																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																														
機械	K1	—																																																																														
	K2	—																																																																														
	K3	—																																																																														
労務	R1	普通作業員																																																																														
	R2	—																																																																														
	R3	—																																																																														
	R4	—																																																																														
材料	Z1	土木安定シート・ネット ナイロン・ポリエステル系 1470N/3cm																																																																														
	Z2	—																																																																														
	Z3	—																																																																														
	Z4	—																																																																														
市場単価	S	—																																																																														
項目	代表機材規格	備考																																																																														
機械	K1	ブルドーザ [湿地・ <u>低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値)] <u>167t級</u>	賃料																																																																													
	K2	<u>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</u>																																																																														
	K3	—																																																																														
労務	R1	運転手 (特殊)																																																																														
	R2	普通作業員																																																																														
	R3	—																																																																														
	R4	—																																																																														
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																														
	Z2	砂 再生砂	砂材料費有りの場合																																																																													
	Z3	—																																																																														
	Z4	—																																																																														
市場単価	S	—																																																																														
	<p>2-3 対象体積、対象面積 サンドマット用砂量の設計体積は、次式による。 $V_m = A \times L$ V_m : サンドマット用砂の設計体積 (m³) A : 設計断面積 (m²) L : 設計延長 (m)</p> <p>安定シート・ネットの設計面積は次式による。 $A_m = W \times L$ A_m : 設計面積 (m²) W : 設計幅員 (m) L : 設計延長 (m)</p>  <p>図2-1 施工図</p>	<p>削除</p> <p>2.3-2.2 対象体積、対象面積 サンドマット用砂量の設計体積は、次式による。 $V_m = A \times L$ V_m : サンドマット用砂の設計体積 (m³) A : 設計断面積 (m²) L : 設計延長 (m)</p> <p>安定シート・ネットの設計面積は次式による。 $A_m = W \times L$ A_m : 設計面積 (m²) W : 設計幅員 (m) L : 設計延長 (m)</p>  <p>図2.3-1 施工図</p>	<p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正・削除 (歩掛り改定に伴う)</p>																																																																													
積算上の注意事項	2・19・2		(控え頁) 2/2																																																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>② 構造物とりこわし工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川、海岸、砂防、道路工事の石積とりこわし及び既設コンクリート構造物のはつり作業及びとりこわしコンクリート殻積込みに適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 石積とりこわし(人力)</p> <p>(1) 人力による石積のとりこわしの場合</p> <p>1-1-2 コンクリートはつり</p> <p>(1) 平均はつり厚が6cm以下の場合</p> <p>1-1-3 積込み(コンクリート殻)</p> <p>(1) コンクリートはつりにより生じた破砕片の積込み</p> <p>(2) 石積破砕片の積込み</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリートはつり</p> <p>(1) 沓座拡幅等のように、はつり(チップング)作業が含まれている場合</p> <p>(2) 建築物及び舗装版のとりこわしの場合</p> <p>(3) ブロック施工による旧橋の撤去の場合</p> <p>(4) 平均はつり厚が6cmを超える場合</p> <p>(5) 橋梁補修工、道路維持修繕工等で標準歩掛が設定されている工種の場合</p> <p>(6) 上方、水平方向に対するはつり作業の場合</p> <p>1-2-2 積込(コンクリート殻)</p> <p>(1) 代表機械より小型の機械を使用する場合</p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 石積とりこわし(人力)</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>2-2 コンクリートはつり</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・②・1</p>		<p>現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川、海岸、砂防、道路工事の石積とりこわし及び既設コンクリート構造物のはつり作業及びとりこわしコンクリート殻積込みに適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 石積とりこわし(人力)</p> <p>(1) 人力による石積のとりこわしの場合</p> <p>1-1-21 コンクリートはつり</p> <p>(1) 平均はつり厚が6cm以下の場合</p> <p>1-1-32 積込み(コンクリート殻)</p> <p>(1) コンクリートはつりにより生じた破砕片の積込み</p> <p>(2) 石積破砕片の積込み</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリートはつり石積とりこわし</p> <p>(1) 石積のとりこわしの場合</p> <p>1-2-22 コンクリートはつり</p> <p>(1) 沓座拡幅等のように、はつり(チップング)作業が含まれている場合</p> <p>(2) 建築物及び舗装版のとりこわしの場合</p> <p>(3) ブロック施工による旧橋の撤去の場合</p> <p>(4) 平均はつり厚が6cmを超える場合</p> <p>(5) 橋梁補修工、道路維持修繕工等で標準歩掛が設定されている工種の場合</p> <p>(6) 上方、水平方向に対するはつり作業の場合</p> <p>1-2-33 積込(コンクリート殻)</p> <p>(1) 代表機械より小型の機械を使用する場合</p> <p>削除</p> <p>2-21 コンクリートはつり</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加・削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 現行																																											
現	行	改	正																																										
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 石積とりこわし(人力)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 石積とりこわし(人力) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>練積</td> <td>控え 35cm 以上 45cm 未満</td> </tr> <tr> <td>空積</td> <td>控え 45cm 未満</td> </tr> <tr> <td>空積</td> <td>控え 45cm 以上 60cm 未満</td> </tr> <tr> <td>空積</td> <td>控え 60cm 以上 90cm 未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、人力による石積とりこわし作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 石積破砕片の積込み、運搬及び人力運搬車等による現場内小運搬を必要とする場合は別途計上する。 3. 施工数量は、石積とりこわし前の面積とする。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 石積とりこわし(人力) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		形状		練積	控え 35cm 以上 45cm 未満	空積	控え 45cm 未満	空積	控え 45cm 以上 60cm 未満	空積	控え 60cm 以上 90cm 未満	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	特殊作業員	R 2	-	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	-	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<p>現行どおり</p> <p>削除</p> <p>3-011 コンクリートはつり</p> <p>現行どおり</p>		備考
形状																																													
練積	控え 35cm 以上 45cm 未満																																												
空積	控え 45cm 未満																																												
空積	控え 45cm 以上 60cm 未満																																												
空積	控え 60cm 以上 90cm 未満																																												
項目	代表機労材規格	備考																																											
機械	K 1	-																																											
	K 2	-																																											
	K 3	-																																											
労務	R 1	特殊作業員																																											
	R 2	-																																											
	R 3	-																																											
	R 4	-																																											
材料	Z 1	-																																											
	Z 2	-																																											
	Z 3	-																																											
	Z 4	-																																											
市場単価	S	-																																											
<p>3-2 コンクリートはつり</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートはつり 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平均はつり厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3cm 以下</td> </tr> <tr> <td>3cm を超え 6cm 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、既設のコンクリート構造物表面部のはつり作業、破砕片の除去の他、コンクリートブレーカの賃料、チゼルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. コンクリート殻の運搬車への積込み、運搬は含まない。</p> <p style="text-align: center;">2・㊸・2</p>		平均はつり厚	3cm 以下	3cm を超え 6cm 以下	<p>3-011 コンクリートはつり</p> <p>現行どおり</p>		記載の削除 (歩掛り改定に伴う)																																						
平均はつり厚																																													
3cm 以下																																													
3cm を超え 6cm 以下																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.4 コンクリートはつり 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 5.0m3/min	賃料
	K2	-	
	K3	-	
労務	R1	特殊作業員	
	R2	普通作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	-	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z2	-	
	Z3	-	
	Z4	-	
市場単価	S	-	

3-3 積み込み(コンクリート殻)

(1) 条件区分

- 積み込み(コンクリート殻)の積算条件区分はない。
積算単位は、m3 とする。
- (注) 1. 構造物とりこわして生じたとりこわし殻等の積込費用等, その施工に必要な機械・労務・材料を含む。
2. 施工量はとりこわし構造物の破砕前の体積とする。
3. 表3.5の代表機械より小型の機械を使用する場合は別途考慮する。
4. 殻運搬については、「2章@殻運搬」により、別途計上する。

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.5 積み込み(コンクリート殻) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	
	K2	-	
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	運転手 (特殊)	
	R3	-	
	R4	-	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z2	-	
	Z3	-	
	Z4	-	
市場単価	S	-	

2・②・3

現行どおり

3-2.2 積み込み(コンクリート殻)

現行どおり

表3.5 積み込み(コンクリート殻) 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K1	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	
	K2	-	
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	運転手 (特殊)	
	R3	-	
	R4	-	
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z2	-	
	Z3	-	
	Z4	-	
市場単価	S	-	

(注) 上表の機械は、「1章②土工 3-7 積み込み (ルーズ)」による。

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)

代表機械の変更
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行	備考															
現	行	改 正	備 考															
<p>⑬ コンクリート削孔工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 削孔機械における適用削孔径及び削孔深が表1.1及び図1-1に該当する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表1.1 削孔機械別適用範囲</caption> <thead> <tr> <th>削孔機械</th> <th>削孔径</th> <th>削孔深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動ハンマドリル</td> <td>10mm 以上 30mm 未満</td> <td>30mm 以上 400mm 以下</td> </tr> <tr> <td>さく岩機（ハンドドリル）</td> <td>30mm 以上 60mm 未満</td> <td>100mm 以上 1,100mm 以下</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機</td> <td>60mm 以上 100mm 未満</td> <td>50mm 以上 1,100mm 以下</td> </tr> <tr> <td>（電動式コアボーリングマシン）</td> <td>100mm 以上 200mm 以下</td> <td>50mm 以上 400mm 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">図1-1 削孔機械の選定</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 落橋防止に伴う橋台、橋脚の削孔である場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph LR A[機材搬入] --> B[削孔機械設置] B --> C[コンクリート削孔] C --> D[機材搬出] style B stroke-width:4px style C stroke-width:4px </pre> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">2・⑬・1</p>		削孔機械	削孔径	削孔深	電動ハンマドリル	10mm 以上 30mm 未満	30mm 以上 400mm 以下	さく岩機（ハンドドリル）	30mm 以上 60mm 未満	100mm 以上 1,100mm 以下	コンクリート穿孔機	60mm 以上 100mm 未満	50mm 以上 1,100mm 以下	（電動式コアボーリングマシン）	100mm 以上 200mm 以下	50mm 以上 400mm 以下	<p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">図1-1 削孔機械の選定</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の削除</p>
削孔機械	削孔径	削孔深																
電動ハンマドリル	10mm 以上 30mm 未満	30mm 以上 400mm 以下																
さく岩機（ハンドドリル）	30mm 以上 60mm 未満	100mm 以上 1,100mm 以下																
コンクリート穿孔機	60mm 以上 100mm 未満	50mm 以上 1,100mm 以下																
（電動式コアボーリングマシン）	100mm 以上 200mm 以下	50mm 以上 400mm 以下																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																														
現	行	改 正	備 考																																																																																														
	<p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリート削孔(電動ハンマドリル 40mm)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリート削孔(電動ハンマドリル 40mm) 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>削孔深さ</th></tr> <tr><td>30mm 以上 200mm 未満</td></tr> <tr><td>200mm 以上 400mm 以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 電動ハンマドリル 40mm によるコンクリート構造物の削孔(用心鉄筋(さし筋), あと施工アンカー, 防護柵類, 排水穴等)作業の他, ビットの費用等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 不達孔(削孔ロス)を含み, 不達孔の有無に関わらず適用できる。ただし, 不達孔の補修にかかる費用は含まないため, 必要に応じて別途考慮する。 3. 足場が必要な場合は, 別途計上する。 4. 鉄筋を切断しないように事前に鉄筋位置の確認を行う場合には, 共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は, 当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 コンクリート削孔(電動ハンマドリル 40mm) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>電動ハンマドリル 穴あけ能力φ40mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	30mm 以上 200mm 未満	200mm 以上 400mm 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料	K 2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ40mm		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	ガソリン レギュラー スタンド		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリート削孔(電動ハンマドリル <u>40mm</u>)</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリート削孔(電動ハンマドリル <u>40mm</u>) 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>削孔深さ</th></tr> <tr><td>30mm 以上 200mm 未満</td></tr> <tr><td>200mm 以上 400mm 以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 電動ハンマドリル <u>40mm</u> によるコンクリート構造物の削孔(用心鉄筋(さし筋), あと施工アンカー, 防護柵類, 排水穴等)作業の他, ビットの費用等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.2 コンクリート削孔(電動ハンマドリル <u>40mm</u>) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>電動ハンマドリル 穴あけ能力φ<u>38~</u>40mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	30mm 以上 200mm 未満	200mm 以上 400mm 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料	K 2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u>38~</u> 40mm		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	ガソリン レギュラー スタンド		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>語句の削除</p> <p>語句の削除</p> <p>語句の削除</p> <p>語句の削除</p> <p>語句の追加</p>
削孔深さ																																																																																																	
30mm 以上 200mm 未満																																																																																																	
200mm 以上 400mm 以下																																																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																																														
機械	K 1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料																																																																																														
	K 2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ40mm																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	特殊作業員																																																																																															
	R 2	普通作業員																																																																																															
	R 3	土木一般世話役																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材料	Z 1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
削孔深さ																																																																																																	
30mm 以上 200mm 未満																																																																																																	
200mm 以上 400mm 以下																																																																																																	
項目	代表機材規格		備考																																																																																														
機械	K 1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 2kVA	賃料																																																																																														
	K 2	電動ハンマドリル 穴あけ能力φ <u>38~</u> 40mm																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	特殊作業員																																																																																															
	R 2	普通作業員																																																																																															
	R 3	土木一般世話役																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材料	Z 1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
2・㉓・2																																																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																														

⑭ 吸出し防止材設置工

1. 適用範囲

本資料は、吸出し防止材を設置する作業に適用する。

1-1 適用出来る範囲

(1) 吸出し防止材を設置する場合

1-2 適用出来ない範囲

(1) 他工種の歩掛りや施工パッケージに吸出し防止材設置が含まれている場合

2. 施工パッケージ

2-1 吸出し防止材設置

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表2.1 吸出し防止材設置 積算条件区分一覧

(積算単位：m²)

設置条件
全面
点在

- (注) 1. 上表は、吸出し防止材の設置等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 全面に設置する場合、重ね合せ等による吸出し防止材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07）
 3. 点在で設置する場合、吸出し防止材の材料ロスは含まない。

(2) 代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表2.2 吸出し防止材設置 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K1	-
	K2	-
	K3	-
労務	R1	普通作業員
	R2	-
	R3	-
	R4	-
材料	Z1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m
	Z2	-
	Z3	-
	Z4	-
市場単価	S	-

2・⑭・1

現行どおり

1. 適用範囲

本資料は、吸出し防止材を設置する作業に適用する。なお、施工方法は表1.1を標準とする。

1-1 適用出来る範囲

(1) 吸出し防止材を施工場所全面に設置する場合

1-2 適用出来ない範囲

(1) 他工種の歩掛りや施工パッケージに吸出し防止材設置が含まれている場合

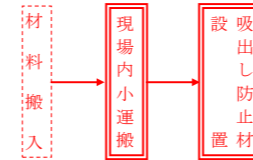
(2) 吸出し防止材を点在で設置する場合

表1.1 施工方法の定義

施工方法	簡 要
全面	ロール状の吸出し防止材を斜面や平面に全面で設置する。
点在	吸出し防止材を構造物の形状に合わせ、切り出し・整形し、吸出し防止する箇所に貼り付け等を行うもの。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

⑭-3. 施工パッケージ

⑭-3-1 吸出し防止材設置

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。吸出し防止材設置における積算条件区分はない。

積算単位は、m²とする。

表2-1 吸出し防止材設置 積算条件区分一覧

(積算単位：m²)

設置条件
全面
点在

(注) 1. 上表は、吸出し防止材の設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 全面に設置する場合、重ね合せ等による吸出し防止材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07S）

3. 点在で設置する場合、吸出し防止材の材料ロスは含まない。

次頁へ移動

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加・削除
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																																
現 行		改 正																																
		備 考																																
		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表2.2 吸出し防止材設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2・24・2</p>		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	—	R4	—	材料	Z1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K1	—																																
	K2	—																																
	K3	—																																
労務	R1	普通作業員																																
	R2	土木一般世話役																																
	R3	—																																
	R4	—																																
材料	Z1	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m																																
	Z2	—																																
	Z3	—																																
	Z4	—																																
市場単価	S	—																																
積算上の注意事項		(控え頁) 2/2																																

前頁より移動 →

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																														
現	行	改 正	備 考																																														
<p>③ 殻 運 搬</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、構造物撤去工における殻運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）の運搬の場合 (2) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬の場合 (3) バックホウを用いて行う平均施工幅1m未満の舗装版破碎（舗装厚5cm以内）により発生した殻の運搬の場合 (4) モルタルの吹付法面のとりこわし作業により発生した殻の運搬の場合 <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬 (2) 電線共同溝におけるアスファルト舗装版の破碎作業により発生した殻の運搬 (3) 自動車専用道路を利用する場合 (4) 運搬距離が60kmを超える場合 		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>(5) 既設コンクリート構造物のとりこわしにより発生した殻（鉄筋・無筋）を人力で積み込む場合</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>区分の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>																																														
<p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 殻運搬</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</caption> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="14" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="14" style="text-align: center;">無し</td> <td>0.3km以下</td> </tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>11.5km以下</td></tr> <tr><td>15.5km以下</td></tr> <tr><td>22.5km以下</td></tr> <tr><td>49.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>		殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.5km以下	6.5km以下	7.5km以下	9.5km以下	11.5km以下	15.5km以下	22.5km以下	49.5km以下	60.0km以下	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表2.1 殻運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</caption> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="14" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="14" style="text-align: center;">無し</td> <td>0.3km以下</td> </tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.5km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>11.5km以下</td></tr> <tr><td>15.5km以下</td></tr> <tr><td>22.5km以下</td></tr> <tr><td>49.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>	殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋・ 鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	0.3 km以下	0.5 km以下	1.0 km以下	1.5 km以下	2.0 km以下	3.0 km以下	4.0 km以下	5.5 km以下	6.5 km以下	7.5 km以下	9.5 km以下	11.5 km以下	15.5 km以下	22.5 km以下	49.5 km以下	60.0 km以下	<p>2・③・1</p>
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																														
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	0.3km以下																																														
			0.5km以下																																														
			1.0km以下																																														
			1.5km以下																																														
			2.0km以下																																														
			3.0km以下																																														
			4.0km以下																																														
			5.5km以下																																														
			6.5km以下																																														
			7.5km以下																																														
			9.5km以下																																														
			11.5km以下																																														
			15.5km以下																																														
			22.5km以下																																														
49.5km以下																																																	
60.0km以下																																																	
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																														
コンクリート (無筋・ 鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	無し	0.3 km以下																																														
			0.5 km以下																																														
			1.0 km以下																																														
			1.5 km以下																																														
			2.0 km以下																																														
			3.0 km以下																																														
			4.0 km以下																																														
			5.5 km以下																																														
			6.5 km以下																																														
			7.5 km以下																																														
			9.5 km以下																																														
			11.5 km以下																																														
			15.5 km以下																																														
			22.5 km以下																																														
49.5 km以下																																																	
60.0 km以下																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5																																														

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																
現 行		改 正																																																																																																																																
備 考																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">殻発生作業</th> <th style="width: 15%;">積込工法区分</th> <th style="width: 15%;">DID区間の有無</th> <th style="width: 15%;">運搬距離</th> </tr> <tr> <td rowspan="20" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>0.3km以下</td> </tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.0km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">無し</td> <td>0.3km以下</td> </tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>0.3km以下</td> </tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>10.5km以下</td> </tr> <tr><td>14.5km以下</td></tr> <tr><td>23.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </table>		殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	有り	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	3.0km以下	3.5km以下	5.0km以下	6.0km以下	7.0km以下	人力積込	無し	無し	0.3km以下	0.5km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.0km以下	6.5km以下	8.5km以下	人力積込	有り	有り	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.5km以下	6.0km以下	8.0km以下	人力積込	有り	有り	10.5km以下	14.5km以下	23.0km以下	60.0km以下	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">殻発生作業</th> <th style="width: 15%;">積込工法区分</th> <th style="width: 15%;">DID区間の有無</th> <th style="width: 15%;">運搬距離</th> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>0-31.6km以下</td> </tr> <tr><td>0-53.3km以下</td></tr> <tr><td>1-05.7km以下</td></tr> <tr><td>1-58.0km以下</td></tr> <tr><td>2-01.0km以下</td></tr> <tr><td>2-01.4km以下</td></tr> <tr><td>2-518.5km以下</td></tr> <tr><td>4-023.2km以下</td></tr> <tr><td>6-028.4km以下</td></tr> <tr><td>7-034.3km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込 機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">無し</td> <td>0-31.6km以下</td> </tr> <tr><td>0-53.3km以下</td></tr> <tr><td>1-58.7km以下</td></tr> <tr><td>2-08.0km以下</td></tr> <tr><td>2-51.0km以下</td></tr> <tr><td>2-01.4km以下</td></tr> <tr><td>4-018.5km以下</td></tr> <tr><td>5-023.2km以下</td></tr> <tr><td>6-528.4km以下</td></tr> <tr><td>8-531.3km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込 機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>11-019.4km以下</td> </tr> <tr><td>14-058.8km以下</td></tr> <tr><td>19-560.0km以下</td></tr> <tr><td>31-5km以下</td></tr> <tr><td>60-0km以下</td></tr> <tr><td>0-31.6km以下</td></tr> <tr><td>0-53.3km以下</td></tr> <tr><td>1-58.7km以下</td></tr> <tr><td>2-08.0km以下</td></tr> <tr><td>2-51.0km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込 機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>2-01.4km以下</td> </tr> <tr><td>4-018.5km以下</td></tr> <tr><td>5-023.2km以下</td></tr> <tr><td>6-528.4km以下</td></tr> <tr><td>8-531.3km以下</td></tr> <tr><td>11-011.3km以下</td></tr> <tr><td>16-019.4km以下</td></tr> <tr><td>27-558.8km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> <tr><td>0-31.6km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込 機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>0-53.3km以下</td> </tr> <tr><td>1-05.7km以下</td></tr> <tr><td>1-58.0km以下</td></tr> <tr><td>2-01.0km以下</td></tr> <tr><td>2-51.4km以下</td></tr> <tr><td>2-518.5km以下</td></tr> <tr><td>4-023.2km以下</td></tr> <tr><td>6-028.4km以下</td></tr> <tr><td>8-034.3km以下</td></tr> <tr><td>10-511.3km以下</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">人力積込 機械積込</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td> <td>14-519.4km以下</td> </tr> <tr><td>23-058.8km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </table>		殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	有り	0-31.6 km以下	0-53.3 km以下	1-05.7 km以下	1-58.0 km以下	2-01.0 km以下	2-01.4 km以下	2-518.5 km以下	4-023.2 km以下	6-028.4 km以下	7-034.3 km以下	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	無し	0-31.6 km以下	0-53.3 km以下	1-58.7 km以下	2-08.0 km以下	2-51.0 km以下	2-01.4 km以下	4-018.5 km以下	5-023.2 km以下	6-528.4 km以下	8-531.3 km以下	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	11-019.4 km以下	14-058.8 km以下	19-560.0 km以下	31-5km以下	60-0km以下	0-31.6 km以下	0-53.3 km以下	1-58.7 km以下	2-08.0 km以下	2-51.0 km以下	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	2-01.4 km以下	4-018.5 km以下	5-023.2 km以下	6-528.4 km以下	8-531.3 km以下	11-011.3 km以下	16-019.4 km以下	27-558.8 km以下	60.0km以下	0-31.6 km以下	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	0-53.3 km以下	1-05.7 km以下	1-58.0 km以下	2-01.0 km以下	2-51.4 km以下	2-518.5 km以下	4-023.2 km以下	6-028.4 km以下	8-034.3 km以下	10-511.3 km以下	コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	14-519.4 km以下	23-058.8 km以下	60.0km以下	<p>区分の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																																																																																																															
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	有り	0.3km以下																																																																																																																															
			0.5km以下																																																																																																																															
			1.0km以下																																																																																																																															
			1.5km以下																																																																																																																															
			2.0km以下																																																																																																																															
			3.0km以下																																																																																																																															
			3.5km以下																																																																																																																															
			5.0km以下																																																																																																																															
			6.0km以下																																																																																																																															
			7.0km以下																																																																																																																															
	人力積込	無し	無し	0.3km以下																																																																																																																														
				0.5km以下																																																																																																																														
				1.5km以下																																																																																																																														
				2.0km以下																																																																																																																														
				2.5km以下																																																																																																																														
				3.0km以下																																																																																																																														
				4.0km以下																																																																																																																														
				5.0km以下																																																																																																																														
				6.5km以下																																																																																																																														
				8.5km以下																																																																																																																														
人力積込	有り	有り	0.3km以下																																																																																																																															
			0.5km以下																																																																																																																															
			1.0km以下																																																																																																																															
			1.5km以下																																																																																																																															
			2.0km以下																																																																																																																															
			2.5km以下																																																																																																																															
			3.5km以下																																																																																																																															
			4.5km以下																																																																																																																															
			6.0km以下																																																																																																																															
			8.0km以下																																																																																																																															
人力積込	有り	有り	10.5km以下																																																																																																																															
			14.5km以下																																																																																																																															
			23.0km以下																																																																																																																															
			60.0km以下																																																																																																																															
			殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																																																																																																												
			コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	機械積込	有り	0-31.6 km以下																																																																																																																												
						0-53.3 km以下																																																																																																																												
						1-05.7 km以下																																																																																																																												
						1-58.0 km以下																																																																																																																												
						2-01.0 km以下																																																																																																																												
2-01.4 km以下																																																																																																																																		
2-518.5 km以下																																																																																																																																		
4-023.2 km以下																																																																																																																																		
6-028.4 km以下																																																																																																																																		
7-034.3 km以下																																																																																																																																		
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	無し	0-31.6 km以下																																																																																																																															
			0-53.3 km以下																																																																																																																															
			1-58.7 km以下																																																																																																																															
			2-08.0 km以下																																																																																																																															
			2-51.0 km以下																																																																																																																															
			2-01.4 km以下																																																																																																																															
			4-018.5 km以下																																																																																																																															
			5-023.2 km以下																																																																																																																															
			6-528.4 km以下																																																																																																																															
			8-531.3 km以下																																																																																																																															
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	11-019.4 km以下																																																																																																																															
			14-058.8 km以下																																																																																																																															
			19-560.0 km以下																																																																																																																															
			31-5km以下																																																																																																																															
			60-0km以下																																																																																																																															
			0-31.6 km以下																																																																																																																															
			0-53.3 km以下																																																																																																																															
			1-58.7 km以下																																																																																																																															
			2-08.0 km以下																																																																																																																															
			2-51.0 km以下																																																																																																																															
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	2-01.4 km以下																																																																																																																															
			4-018.5 km以下																																																																																																																															
			5-023.2 km以下																																																																																																																															
			6-528.4 km以下																																																																																																																															
			8-531.3 km以下																																																																																																																															
			11-011.3 km以下																																																																																																																															
			16-019.4 km以下																																																																																																																															
			27-558.8 km以下																																																																																																																															
			60.0km以下																																																																																																																															
			0-31.6 km以下																																																																																																																															
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	0-53.3 km以下																																																																																																																															
			1-05.7 km以下																																																																																																																															
			1-58.0 km以下																																																																																																																															
			2-01.0 km以下																																																																																																																															
			2-51.4 km以下																																																																																																																															
			2-518.5 km以下																																																																																																																															
			4-023.2 km以下																																																																																																																															
			6-028.4 km以下																																																																																																																															
			8-034.3 km以下																																																																																																																															
			10-511.3 km以下																																																																																																																															
コンクリート (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし	人力積込 機械積込	有り	14-519.4 km以下																																																																																																																															
			23-058.8 km以下																																																																																																																															
			60.0km以下																																																																																																																															
			積算上の注意事項			(控え頁) 2/5																																																																																																																												

2・㊸・2

改正理由	一部改正			改正 現行																																					
現行			改正		備考																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>殻発生作業</th> <th>積込工法区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="24">舗装版破碎</td><td rowspan="24">人力積込</td><td rowspan="12">無し</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.0km以下</td></tr> <tr><td>5.0km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>11.0km以下</td></tr> <tr><td>16.0km以下</td></tr> <tr><td>27.5km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> <tr><td rowspan="12">有り</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.5km以下</td></tr> <tr><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>8.0km以下</td></tr> <tr><td>10.5km以下</td></tr> <tr><td>14.5km以下</td></tr> <tr><td>23.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>			殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離	舗装版破碎	人力積込	無し	0.3km以下	0.5km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.0km以下	4.0km以下	5.0km以下	6.5km以下	8.5km以下	11.0km以下	16.0km以下	27.5km以下	60.0km以下	有り	0.3km以下	0.5km以下	1.0km以下	1.5km以下	2.0km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.5km以下	6.0km以下	8.0km以下	10.5km以下	14.5km以下	23.0km以下	60.0km以下	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">削除</div>		記載の削除 (歩掛り改定に伴う)
殻発生作業	積込工法区分	DID区間の有無	運搬距離																																						
舗装版破碎	人力積込	無し	0.3km以下																																						
			0.5km以下																																						
			1.5km以下																																						
			2.0km以下																																						
			2.5km以下																																						
			3.0km以下																																						
			4.0km以下																																						
			5.0km以下																																						
			6.5km以下																																						
			8.5km以下																																						
			11.0km以下																																						
			16.0km以下																																						
		27.5km以下																																							
		60.0km以下																																							
		有り	0.3km以下																																						
			0.5km以下																																						
			1.0km以下																																						
			1.5km以下																																						
			2.0km以下																																						
			2.5km以下																																						
			3.5km以下																																						
			4.5km以下																																						
			6.0km以下																																						
			8.0km以下																																						
10.5km以下																																									
14.5km以下																																									
23.0km以下																																									
60.0km以下																																									
2・㊟・3																																									
積算上の注意事項				(控え頁)	3/5																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																				
現	行	改 正	備 考																																																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">殻発生作業</th> <th style="width: 15%;">積込工法区分</th> <th style="width: 15%;">DID 区間の有無</th> <th style="width: 55%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20" style="text-align: center;">吹付法面取壊し (モルタル)</td><td rowspan="20" style="text-align: center;">機械積込</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">無し</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>4.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>13.5km 以下</td></tr> <tr><td>18.0km 以下</td></tr> <tr><td>27.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.0km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>12.0km 以下</td></tr> <tr><td>16.0km 以下</td></tr> <tr><td>23.0km 以下</td></tr> <tr><td>43.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、既設構造物等のとりこわし、舗装版の破碎によって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。なお、積込作業は含まない。</p> <p>2. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用を含む。</p> <p>3. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</p> <p>4. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。</p> <p>5. 有料道路を利用する場合には、別途考慮する。</p> <p>6. DID（人口集中地区）は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。</p> <p>7. 運搬距離が60 kmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p>8. 設計数量は、構造物をとりこわす前の体積とする。</p> <p style="text-align: right;">2・㉔・6</p>		殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離	吹付法面取壊し (モルタル)	機械積込	無し	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.5km 以下	3.5km 以下	4.5km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	9.0km 以下	10.5km 以下	13.5km 以下	18.0km 以下	27.5km 以下	60.0km 以下	有り	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.5km 以下	3.5km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.0km 以下	9.0km 以下	12.0km 以下	16.0km 以下	23.0km 以下	43.0km 以下	60.0km 以下	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">殻発生作業</th> <th style="width: 15%;">積込工法区分</th> <th style="width: 15%;">DID 区間の有無</th> <th style="width: 55%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20" style="text-align: center;">吹付法面 <u>取壊し</u> と <u>りこ</u> <u>わし</u> (モルタル)</td><td rowspan="20" style="text-align: center;">機械積込</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">無し</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>4.5km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.5km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>10.5km 以下</td></tr> <tr><td>13.5km 以下</td></tr> <tr><td>18.0km 以下</td></tr> <tr><td>27.5km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td><td>0.5km 以下</td></tr> <tr><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>1.5km 以下</td></tr> <tr><td>2.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>3.5km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.0km 以下</td></tr> <tr><td>6.0km 以下</td></tr> <tr><td>7.0km 以下</td></tr> <tr><td>8.0km 以下</td></tr> <tr><td>9.0km 以下</td></tr> <tr><td>12.0km 以下</td></tr> <tr><td>16.0km 以下</td></tr> <tr><td>23.0km 以下</td></tr> <tr><td>43.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、既設構造物等のとりこわし、舗装版の破碎によって発生するコンクリート殻又はアスファルト殻、<u>モルタルの吹付法面のとりこわしによって発生した殻</u>の運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。なお、積込作業は含まない。</p> <p style="text-align: right;">2・㉔・5</p>		殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離	吹付法面 <u>取壊し</u> と <u>りこ</u> <u>わし</u> (モルタル)	機械積込	無し	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.5km 以下	3.5km 以下	4.5km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.5km 以下	9.0km 以下	10.5km 以下	13.5km 以下	18.0km 以下	27.5km 以下	60.0km 以下	有り	0.5km 以下	1.0km 以下	1.5km 以下	2.0km 以下	2.5km 以下	3.5km 以下	4.0km 以下	5.0km 以下	6.0km 以下	7.0km 以下	8.0km 以下	9.0km 以下	12.0km 以下	16.0km 以下	23.0km 以下	43.0km 以下	60.0km 以下	<p>→</p> <p>→</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離																																																																																				
吹付法面取壊し (モルタル)	機械積込	無し	0.5km 以下																																																																																				
			1.0km 以下																																																																																				
			1.5km 以下																																																																																				
			2.0km 以下																																																																																				
			2.5km 以下																																																																																				
			3.5km 以下																																																																																				
			4.5km 以下																																																																																				
			6.0km 以下																																																																																				
			7.0km 以下																																																																																				
			8.5km 以下																																																																																				
		9.0km 以下																																																																																					
		10.5km 以下																																																																																					
		13.5km 以下																																																																																					
		18.0km 以下																																																																																					
		27.5km 以下																																																																																					
		60.0km 以下																																																																																					
		有り	0.5km 以下																																																																																				
			1.0km 以下																																																																																				
			1.5km 以下																																																																																				
			2.0km 以下																																																																																				
2.5km 以下																																																																																							
3.5km 以下																																																																																							
4.0km 以下																																																																																							
5.0km 以下																																																																																							
6.0km 以下																																																																																							
7.0km 以下																																																																																							
8.0km 以下																																																																																							
9.0km 以下																																																																																							
12.0km 以下																																																																																							
16.0km 以下																																																																																							
23.0km 以下																																																																																							
43.0km 以下																																																																																							
60.0km 以下																																																																																							
殻発生作業	積込工法区分	DID 区間の有無	運搬距離																																																																																				
吹付法面 <u>取壊し</u> と <u>りこ</u> <u>わし</u> (モルタル)	機械積込	無し	0.5km 以下																																																																																				
			1.0km 以下																																																																																				
			1.5km 以下																																																																																				
			2.0km 以下																																																																																				
			2.5km 以下																																																																																				
			3.5km 以下																																																																																				
			4.5km 以下																																																																																				
			6.0km 以下																																																																																				
			7.0km 以下																																																																																				
			8.5km 以下																																																																																				
		9.0km 以下																																																																																					
		10.5km 以下																																																																																					
		13.5km 以下																																																																																					
		18.0km 以下																																																																																					
		27.5km 以下																																																																																					
		60.0km 以下																																																																																					
		有り	0.5km 以下																																																																																				
			1.0km 以下																																																																																				
			1.5km 以下																																																																																				
			2.0km 以下																																																																																				
2.5km 以下																																																																																							
3.5km 以下																																																																																							
4.0km 以下																																																																																							
5.0km 以下																																																																																							
6.0km 以下																																																																																							
7.0km 以下																																																																																							
8.0km 以下																																																																																							
9.0km 以下																																																																																							
12.0km 以下																																																																																							
16.0km 以下																																																																																							
23.0km 以下																																																																																							
43.0km 以下																																																																																							
60.0km 以下																																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表2.2 殻運搬 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	・積込工法区分が人力積込及び機械積込 (小規模土工) の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し (モルタル) の場合
K 2	—	
K 3	—	
労務	R 1	運転手 (一般)
	R 2	—
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1	軽油 1.2 号 パトロール給油
	Z 2	—
	Z 3	—
	Z 4	—
市場単価	S	—

現行どおり

表2.2 殻運搬 代表機材規格一覧

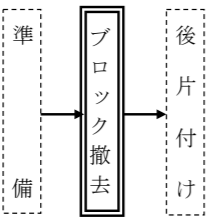
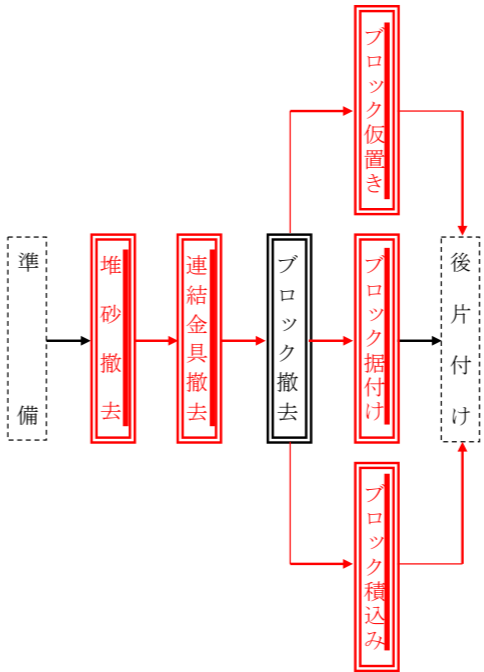
項目	代表機材規格	備考
機械	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	・下記以外の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	・積込工法区分が 人力積込及び 機械積込 (小規模土工) の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費 (良好) を含む
	ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	・賃料 ・殻発生作業が吹付法面取壊し (モルタル) の場合
K 2	—	
K 3	—	
労務	R 1	運転手 (一般)
	R 2	—
	R 3	—
	R 4	—
材料	Z 1	軽油 1.2 号 パトロール給油
	Z 2	—
	Z 3	—
	Z 4	—
市場単価	S	—

語句の削除
(歩掛り改定に伴う)

2・㊸・7

2・㊸・6

積算上の注意事項			(控え頁) 5/5
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
	<p>② 消波根固めブロック工(ブロック撤去工)(0.25t以上 35.5t以下)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、根固め工における陸上からの根固めブロック撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) ブロック質量が0.25 t以上 35.5 t以下(実質量とする)の場合 (2) 撤去・仮置きの場合(撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合) (3) 撤去・据付けの場合(既設ブロック又は仮設的に設置されたブロックを仮置きせずに据え直す場合) (4) 撤去・積込みの場合(撤去したブロックを直接トレーラ等に積込む場合)</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 撤去は連結金具の撤去の有無にかかわらず適用出来る。</p>	<p>② 消波根固めブロック工(ブロック撤去工) (0.25t以上 35.5t以下)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、根固め工における陸上からの根固めブロック撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) ブロック質量が 0.25 t以上 35.5 t <u>0.25 t以上 25.5 t</u> 以下(実質量とする)の場合 (2) 撤去・仮置きの場合(撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合) (3) 撤去・据付けの場合(既設ブロック又は仮設的に設置されたブロックを仮置きせずに据え直す場合) (4) 撤去・積込みの場合(撤去したブロックを直接トレーラ等に積込む場合)</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 <u>2. 堆砂撤去の有無にかかわらず適用できる。</u> <u>3. 撤去は連結金具の撤去の有無にかかわらず適用出来る。</u></p>	<p>語句の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	5・②・1		(控え頁) 1 / 4

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																			
現	行	改 正	備 考																																																																																																																			
<p>3. 施工パッケージ 3-1 根固めブロック撤去 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 根固めブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック質量</th> <th>堆砂の有無</th> <th>クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">撤去・仮置き</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去・据付け(乱積)</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去・据付け(層積)</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去・積込み</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 「撤去・仮置き」：撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合である。直接トレーラに積込む場合は「撤去・積込み」を適用する。 2. 「撤去・据付け」：既設ブロック又は仮設的に設置されたブロックを仮置きせずに直接据直す(据付ける)場合である。「乱積、層積」の区分は、既存の積形状によらず、新たに据付ける積形状により判断する。 3. 上表は、下記の費用を含む。 (1) 撤去・仮置きの場合 ・消波根固めブロックの撤去・仮置きその他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 (2) 撤去・据付け(乱積)の場合 ・消波根固めブロックの撤去・据付け(乱積)その他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 (3) 撤去・据付け(層積)の場合 ・消波根固めブロックの撤去・据付け(層積)その他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 (4) 撤去・積込みの場合 ・消波根固めブロックの撤去・積込みその他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 4. 堆砂の有無の「有り」は、根固めブロック上に砂が堆積している場合に適用する。</p>		作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種	撤去・仮置き	0.25 t 以上	無し	(表 3.2)	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	撤去・据付け(乱積)	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	撤去・据付け(層積)	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	撤去・積込み	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.1 根固めブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック質量</th> <th>堆砂の有無</th> <th>クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">撤去・仮置き</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去・据付け(乱積)</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去・据付け(層積)</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去・積込み</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>12.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>35.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 「撤去・仮置き」：撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合である。直接トレーラに積込む場合は「撤去・積込み」を適用する。 2. 「撤去・据付け」：既設ブロック又は仮設的に設置されたブロックを仮置きせずに直接据直す(据付ける)場合である。「乱積、層積」の区分は、既存の積形状によらず、新たに据付ける積形状により判断する。 3. 上表は、下記の費用を含む。 (1) 撤去・仮置きの場合 ・消波根固めブロックの撤去・仮置きその他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 (2) 撤去・据付け(乱積)の場合 ・消波根固めブロックの撤去・据付け(乱積)その他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 (3) 撤去・据付け(層積)の場合 ・消波根固めブロックの撤去・据付け(層積)その他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 (4) 撤去・積込みの場合 ・消波根固めブロックの撤去・積込みその他、ワイヤーロープ、<u>レンチ、スコップ等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 4. 堆砂の有無の「有り」は、根固めブロック上に砂が堆積している場合に適用する。 5. <u>堆砂がある場合は、土砂を撤去しなければ玉掛ができない場合のことを指す。ただし、人力以外で土砂撤去が必要な場合は、その土砂撤去分は別途考慮する。</u></p>		作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種	撤去・仮置き	0.25 t 以上	無し	(表 3.2)	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	撤去・据付け(乱積)	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	撤去・据付け(層積)	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	撤去・積込み	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	12.5 t を超え	無し	35.5 t 以下	有り	<p>区分の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種																																																																																																																			
撤去・仮置き	0.25 t 以上	無し	(表 3.2)																																																																																																																			
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
撤去・据付け(乱積)	0.25 t 以上	無し																																																																																																																				
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
撤去・据付け(層積)	0.25 t 以上	無し																																																																																																																				
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
撤去・積込み	0.25 t 以上	無し																																																																																																																				
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種																																																																																																																			
撤去・仮置き	0.25 t 以上	無し	(表 3.2)																																																																																																																			
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
撤去・据付け(乱積)	0.25 t 以上	無し																																																																																																																				
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
撤去・据付け(層積)	0.25 t 以上	無し																																																																																																																				
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
撤去・積込み	0.25 t 以上	無し																																																																																																																				
	6.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	6.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	12.5 t 以下	有り																																																																																																																				
	12.5 t を超え	無し																																																																																																																				
	35.5 t 以下	有り																																																																																																																				
5・②・2																																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																																																																			

改正理由	一部改正	改正 現行																																										
現	行	改 正	備 考																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.2 クレーン機種</caption> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">積算条件</th> <th style="width: 85%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18" style="text-align: center;">クレーン機種</td><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35～40 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45～50 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30～35 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40～45 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50～55 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60～65 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊</td></tr> </tbody> </table>		積算条件	区分	クレーン機種	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35～40 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45～50 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30～35 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40～45 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50～55 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60～65 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊	→	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.2 クレーン機種</caption> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">積算条件</th> <th style="width: 85%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18" style="text-align: center;">クレーン機種</td><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35～40 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45～50 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30～35 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40～45 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50～55 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60～65 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊</td></tr> <tr><td>クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊</td></tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	クレーン機種	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35～40 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45～50 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30～35 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40～45 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50～55 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60～65 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊	代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)
積算条件	区分																																											
クレーン機種	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35～40 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45～50 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30～35 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40～45 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50～55 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60～65 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊																																											
	積算条件	区分																																										
クレーン機種	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 20 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊																																											
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 35～40 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 45～50 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊																																											
	クローラクレーン(機械駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 30～35 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 40～45 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50～55 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 60～65 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 80 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 100 t 吊																																											
	クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 150 t 吊																																											
	5・②・3																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現行	改正	備考
----	----	----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.3 根固めブロック撤去 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考	
機械	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50t 吊	賃料	
	K1	クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 35~40 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 45~50 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 80 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 100 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 150 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 30~35 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 40~45 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 50~55 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 60~65 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 80 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 100 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 150 t 吊	
	K2	-	
	K3	-	
	労務	R1 土木一般世話役	
R2 特殊作業員			
R3 普通作業員			
R4 運転手(特殊)		クローラクレーンの場合	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトルール給油	クローラクレーンの場合	
	Z2 -		
	Z3 -		
	Z4 -		
市場単価	S -		

5・②・4

現行どおり

表3.3 根固めブロック撤去 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考	
機械	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)] 25t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)] 35t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45t 吊	賃料	
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ <u>低騒音対策型</u> ・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)] 50t 吊	賃料	
	K1	クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 35~40 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 45~50 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 80 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 100 t 吊	
		クローラクレーン [機械駆動ウインチ・ラチスジブ] 150 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 30~35 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 40~45 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 50~55 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 60~65 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 80 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 100 t 吊	
		クローラクレーン [油圧駆動ウインチ・ラチスジブ] 150 t 吊	
	K2	-	
	K3	-	
	労務	R1 土木一般世話役	
R2 特殊作業員			
R3 普通作業員			
R4 運転手(特殊)		クローラクレーンの場合	
材料	Z1 軽油 1.2号 バトルール給油	クローラクレーンの場合	
	Z2 -		
	Z3 -		
	Z4 -		
市場単価	S -		

5・②・3

代表機材の変更
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項	(控え頁) 4/4
----------	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
7章. 砂 防			
<p>① 土工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、砂防工（本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土砂、岩塊・玉石の掘削・積込、軟岩、硬岩、転石の掘削</p> <p>(3) 作業土工における床掘りの場合</p> <p>1-1-2 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 運搬距離が片道7km以下の場合</p> <p>(3) 運搬路が砂利道、河床路等その他これに準ずる搬路が主で、舗装道路を含む場合は、舗装道路の走行距離が全体走行距離の半分に満たない場合</p> <p>1-1-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土取場（仮置場）から採取する場合の土砂等の積込みの場合</p> <p>(3) 作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込みの場合</p> <p>(4) 掘削工、作業土工で生じた残土の仮置場での積込みの場合</p> <p>(5) 掘削工、作業土工において地山掘削後、一度ルーズな状態とした土砂等の積込みの場合</p> <p>(6) 転圧、締固めを伴わない埋戻作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲（土木工事標準積算基準書等により別途計上するもの）</p> <p>1-2-1 掘削（砂防）</p> <p>(1) 軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合</p> <p>(2) 硬岩Ⅱの掘削の場合</p> <p>(3) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p><u>(4) 小規模で土砂以外の場合</u></p> <p>1-2-2 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 小規模で土砂以外の場合</p> <p>1-2-3 積込（ルーズ）（砂防）</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>(3) 小規模で土砂以外の場合</p> <p>1-3 適用出来ない範囲（別途考慮するもの）</p> <p>1-3-1 土砂等運搬（砂防）</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>1-3-2 押土（ルーズ）（砂防）</p> <p style="text-align: right;">7・①・1</p>		<p>現行どおり</p> <p>→ (5) 3D-MG又はMCバックホウによる土砂の掘削積込</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	現 行	改 正	備 考
	<p>2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> * 掘削(砂防)等施工パッケージ名称を斜体で示した。 * 掘削(砂防)、積込(ルース)(砂防)、土砂等運搬(砂防)等を実線で示した。(●→) * 掘削、積込(ルース)、土砂等運搬等を一点鎖線で示した。(●- - ->) * 土材料(購入土)は通常現場着単価であり、運搬は土材料に含まれるため破線で示した。(図中⑥)(●- - - ->)ただし、土材料(購入土)を土場渡し単価で積算する場合は土砂等運搬(砂防)又は土砂等運搬を計上する。 * 作業土工(床掘り・埋戻し・工区内運搬)における土の流れを長二点鎖線で示した。(●- · - ->) <p>(注) 1. 掘削(砂防)等の砂防堰堤独自施工パッケージと掘削等の河川修繕等に適用される施工パッケージの相違については、各施工パッケージの条件区分における注釈の記述を参照。 2. 掘削に含まれる自工区内の運搬について(図中①、②)※掘削(砂防)は、工区内運搬を含まない。 (1)土質が土砂の場合 ・掘削において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。 (2)土質が軟岩又は硬岩の場合 ・掘削において、以下の条件を選択した場合、30m以内の工区内運搬を含む。 「軟岩」で施工数量「5,000m³以上」又は集積押土「有り」を選択した場合 「硬岩」で水車使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合 3. 土砂等運搬、残土運搬時の積込作業について(図中①～③) ・掘削、掘削(砂防)において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。 ・積込(ルース)を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルース)の計上が必要な掘削の積算条件」を参照のこと。 ・積込(ルース)(砂防)を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)積込(ルース)(砂防)の計上が必要な掘削(砂防)の積算条件」を参照のこと。 4. 現場内集積場又は土取場等からの土砂等運搬作業等について(図中④、⑤) ・土砂等運搬(砂防)を行う場合、別途積込(ルース)(砂防)、積込(ルース)を計上する。 ・押土(ルース)には、60m以内の運搬を含む。 5. 土取場において、地山を掘削する場合は、掘削(砂防)、掘削を使用する。(図中④)</p>	<p>現行どおり</p> <p>3. 土砂等運搬、残土運搬時の積込作業について(図中①～③) ・掘削、掘削(砂防)において、条件区分により積込作業を含まない場合がある。 ・積込(ルース)を別途計上する必要がある条件区分は「<u>章土工②土工</u>(参考)ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルース)の計上が必要な掘削の積算条件」を参照のこと。 ・積込(ルース)(砂防)を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)積込(ルース)(砂防)の計上が必要な掘削(砂防)の積算条件」を参照のこと。</p> <p>現行どおり</p>	<p>7・①・3</p> <p>語句の追加</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3

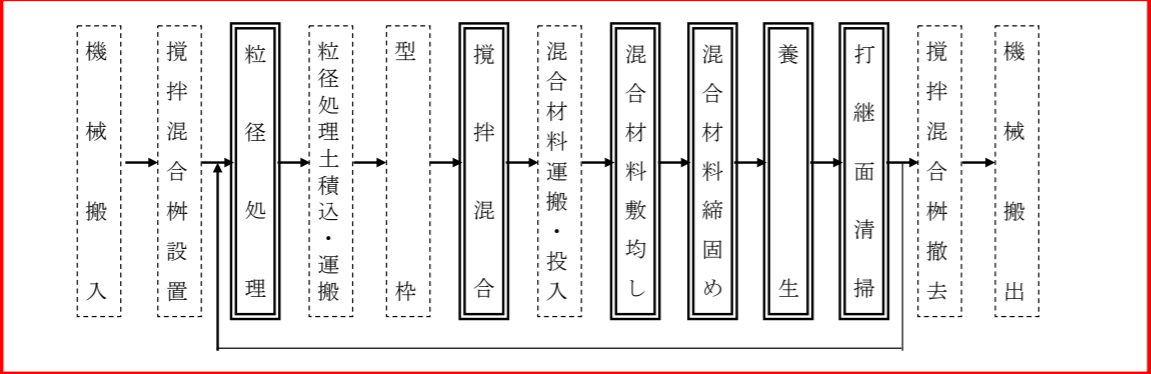
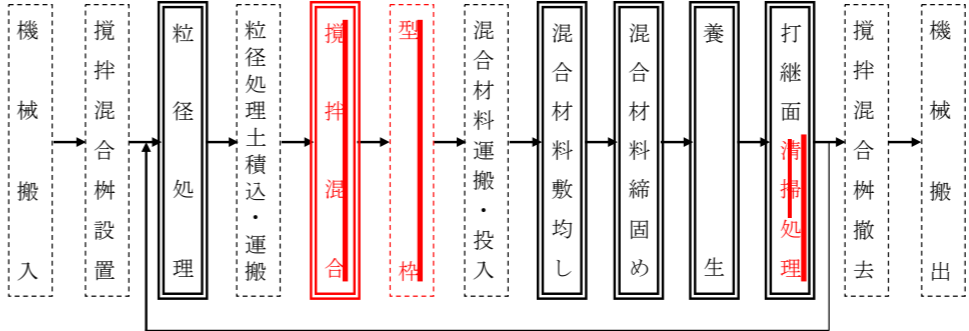
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																														
現	行	改 正	備 考																																																																																														
<p>9. 土砂の人力掘削については「1章②土工 3-1掘削の『現場制約あり』及び④床掘工 3-1床掘りの『現場制約あり』」を適用する。</p> <p>10. 機械による岩石掘削には、破砕片除去、法面整形を含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 掘削(砂防) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>掘削範囲</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">土砂 岩塊・ 玉石</td> <td rowspan="14">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>・賃料 ・小規模以外の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>小規模の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">軟岩 硬岩 転石</td> <td rowspan="7">機械走行面 より5m以内</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [油圧式] 質量1,300kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">機械走行面 より5m超</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 - さく岩工</td> <td>火薬使用不可の場合 火薬使用可の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		土質	掘削範囲	項目	代表機材規格	備考	土砂 岩塊・ 玉石	-	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	・賃料 ・小規模以外の場合	K2 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	小規模の場合	K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m以内	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		K2 大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [油圧式] 質量1,300kg級		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		機械走行面 より5m超	機械	K1 -		K2 -		K3 -		R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 - さく岩工	火薬使用不可の場合 火薬使用可の場合	材料	Z1 -		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <p>10. 機械および人力による岩石掘削には、破砕片除去、法面整形を含まない。</p> <p>現行どおり</p>	<p>7・①・6</p> <p>7・①・6</p>	<p>語句の追加</p>
土質	掘削範囲	項目	代表機材規格	備考																																																																																													
土砂 岩塊・ 玉石	-	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	・賃料 ・小規模以外の場合																																																																																													
			K2 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	小規模の場合																																																																																													
			K3 -																																																																																														
		労務	R1 運転手(特殊)																																																																																														
			R2 -																																																																																														
			R3 -																																																																																														
			R4 -																																																																																														
		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																																																																														
			Z2 -																																																																																														
			Z3 -																																																																																														
			Z4 -																																																																																														
		市場単価	S -																																																																																														
		軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m以内	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																												
					K2 大型ブレーカ(ベースマシン含まず) [油圧式] 質量1,300kg級																																																																																												
K3 -																																																																																																	
労務	R1 運転手(特殊)																																																																																																
	R2 -																																																																																																
	R3 -																																																																																																
	R4 -																																																																																																
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																																																																																
	Z2 -																																																																																																
	Z3 -																																																																																																
	Z4 -																																																																																																
市場単価	S -																																																																																																
機械走行面 より5m超	機械		K1 -																																																																																														
			K2 -																																																																																														
		K3 -																																																																																															
		R1 特殊作業員																																																																																															
	R2 普通作業員																																																																																																
	R3 土木一般世話役																																																																																																
	R4 - さく岩工	火薬使用不可の場合 火薬使用可の場合																																																																																															
材料	Z1 -																																																																																																
	Z2 -																																																																																																
	Z3 -																																																																																																
	Z4 -																																																																																																
市場単価	S -																																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																														

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正		備 考
<div data-bbox="647 1039 961 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>現行なし</p> </div>	<div data-bbox="1484 520 2516 1726" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>② 土工(ICT)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、砂防工（本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）のICT施工において、3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術及び3次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して土砂の掘削・積込を行う作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削（砂防）（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%]</p> <p>（1）砂防工（ICT）のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁（擁壁）、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>（2）3D-MG又はMCバックホウによる土砂、岩塊・玉石の掘削・積込</p> <p>（3）3D-MG又はMCバックホウによる作業土工における床掘り</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 掘削（砂防）（ICT）※ [ICT建機使用割合 100%]</p> <p>（1）3D-MG又はMCバックホウ以外による土砂、岩塊・玉石の掘削・積込</p> <p>（2）3D-MG又はMCバックホウ以外による作業土工における床掘り</p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工フロー</p> <p>施工フローは下記を標準とする。</p> <div data-bbox="1774 1176 2083 1501" style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[機械搬入] --> B[掘削作業] B --> C[積込作業] B --> D[掘削積込作業] D --> C C --> E[運搬作業] E --> F[機械搬出] </pre> </div> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div>		<p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	7・②・1		(控え頁) 1/7

改正理由	一部改正	改正 現行																			
現行		改正																			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 100px; margin: 0 auto;"> <p>現行なし</p> </div>		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘削(砂防) (ICT) ※ [ICT建機使用割合 100%]</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(砂防) (ICT) ※ [ICT建機使用割合 100%] 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">岩塊・玉石</td> <td rowspan="2">3,000m3未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3,000m3以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防工事における土砂及び岩塊・玉石の掘削・積込等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 上表は、同一の施工箇所において、3D-MG又はMCバックホウ(以下「ICT建機」という。)のみで施工する(ICT建機使用割合100%)場合である。</p> <p>なお、施工数量は、1工事当りの全体掘削土量により判定する。また、該当する施工箇所におけるICT建機による施工分と通常建機による施工分を合計した掘削土量をその箇所の掘削土量とし、これを合計したものを全体掘削土量とする。</p> <p>3. 同一の施工箇所においてICT建機と通常建機(ICT建機を使用しない通常機種のバックホウ)を組合せて施工する(ICT建機使用割合100%以外)場合は、該当する箇所における掘削土量をICT建機使用割合に応じてICT建機による施工分と通常建機による施工分に分割し、ICT建機による施工分に上表を適用する。また、通常建機による施工分は、「①土工 3-1 掘削(砂防)」により別途計上する。</p> <p>4. 土量は、地山土量とする。</p> <p>5. 障害の有無</p> <p>①無し: 作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。なお標準内とは、作業範囲が機械走行面より上下に5m以内とする。</p> <p>②有り: 作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合</p> <p>6. ICT建機使用割合は、上記(注)2.又は3.の1工事当りの全体掘削土量に対する1工事当りのICT建機による掘削土量の割合である。</p> <p style="text-align: right;">7・②・2</p> </div>		土質	施工数量	障害の有無	土砂	3,000m3未満	無し	有り	3,000m3以上	無し	有り	岩塊・玉石	3,000m3未満	無し	有り	3,000m3以上	無し	有り	備考
土質	施工数量	障害の有無																			
土砂	3,000m3未満	無し																			
		有り																			
	3,000m3以上	無し																			
		有り																			
岩塊・玉石	3,000m3未満	無し																			
		有り																			
	3,000m3以上	無し																			
		有り																			
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>2/7</p>																		

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行																															
現 行	改 正	備 考																															
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">現行なし</p> </div>	<div style="text-align: center;">→</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表3.2 掘削(砂防)(ICT)※[ICT建機使用割合 100%] 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ICT建設機械経費賃料加算額</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 8px; margin-top: 5px;">(注) ICT建設機械経費賃料加算額(バックホウ(ICT施工対応型))は、地上の基準局・管理局の賃貸費用である。</p> </div>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料	K2 ICT建設機械経費賃料加算額	賃料	K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="font-size: 12px;">記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																															
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料																															
	K2 ICT建設機械経費賃料加算額	賃料																															
	K3 -																																
労務	R1 運転手(特殊)																																
	R2 -																																
	R3 -																																
	R4 -																																
材料	Z1 軽油1.2号 バトロール給油																																
	Z2 -																																
	Z3 -																																
	Z4 -																																
市場単価	S -																																
積算上の注意事項		7・②・3	(控え頁) 3/7																														

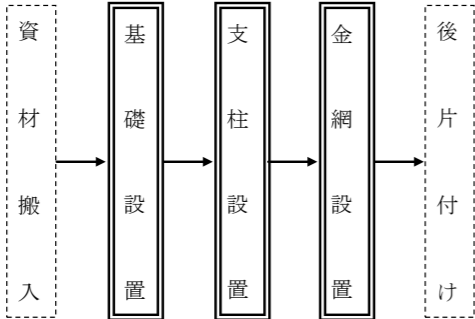
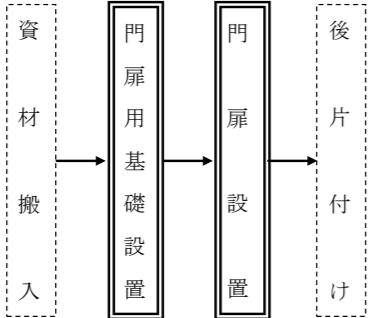
改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p>② 砂防ソイルセメント工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の基礎及び中詰において施工位置周辺ヤードにて現地発生土とセメントをバックホウにて攪拌混合し、運搬、敷均し、締固めを行い、構造物を構築する砂防ソイルセメント工の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 粒径処理 (1) 対象土質が、砂質土及びレキ質土の場合</p> <p>1-1-2 攪拌混合 (1) セメントの使用量が、25.5t/100m³以下の場合</p> <p>1-1-3 混合材料敷均し・締固め (1) 現地発生土とセメントの混合材料を敷均し、締固める場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 混合材料敷均し・締固めはシート養生の有無によらず適用出来る。</p> <p>7・②・1</p>	<p>②③ 砂防ソイルセメント工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸、袖部対策工)の基礎及び中詰において施工位置周辺ヤードにて現地発生土とセメントをバックホウにて攪拌混合し、運搬、敷均し、締固めを行い、構造物を構築する砂防ソイルセメント工 (転圧タイプ) の施工に適用する。</p> <p>現行どおり</p>  <p>現行どおり</p> <p>7・③・1</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																					
現	行	改 正	備 考																																																																					
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 粒径処理</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 粒径処理 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>粒径処理率 (%)</th></tr> <tr><td>40 を超え 45 以下</td></tr> <tr><td>45 を超え 50 以下</td></tr> <tr><td>50 を超え 60 以下</td></tr> <tr><td>60 を超え 80 以下</td></tr> <tr><td>80 を超え 100 以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、砂防ソイルセメント工におけるバックホウ（スケルトンバケット付）を使用した骨材の最大寸法以上の土砂をふるい分ける作業の他、スケルトンバケットの損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 土量は、粒径処理後の土量（ほぐし土量）である。 3. 粒径処理率は次式による。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{粒径処理率 (\%)} = (\text{粒径処理後土量}) / (\text{粒径処理前土量})$ </div> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.2 粒径処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>3-2 粒径処理土積込 粒径処理土の積込みは、「7章①土工」による。ただし、これにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p>3-3 粒径処理土運搬 粒径処理土の運搬は、「7章①土工」による。ただし、これにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">7・②・2</p>		粒径処理率 (%)	40 を超え 45 以下	45 を超え 50 以下	50 を超え 60 以下	60 を超え 80 以下	80 を超え 100 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）		K 2 -		K 3 -		労務	R 1 土木一般世話役		R 2 運転手（特殊）		R 3 普通作業員		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">7・③・2</p> <p style="text-align: center;">$\text{粒径処理率 (\%)} = \frac{(\text{粒径処理後土量})}{(\text{粒径処理前土量})} \times 100$</p> <p style="text-align: center;">表3.2 粒径処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・<u>超低騒音型</u>・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）		K 2 -		K 3 -		労務	R 1 土木一般世話役		R 2 運転手（特殊）		R 3 普通作業員		R 4 -		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p> <p>代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
粒径処理率 (%)																																																																								
40 を超え 45 以下																																																																								
45 を超え 50 以下																																																																								
50 を超え 60 以下																																																																								
60 を超え 80 以下																																																																								
80 を超え 100 以下																																																																								
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）																																																																							
	K 2 -																																																																							
	K 3 -																																																																							
労務	R 1 土木一般世話役																																																																							
	R 2 運転手（特殊）																																																																							
	R 3 普通作業員																																																																							
	R 4 -																																																																							
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																							
	Z 2 -																																																																							
	Z 3 -																																																																							
	Z 4 -																																																																							
市場単価	S -																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																						
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m3（平積 0.6m3）																																																																							
	K 2 -																																																																							
	K 3 -																																																																							
労務	R 1 土木一般世話役																																																																							
	R 2 運転手（特殊）																																																																							
	R 3 普通作業員																																																																							
	R 4 -																																																																							
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																							
	Z 2 -																																																																							
	Z 3 -																																																																							
	Z 4 -																																																																							
市場単価	S -																																																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																									
現	行	改 正	備 考																																																																																									
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red; margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3.4 攪拌混合 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>セメント 高炉B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 混合材料運搬 混合材料の運搬は、「7章①土工」による。ただし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>3-6 混合材料投入 混合材料の投入は、「7章①土工」による。ただし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: right;">7・②・4</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	土木一般世話役		R 2	特殊作業員		R 3	運転手(特殊)		R 4	普通作業員		材料	Z 1	セメント 高炉B		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption style="text-align: center;">表3.4 攪拌混合 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>セメント 高炉B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: right;">7・③・4</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第 3 次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	土木一般世話役		R 2	特殊作業員		R 3	運転手(特殊)		R 4	普通作業員		材料	Z 1	セメント 高炉B		Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t																																																																																										
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	土木一般世話役																																																																																										
	R 2	特殊作業員																																																																																										
	R 3	運転手(特殊)																																																																																										
	R 4	普通作業員																																																																																										
材料	Z 1	セメント 高炉B																																																																																										
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第 3 次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t																																																																																										
	K 2	—																																																																																										
	K 3	—																																																																																										
労務	R 1	土木一般世話役																																																																																										
	R 2	特殊作業員																																																																																										
	R 3	運転手(特殊)																																																																																										
	R 4	普通作業員																																																																																										
材料	Z 1	セメント 高炉B																																																																																										
	Z 2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 3	—																																																																																										
	Z 4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																												
現	行	改 正	備 考																																																																																											
<p>3-7 混合材料敷均し・締固め</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>混合材料敷均し・締固めにおける積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 1. 砂防ソイルセメント工における混合材料の敷均し、締固め、シート養生、打継面処理の他、タンバ及びランマの運転経費及び養生の材料費、打継面処理の労務に関する費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 土量は、締固め後の土量である。</p> <p>3. シート養生の有無によらず適用出来る。</p> <p>4. 養生はシート養生を標準とするが、これにより難しい場合は、「4章①コンクリート工」による。</p> <p>5. 打継面処理は、打継面の清掃のみを標準とし、セメントの散布が必要な場合は、材料費を別途計上する。</p>		<p>現行どおり</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.5 混合材料敷均し・締固め 積算条件区分一覧</caption> <thead> <tr> <th colspan="2">(積算単位：m³)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">施工幅員 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4.5m 未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4.5m 以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>混合材料敷均し・締固めにおける積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 1. 砂防ソイルセメント工における混合材料の敷均し、締固め、シート養生、打継面処理の他、タンバ及びランマ振動コンパクタの運転経費及び養生の材料費、打継面処理の労務に関する費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 土量は、締固め後の土量である。</p> <p>3. シート養生の有無、<u>打継面処理の有無</u>によらず適用出来る。</p> <p>4. 養生はシート養生を標準とするが、これにより難しい場合は、「4章①コンクリート工」による。</p> <p>5. 打継面処理は、打継面の清掃のみを標準とし、<u>散水</u>セメントの散布が必要な場合は、<u>材料費</u>必要な費用を別途計上する。</p>		(積算単位：m ³)		施工幅員 (m)		4.5m 未満		4.5m 以上																																																																																				
(積算単位：m ³)																																																																																														
施工幅員 (m)																																																																																														
4.5m 未満																																																																																														
4.5m 以上																																																																																														
<p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.5 混合材料敷均し・締固め 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 運転質量 3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）	賃料	K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 運転質量 3～4t	賃料	K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p>表3.56 混合材料敷均し・締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³） <u>小型バックホウ（クローラ型）〔標準型後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型（第43次基準値）〕 山積 0.2809m³（平積 0.207m³）</u></td> <td>・賃料 ・<u>施工幅員が 4.5m 未満の場合</u></td> </tr> <tr> <td><u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³）</u></td> <td>・賃料 ・<u>施工幅員が 4.5m 以上の場合</u></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第42次基準値）〕 運転質量 3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³） <u>小型バックホウ（クローラ型）〔標準型後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型（第43次基準値）〕 山積 0.2809m³（平積 0.207m³）</u>	・賃料 ・ <u>施工幅員が 4.5m 未満の場合</u>	<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³）</u>	・賃料 ・ <u>施工幅員が 4.5m 以上の場合</u>	K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第42次基準値）〕 運転質量 3～4t	賃料		K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目	代表機材規格		備考																																																																																											
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）	賃料																																																																																											
	K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 運転質量 3～4t	賃料																																																																																											
	K 3	—																																																																																												
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																												
	R 2	普通作業員																																																																																												
	R 3	土木一般世話役																																																																																												
	R 4	特殊作業員																																																																																												
材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																												
	Z 2	—																																																																																												
	Z 3	—																																																																																												
	Z 4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
項目	代表機材規格		備考																																																																																											
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³） <u>小型バックホウ（クローラ型）〔標準型後方超小旋回型・低騒音型・排出ガス対策型（第43次基準値）〕 山積 0.2809m³（平積 0.207m³）</u>	・賃料 ・ <u>施工幅員が 4.5m 未満の場合</u>																																																																																											
		<u>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.28m³（平積 0.2m³）</u>	・賃料 ・ <u>施工幅員が 4.5m 以上の場合</u>																																																																																											
	K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第42次基準値）〕 運転質量 3～4t	賃料																																																																																											
	K 3	—																																																																																												
労務	R 1	運転手（特殊）																																																																																												
	R 2	普通作業員																																																																																												
	R 3	土木一般世話役																																																																																												
	R 4	特殊作業員																																																																																												
材料	Z 1	軽油 1.2号 パトロール給油																																																																																												
	Z 2	—																																																																																												
	Z 3	—																																																																																												
	Z 4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
7・②・5		7・③・5																																																																																												
積算上の注意事項		(控え頁) 4/4																																																																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																					
現	行	改	正																																																																				
備 考																																																																							
10章. 道路付属施設																																																																							
<p>① 立入り防止柵工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、立入り防止柵の基礎ブロック、鋼管基礎、金網・支柱、支柱、門扉の設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 基礎ブロック、鋼管基礎（表1.1、表1.2を参照） 1-1-2 金網・支柱（立入り防止柵）（表1.1を参照） 1-1-3 支柱（立入り防止柵）（表1.1を参照） 1-1-4 門扉（表1.2を参照）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表1.1 適用範囲(金網柵)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造物種別</th> <th rowspan="2">支柱柵高</th> <th colspan="2">2.0m以下</th> <th colspan="2">2.0mを超え2.5m以下</th> </tr> <tr> <th>支柱間隔</th> <th>1.5m</th> <th>2.0m</th> <th>1.5m</th> <th>2.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">金網柵</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">基礎設置</td> <td style="text-align: center;">基礎ブロック</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鋼管基礎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">支柱設置</td> <td style="text-align: center;">基礎ブロックに建込</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鋼管基礎に建込</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金網設置</td> <td style="text-align: center;">金網</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表において、○は適用出来る、×は適用出来ないを示している。 2. 鋼管基礎は、鋼管径 114.3mm 以下かつ鋼管長 1,250mm 以下の場合のみ適用出来る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表1.2 適用範囲(門扉)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="3">構造物種別</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">片開き門扉</th> <th>両開き門扉</th> </tr> <tr> <th>門柱高</th> <th>2.0m以下</th> <th>2.0mを超え 2.5m以下</th> <th>2.5mを超え 3.0m以下</th> <th>3.0m以下</th> </tr> <tr> <th>門扉幅</th> <th colspan="3">1.0m</th> <th>6.0m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">門扉</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">基礎設置</td> <td style="text-align: center;">基礎ブロック</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鋼管基礎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">門扉設置</td> <td style="text-align: center;">門扉</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表において、○は適用出来る、×は適用出来ないを示している。 2. 鋼管基礎は、鋼管径 114.3mm 以下かつ鋼管長 1,250mm 以下の場合のみ適用出来る。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 2px;">1-2 適用出来ない範囲 (1) ベースプレート式の場合 (2) 撤去の場合 (3) 再利用設置の場合</p> <p style="text-align: center;">10・①・1</p>	構造物種別	支柱柵高	2.0m以下		2.0mを超え2.5m以下		支柱間隔	1.5m	2.0m	1.5m	2.0m	金網柵	基礎設置	基礎ブロック	○		×	鋼管基礎	○		○	支柱設置	基礎ブロックに建込	○		×	鋼管基礎に建込	○		○	金網設置	金網	○	○	○	○	構造物種別	区分	片開き門扉			両開き門扉	門柱高	2.0m以下	2.0mを超え 2.5m以下	2.5mを超え 3.0m以下	3.0m以下	門扉幅	1.0m			6.0m以下	門扉	基礎設置	基礎ブロック		○	○	鋼管基礎	○	○	×	×	門扉設置	門扉	○	○	×	○	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>→ ① 立入り防止柵工 <u>1. 立入り防止柵工</u></p> <p><u>1-1. 適用範囲</u> 本資料は、立入り防止柵の基礎ブロック、鋼管基礎、金網・支柱、支柱、門扉の設置に適用する。</p> <p><u>1-1-1 適用出来る範囲</u> <u>1-1-1 (1)</u> 基礎ブロック、鋼管基礎（表1.1、表1.2を参照） <u>1-1-1 (2)</u> 金網・支柱（立入り防止柵）（表1.1を参照） <u>1-1-1 (3)</u> 支柱（立入り防止柵）（表1.1を参照） <u>1-1-1 (4)</u> 門扉（表1.2を参照）</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>→ <u>1-1-2 適用出来ない範囲</u></p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
構造物種別			支柱柵高	2.0m以下		2.0mを超え2.5m以下																																																																	
	支柱間隔	1.5m		2.0m	1.5m	2.0m																																																																	
金網柵	基礎設置	基礎ブロック	○		×																																																																		
		鋼管基礎	○		○																																																																		
	支柱設置	基礎ブロックに建込	○		×																																																																		
		鋼管基礎に建込	○		○																																																																		
金網設置	金網	○	○	○	○																																																																		
構造物種別	区分	片開き門扉			両開き門扉																																																																		
		門柱高	2.0m以下	2.0mを超え 2.5m以下	2.5mを超え 3.0m以下	3.0m以下																																																																	
	門扉幅	1.0m			6.0m以下																																																																		
門扉	基礎設置	基礎ブロック		○	○																																																																		
		鋼管基礎	○	○	×	×																																																																	
	門扉設置	門扉	○	○	×	○																																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/9																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	
現行	改正		備考
<p>2. 施工概要 2-1 施工フロー</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 立入り防止柵設置</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(2) 門扉設置</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">10・①・2</p>	<p>1-2. 施工概要 1-2-1 施工フロー</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>2/9</p>

改正理由	一部改正	改正 現行																							
現行		改正																							
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3. 施工パッケージ 3-1 基礎ブロック, 鋼管基礎</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 基礎ブロック, 鋼管基礎 積算条件区分一覧 (積算単位: 基)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>基礎種別</th> <th>構造物種別</th> <th>支柱柵高 門柱高</th> <th>基礎碎石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">基礎ブロック</td> <td rowspan="2">金網柵</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り (t=10cm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">門扉</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り (t=10cm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">有り (t=20cm)</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>有り (t=20cm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼管基礎</td> <td rowspan="2">-</td> <td>2m 以下</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>2m を超え 2.5m 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、立入り防止柵または門扉のプレキャスト基礎ブロックまたは鋼管基礎の設置、基礎碎石、作業土工 (床掘り・埋戻し) の他、コンクリートブレーカ (鋼管基礎)、空気圧縮機賃料及び運転経費 (鋼管基礎) 等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 碎石の材料ロスを含む。 3. 基礎碎石の敷均し厚は、金網柵用は 10cm 以下、門扉用は 20cm 以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 4. 基礎碎石の材料は、再生クラッシュラン 40~0mm を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">10・①・3</p> </div>		基礎種別	構造物種別	支柱柵高 門柱高	基礎碎石	基礎ブロック	金網柵	-	無し	有り (t=10cm)	門扉	-	無し	有り (t=10cm)	有り (t=20cm)			有り (t=20cm)	鋼管基礎	-	2m 以下	-	2m を超え 2.5m 以下	<p style="color: red; margin-left: 20px;">1-3. 施工パッケージ</p> <p style="color: red; margin-left: 20px;">1-3-1 基礎ブロック, 鋼管基礎</p> <div style="margin-left: 20px; font-size: 2em;">}</div> <p style="margin-left: 20px;">現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
基礎種別	構造物種別	支柱柵高 門柱高	基礎碎石																						
基礎ブロック	金網柵	-	無し																						
			有り (t=10cm)																						
	門扉	-	無し																						
			有り (t=10cm)																						
有り (t=20cm)																									
			有り (t=20cm)																						
鋼管基礎	-	2m 以下	-																						
		2m を超え 2.5m 以下																							
積算上の注意事項			(控え頁) 3/9																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																	
現	行	改 正	備 考																																	
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 基礎ブロック、鋼管基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 小型バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）]山積0.11m³（平積0.08m³）吊能力0.8t</td> <td>基礎ブロックで門扉の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td>鋼管基礎の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)</td> <td>基礎ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 鋼管基礎 φ101.6×3.2×600</td> <td>支柱柵高・門柱高2m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050</td> <td>支柱柵高・門柱高2m超えの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油1.2号 パトロール給油</td> <td>・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱柵高・門柱高2mを超え2.5m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 小型バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）]山積0.11m ³ （平積0.08m ³ ）吊能力0.8t	基礎ブロックで門扉の場合	K 2 —	—	K 3 —	—	労務	R 1 普通作業員	—	R 2 土木一般世話役	—	R 3 特殊作業員	鋼管基礎の場合	R 4 —	—	材料	Z 1 基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)	基礎ブロックの場合	Z 1 鋼管基礎 φ101.6×3.2×600	支柱柵高・門柱高2m以下の場合	Z 1 鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050	支柱柵高・門柱高2m超えの場合	Z 2 軽油1.2号 パトロール給油	・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱柵高・門柱高2mを超え2.5m以下の場合	Z 3 —	—	市場単価	S —	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の追加</p>
項目	代表機材規格	備考																																		
機械	K 1 小型バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）]山積0.11m ³ （平積0.08m ³ ）吊能力0.8t	基礎ブロックで門扉の場合																																		
	K 2 —	—																																		
	K 3 —	—																																		
労務	R 1 普通作業員	—																																		
	R 2 土木一般世話役	—																																		
	R 3 特殊作業員	鋼管基礎の場合																																		
	R 4 —	—																																		
材料	Z 1 基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)	基礎ブロックの場合																																		
	Z 1 鋼管基礎 φ101.6×3.2×600	支柱柵高・門柱高2m以下の場合																																		
	Z 1 鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050	支柱柵高・門柱高2m超えの場合																																		
	Z 2 軽油1.2号 パトロール給油	・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱柵高・門柱高2mを超え2.5m以下の場合																																		
	Z 3 —	—																																		
市場単価	S —	—																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 4/9																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																													
現	行	改 正	備 考																																													
<p>3-2 金網・支柱（立入り防止柵）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 金網・支柱（立入り防止柵）積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>基礎種別</th> <th>支柱柵高</th> <th>支柱間隔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基礎ブロック</td> <td rowspan="2">-</td> <td>1.5 m</td> </tr> <tr> <td>2 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鋼管基礎</td> <td rowspan="2">2m 以下</td> <td>1.5 m</td> </tr> <tr> <td>2 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2m を超え 2.5m 以下</td> <td>1.5 m</td> </tr> <tr> <td>2 m</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 立入り防止柵の支柱設置、金網設置（胴縁取付・金網張立・張線設置）、充填材（モルタル）の混練及び打設等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ただし、金網・支柱本体の材料費は含まない。 2. 忍び返し、有刺鉄線設置は別途考慮する。 3. 金網・支柱本体の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 金網・支柱（立入り防止柵）代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 金網・支柱（立入り防止柵）（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 金網・支柱（立入り防止柵）（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p style="text-align: center;">10・①・5</p>		基礎種別	支柱柵高	支柱間隔	基礎ブロック	-	1.5 m	2 m	鋼管基礎	2m 以下	1.5 m	2 m	2m を超え 2.5m 以下	1.5 m	2 m	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	-	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<p>1-3-2 金網・支柱（立入り防止柵）</p> <p>現行どおり</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>現行どおり</p> <p>1-3-3 金網・支柱（立入り防止柵）（材料費）</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
基礎種別	支柱柵高	支柱間隔																																														
基礎ブロック	-	1.5 m																																														
		2 m																																														
鋼管基礎	2m 以下	1.5 m																																														
		2 m																																														
	2m を超え 2.5m 以下	1.5 m																																														
		2 m																																														
項目	代表機材規格	備考																																														
機械	K 1	-																																														
	K 2	-																																														
	K 3	-																																														
労務	R 1	普通作業員																																														
	R 2	土木一般世話役																																														
	R 3	-																																														
	R 4	-																																														
材料	Z 1	-																																														
	Z 2	-																																														
	Z 3	-																																														
	Z 4	-																																														
市場単価	S	-																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 5/9																																													

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																						
	<p>現 行</p> <p>3-4 支柱（立入り防止柵）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.5 支柱（立入り防止柵）積算条件区分一覧 (積算単位：本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基礎種別</th> <th>支柱柵高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎ブロック</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼管基礎</td> <td>2m 以下</td> </tr> <tr> <td>2m を超え 2.5m 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 支柱設置、充填材（モルタル）の混練及び打設等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、支柱本体の材料費は含まない。 2. 支柱本体の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表3.6 支柱（立入り防止柵）代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>10・①・6</p>	基礎種別	支柱柵高	基礎ブロック	—	鋼管基礎	2m 以下	2m を超え 2.5m 以下	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>改 正</p> <p>1-3-4 支柱（立入り防止柵）</p> <p>現行どおり</p> <p>1-3-5 支柱（立入り防止柵）（材料費）</p> <p>現行どおり</p>	<p>備 考</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
基礎種別	支柱柵高																																								
基礎ブロック	—																																								
鋼管基礎	2m 以下																																								
	2m を超え 2.5m 以下																																								
項目	代表機労材規格	備考																																							
機械	K 1	—																																							
	K 2	—																																							
	K 3	—																																							
労務	R 1	普通作業員																																							
	R 2	土木一般世話役																																							
	R 3	—																																							
	R 4	—																																							
材料	Z 1	—																																							
	Z 2	—																																							
	Z 3	—																																							
	Z 4	—																																							
市場単価	S	—																																							
積算上の注意事項			(控え頁) 6/9																																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																					
現	行	改 正	備 考																																					
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-6 門扉 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.7 門扉 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>門扉種別</th> <th>門柱高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">片開き</td> <td>2m 以下</td> </tr> <tr> <td>2m を超え 2.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>両開き</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 門柱の建込み、充填材（モルタル）の混練及び打設、門扉上部の張線設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、門扉本体の材料費は含まない。 2. 基礎の設置は含まない。 3. 忍び返し、有刺鉄線設置は別途考慮する。 4. 門扉本体の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 門扉 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	門扉種別	門柱高	片開き	2m 以下	2m を超え 2.5m 以下	両開き	—	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<div style="margin-top: 100px;"> <p>→</p> <p>1-3-6 門扉</p> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
門扉種別	門柱高																																							
片開き	2m 以下																																							
	2m を超え 2.5m 以下																																							
両開き	—																																							
項目	代表機材規格	備考																																						
機械	K 1	—																																						
	K 2	—																																						
	K 3	—																																						
労務	R 1	普通作業員																																						
	R 2	土木一般世話役																																						
	R 3	—																																						
	R 4	—																																						
材料	Z 1	—																																						
	Z 2	—																																						
	Z 3	—																																						
	Z 4	—																																						
市場単価	S	—																																						
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-7 門扉 (材料費) (1) 条件区分 門扉 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は、基とする。</p> </div> <p style="text-align: center;">10・①・7</p>	<div style="margin-top: 100px;"> <p>→</p> <p>1-3-7 門扉 (材料費)</p> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 7/9																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

現行なし

2. 箱抜き工

2-1. 適用範囲
本資料は、防護柵の支柱をコンクリート構造物に根入れするために、コンクリート打設に先立ち施工する円形空洞型枠（紙製）による箱抜き工に適用する。

2-2. 施工概要
2-2-1 施工フロー
施工フローは、下記を標準とする。

```

    graph LR
      A["(円形空洞型枠設置)"] --> B["コンクリート打設"]
      B --> C["(円形空洞型枠撤去)"]
      style A stroke-dasharray: 5 5
      style B stroke-dasharray: 5 5
      style C stroke-dasharray: 5 5
    
```

(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

2-3. 施工パッケージ
2-3-1 箱抜き
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.1 箱抜き 積算条件区分一覧
(積算単位：m)

型枠の規格
(表 3.2)

(注) 1. 円形空洞型枠設置・撤去等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 円形空洞型枠の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.05)

表3.2 型枠の規格

積算条件	区分
型枠の規格	D75
	D100
	D125
	D150
	D200
	各 種

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

10・①・8

改正理由	一部改正	改正 現行																																													
現 行		改 正																																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>現行なし</p> </div>		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 箱抜き 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>円形型枠 内径 100×2.7×4,000 (mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">10・①・9</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	円形型枠 内径 100×2.7×4,000 (mm)		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K 1	—																																													
	K 2	—																																													
	K 3	—																																													
労務	R 1	普通作業員																																													
	R 2	—																																													
	R 3	—																																													
	R 4	—																																													
材料	Z 1	円形型枠 内径 100×2.7×4,000 (mm)																																													
	Z 2	—																																													
	Z 3	—																																													
	Z 4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			<p style="text-align: right;">(控え頁)</p> <p style="text-align: right;">9 / 9</p>																																												

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

①-4 車止めポスト設置工

1. 適用範囲

本資料は、車止めポストの設置、撤去、撤去再設置作業に適用する。

1-1 適用出来る範囲

1-1-1 車止めポスト

(1) φ114.3mm ℓ=1.4m程度のもの

2. 施工パッケージ

2-1 車止めポスト

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表2.1 車止めポスト 積算条件区分一覧

(積算単位：本)

作業区分
設 置
撤 去
撤去再設置

(注) 1. 車止めポストの設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 基礎ブロックの設置は含まない。

(2) 代表機材規格

下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。

表2.2 車止めポスト 代表機材材規格一覧

項目	代表機材材規格	備考	
機械	K1	-	
	K2	-	
	K3	-	
労務	R1	普通作業員	
	R2	-	
	R3	-	
	R4	-	
材料	Z1	車止めポスト ピラー型 取外し式 径φ114.3mm 高さ850mm スチール	設置、撤去再設置の場合
	Z2	-	
	Z3	-	
	Z4	-	
市場単価	S	-	

10・②・1

現行どおり

本資料は、車止めポストの設置、~~撤去、撤去再設置~~作業に適用する。

1-1 適用出来る範囲

1-1-1 車止めポスト設置

(1) ~~φ114.3mm ℓ=1.4m~~ピラー型、固定式および取外し式、
鋼製及びステンレス製でφ110mm～φ130mm、L=1.1m～
~~1.5m程度~~のもの

1-2 適用出来ない範囲

1-2-1 車止めポスト設置

(1) 車止めポストを撤去、撤去再設置する場合

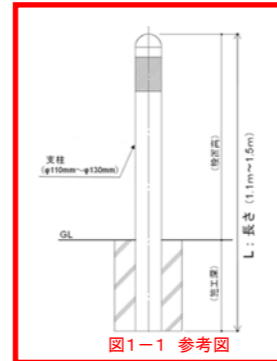
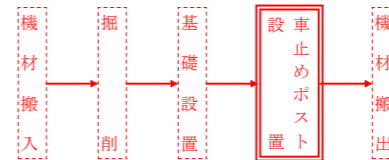


図1-1 参考図

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

②-3. 施工パッケージ

②-3-1 車止めポスト設置

(1) 条件区分

~~条件区分は、次表を標準とする。車止めポスト設置における積算条件区分はない。~~
~~積算単位は、本とする。~~

表2.1 車止めポスト 積算条件区分一覧

(積算単位：本)

作業区分
設 置
撤 去
撤去再設置

(注) 1. 車止めポストの設置における支柱設置、間詰モルタルの設置の他、スコップ・コテ・攪拌容器・~~輪車・水平器等の器具の費用及びモルタルの材料費等~~、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 基礎~~ブロック~~の設置は含まない。

次頁へ移動

語句の削除
(歩掛り改定に伴う)

語句の修正
(歩掛り改定に伴う)
記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

記載の追加
(歩掛り改定に伴う)

区分の修正
(歩掛り改定に伴う)

語句の追加・削除
(歩掛り改定に伴う)

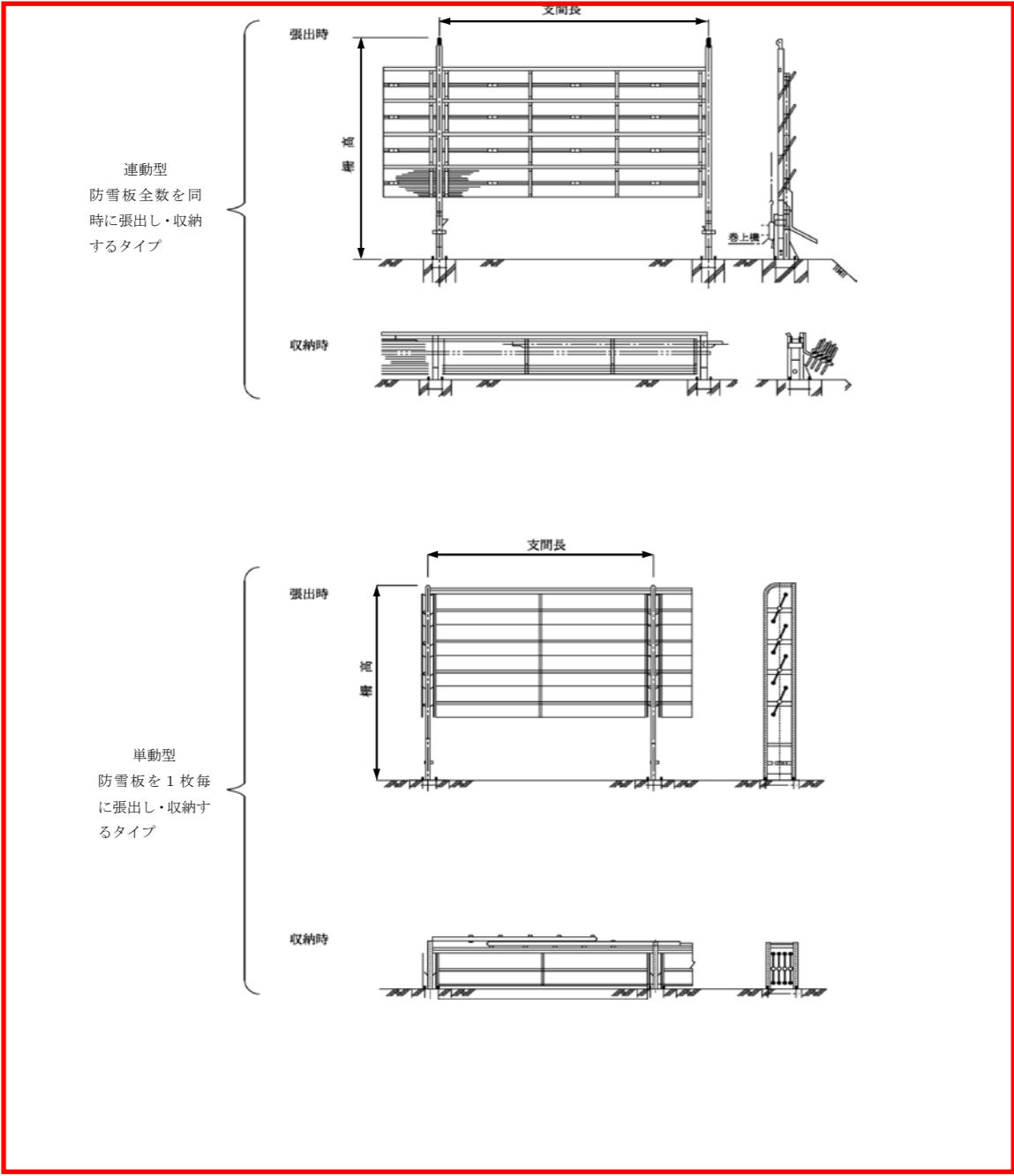
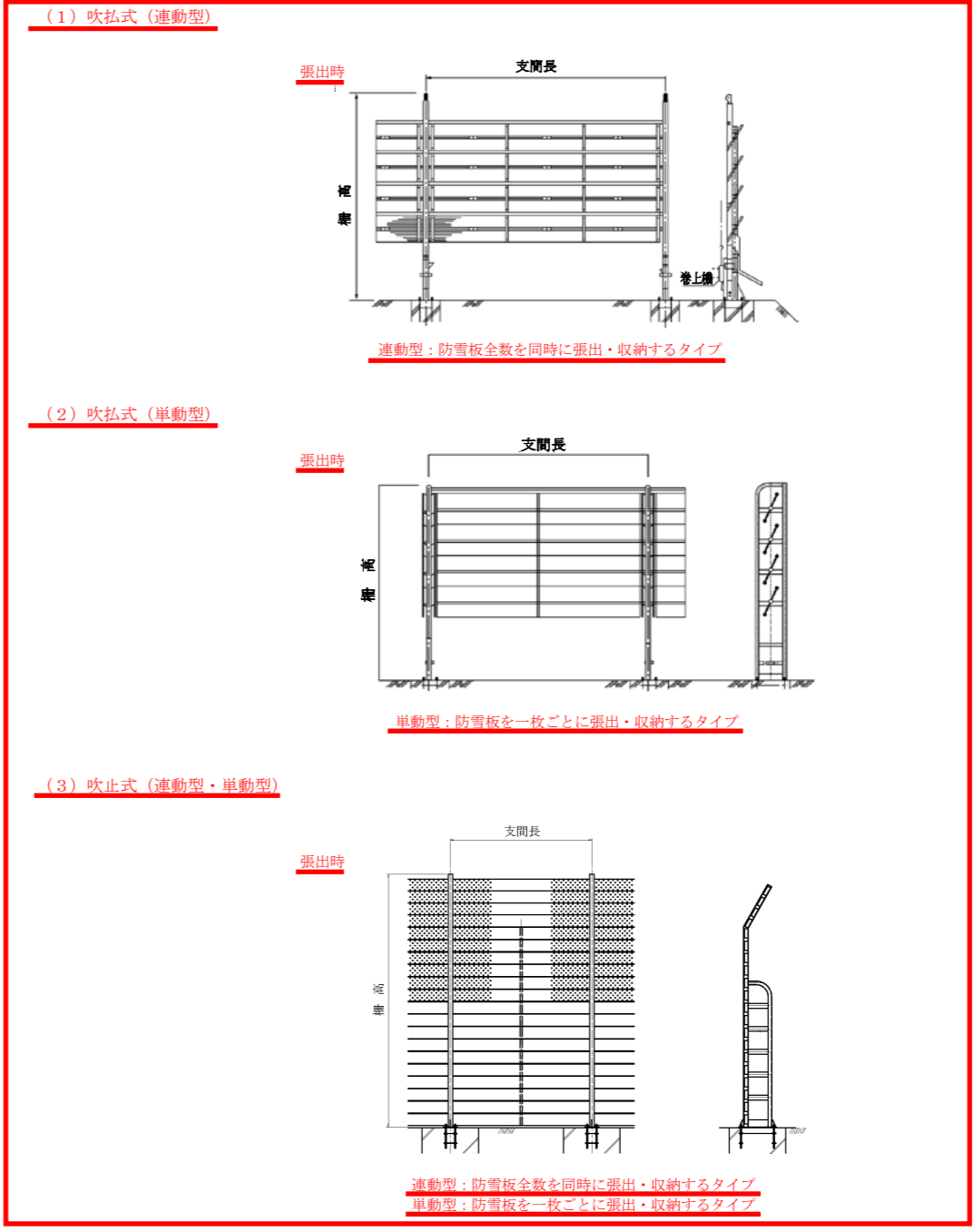
積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行																																													
現 行		改 正																																													
		備 考																																													
		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表23.21 車止めポスト設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>車止めポスト ビラー型 取外し式 径φ114.3mm 高さ 850mm スチール</td> <td>設置、撤去再設置 の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">10・②・2</p>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	車止めポスト ビラー型 取外し式 径φ114.3mm 高さ 850mm スチール	設置、撤去再設置 の場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K 1	—																																													
	K 2	—																																													
	K 3	—																																													
労務	R 1	普通作業員																																													
	R 2	—																																													
	R 3	—																																													
	R 4	—																																													
材料	Z 1	車止めポスト ビラー型 取外し式 径φ114.3mm 高さ 850mm スチール	設置、撤去再設置 の場合																																												
	Z 2	—																																													
	Z 3	—																																													
	Z 4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			<p>前頁より移動 →</p> <p>語句の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>(控え頁)</p> <p>2/2</p>																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																									
現	行	改	正																								
<p>④ 防雪柵現地張出し・収納工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現地収納式防雪柵の張出し及び収納に適用する。また、防雪柵の種類及び収納方式、柵高・支間長は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <caption>表1.1 防雪柵の種類及び柵高・支間長</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>収納方式</th> <th>柵高</th> <th>支間長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)</td> <td>4.3 m以下</td> <td>4.0 m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。 2. 支間長は、支柱の中心間長さとする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>張出し作業</th> <th>収納作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点検清掃・準備 → 防雪柵張出し → 後片付け</td> <td>準備 → 防雪柵収納 → 後片付け</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>		種類	収納方式	柵高	支間長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下	張出し作業	収納作業	点検清掃・準備 → 防雪柵張出し → 後片付け	準備 → 防雪柵収納 → 後片付け	<p>現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <caption>表1.1 防雪柵の種類及び柵高・支間長</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>収納方式</th> <th>柵高</th> <th>支間長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)</td> <td>4.3 3.5 m以下</td> <td>4.0 m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>張出し作業</th> <th>収納作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点検清掃・準備 → 防雪柵張出し → 後片付け</td> <td>準備 → 防雪柵収納 → 後片付け</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	種類	収納方式	柵高	支間長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 3.5 m以下	4.0 m以下	張出し作業	収納作業	点検清掃・準備 → 防雪柵張出し → 後片付け	準備 → 防雪柵収納 → 後片付け	<p>備考</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の削除 (歩掛り改定に伴う)</p>
種類	収納方式	柵高	支間長																								
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下																								
張出し作業	収納作業																										
点検清掃・準備 → 防雪柵張出し → 後片付け	準備 → 防雪柵収納 → 後片付け																										
種類	収納方式	柵高	支間長																								
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 3.5 m以下	4.0 m以下																								
張出し作業	収納作業																										
点検清掃・準備 → 防雪柵張出し → 後片付け	準備 → 防雪柵収納 → 後片付け																										
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3																								

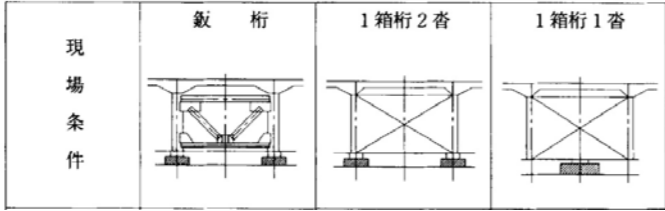
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																										
現	行	改 正	備 考																																										
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 防雪柵現地張出し・収納</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>表3.1 防雪柵現地張出し・収納 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>張出し</td> </tr> <tr> <td>収納</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、冬期安全施設における現地収納式防雪柵の張出し・収納の他、脚立及び工具の損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> </div> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p>表3.2 防雪柵現地張出し・収納 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		作業区分	張出し	収納	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	土木一般世話役	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <p>表3.1 防雪柵現地張出し・収納 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>防雪柵高さ(種類)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">張出し</td> <td>4.3m以下(吹払式・吹止式)</td> </tr> <tr> <td>4.3mを超え5.5m以下(吹止式)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収納</td> <td>4.3m以下(吹払式・吹止式)</td> </tr> <tr> <td>4.3mを超え5.5m以下(吹止式)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、冬期安全施設における現地収納式防雪柵の張出し・収納の他、脚立及び工具レンチの損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>現行どおり</p>	作業区分	防雪柵高さ(種類)	張出し	4.3m以下(吹払式・吹止式)	4.3mを超え5.5m以下(吹止式)	収納	4.3m以下(吹払式・吹止式)	4.3mを超え5.5m以下(吹止式)	<p>区分の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>
作業区分																																													
張出し																																													
収納																																													
項目	代表機労材規格	備考																																											
機械	K1	—																																											
	K2	—																																											
	K3	—																																											
労務	R1	普通作業員																																											
	R2	土木一般世話役																																											
	R3	—																																											
	R4	—																																											
材料	Z1	—																																											
	Z2	—																																											
	Z3	—																																											
	Z4	—																																											
市場単価	S	—																																											
作業区分	防雪柵高さ(種類)																																												
張出し	4.3m以下(吹払式・吹止式)																																												
	4.3mを超え5.5m以下(吹止式)																																												
収納	4.3m以下(吹払式・吹止式)																																												
	4.3mを超え5.5m以下(吹止式)																																												
積算上の注意事項	10・④・2		(控え頁) 2/3																																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現 行	改 正	備 考	
<p>4. 参考図(現地収納式防雪柵(吹払式)の概念図)</p>  <p>連動型 防雪板全数を同時に張出し・収納するタイプ</p> <p>単動型 防雪板を1枚毎に張出し・収納するタイプ</p> <p>10・④・3</p>	<p>4. 参考図(現地収納式防雪柵(吹払式)の概念図)</p>  <p>(1) 吹払式(連動型)</p> <p>連動型：防雪板全数を同時に張出・収納するタイプ</p> <p>(2) 吹払式(単動型)</p> <p>単動型：防雪板を一枚ごとに張出・収納するタイプ</p> <p>(3) 吹止式(連動型・単動型)</p> <p>連動型：防雪板全数を同時に張出・収納するタイプ 単動型：防雪板を一枚ごとに張出・収納するタイプ</p>	<p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の修正 (歩掛り改定に伴う)</p>	
積算上の注意事項		(控え頁) 3/3	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
⑦ 落下物等防止柵設置工	<p>1. 適用範囲 本資料は、橋梁等からの落下物により、沿道に支障がある場合に設置する落下物等防止柵の設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 金網が、エキスパンドメタル・菱形金網の場合</p> <p>(2) 支柱の設置方法が埋込型・取付型の場合</p> <p style="text-align: center;">参考図（取付型）</p>  <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、橋梁等からの落下物により、沿道に支障がある場合に設置する落下物等防止柵の設置のうち、投下物防止柵を設置する場合に適用する。なお、落下物等防止柵の種類は次による。</p> <p>(1) 投下物防止柵：跨道橋等から石、空缶類、その他物品等が落下して下方の道路等における走行車輛等の安全を阻害することのないよう路側に設置するもの</p> <p>(2) 積荷転落防止柵：道路から車輛積載物等が下方の鉄道、道路、建築物等へ落下し、被害が及ぶことを阻止するために路側に設置するもの</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 投下物防止柵を壁高柵（天端または内側側面）に設置し、柵の天端高さが路面から2.0mの場合</p> <p>(1) 金網が、エキスパンドメタル・菱形金網の場合</p> <p>(2) 支柱の設置方法が埋込型・取付型の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 積荷転落防止柵を設置する場合</p> <p>(2) 柵の支柱を壁高柵外側側面または鋼製高柵等へ取付ける場合</p> <p>(3) 金網がエキスパンドメタル・菱形金網以外の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 足場等が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">削除</p>	<p>語句の追加・修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の削除 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の追加 (歩掛り改定に伴う)</p>
積算上の注意事項	10・⑦・1		(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																											
現	行	改	正																																																																																											
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 落下物等防止柵</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>落下物等防止柵における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <p>(注) 1. 落下物等防止柵のアンカーボルト設置、支柱建込、金網設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、落下物等防止柵（材料費）は含まない。 2. 落下物等防止柵の材料費は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 落下物等防止柵 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p><u>落下物等防止柵における積算条件区分はない。</u> <u>積算単位は、mとする。</u> <u>条件区分は、次表を標準とする。</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.1 落下物等防止柵 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</caption> <thead> <tr> <th>アンカーボルト設置の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 落下物等防止柵のアンカーボルト設置（コンクリート削孔を含む）、<u>支柱建込、金網設置、現場内小運搬の他、電動ハンマドリル、インパクトレンチ、脚立の損料及び電力に関する経費等</u>、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、落下物等防止柵（材料費）、<u>アンカーボルト（材料費）</u>は含まない。 2. 落下物等防止柵の材料費は、別途計上する。 3. <u>アンカーボルトの材料費は、必要に応じ別途計上する。</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表3.12 落下物等防止柵 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><u>特殊作業員</u></td> <td><u>アンカーボルト設置有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アンカーボルト設置の有無	有り	無し	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	<u>特殊作業員</u>	<u>アンカーボルト設置有りの場合</u>	R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>区分の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>記載の追加 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>語句の修正 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表労務の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																											
機械	K1	—																																																																																												
	K2	—																																																																																												
	K3	—																																																																																												
労務	R1	普通作業員																																																																																												
	R2	土木一般世話役																																																																																												
	R3	—																																																																																												
	R4	—																																																																																												
材料	Z1	—																																																																																												
	Z2	—																																																																																												
	Z3	—																																																																																												
	Z4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
アンカーボルト設置の有無																																																																																														
有り																																																																																														
無し																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																											
機械	K1	—																																																																																												
	K2	—																																																																																												
	K3	—																																																																																												
労務	R1	普通作業員																																																																																												
	R2	土木一般世話役																																																																																												
	R3	<u>特殊作業員</u>	<u>アンカーボルト設置有りの場合</u>																																																																																											
	R4	—																																																																																												
材料	Z1	—																																																																																												
	Z2	—																																																																																												
	Z3	—																																																																																												
	Z4	—																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																												
10・⑦・2		現行どおり																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2																																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行																																																						
現 行	改 正																																																							
<p>3-2 鉄筋 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr><th>鉄筋規格</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>SD295A D10</td></tr> <tr><td>SD295A D13</td></tr> <tr><td>SD295A D16</td></tr> <tr><td>SD345 D10</td></tr> <tr><td>SD345 D13</td></tr> <tr><td>SD345 D16~25</td></tr> <tr><td>SR235 φ9</td></tr> <tr><td>SR235 φ13</td></tr> <tr><td>SR235 φ16~25</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、鉄筋(普通鉄筋・異形鉄筋、径9~25mm)の現場加工及び組立作業の他、鉄筋加工機、切断機、結束線及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 鉄筋の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.02) 3. 鉄筋の切断ロス等については、スクラップ控除しない。 4. 溶接作業が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 鉄筋 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>鉄筋工</td></tr> <tr><td>R2</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">11・⑩・3</p>	鉄筋規格	SD295A D10	SD295A D13	SD295A D16	SD345 D10	SD345 D13	SD345 D16~25	SR235 φ9	SR235 φ13	SR235 φ16~25	各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	鉄筋工	R2	普通作業員	R3	土木一般世話役	R4	—	材料	Z1	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">(積算単位：t)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr><th>鉄筋規格</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>SD295A D10</td></tr> <tr><td>SD295A D13</td></tr> <tr><td>SD295A D16</td></tr> <tr><td>SD345 D10</td></tr> <tr><td>SD345 D13</td></tr> <tr><td>SD345 D16~25</td></tr> <tr><td>SR235 φ9</td></tr> <tr><td>SR235 φ13</td></tr> <tr><td>SR235 φ16~25</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">語句の削除</p>	鉄筋規格	SD295 A D10	SD295 A D13	SD295 A D16	SD345 D10	SD345 D13	SD345 D16~25	SR235 φ9	SR235 φ13	SR235 φ16~25	各種	備考
鉄筋規格																																																								
SD295A D10																																																								
SD295A D13																																																								
SD295A D16																																																								
SD345 D10																																																								
SD345 D13																																																								
SD345 D16~25																																																								
SR235 φ9																																																								
SR235 φ13																																																								
SR235 φ16~25																																																								
各種																																																								
項目	代表機材規格	備考																																																						
機械	K1	—																																																						
	K2	—																																																						
	K3	—																																																						
労務	R1	鉄筋工																																																						
	R2	普通作業員																																																						
	R3	土木一般世話役																																																						
	R4	—																																																						
材料	Z1	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13																																																						
	Z2	—																																																						
	Z3	—																																																						
	Z4	—																																																						
市場単価	S	—																																																						
鉄筋規格																																																								
SD295 A D10																																																								
SD295 A D13																																																								
SD295 A D16																																																								
SD345 D10																																																								
SD345 D13																																																								
SD345 D16~25																																																								
SR235 φ9																																																								
SR235 φ13																																																								
SR235 φ16~25																																																								
各種																																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行																																	
現	行	改	正																																
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 支承取替(鋼橋)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 支承取替(鋼橋) 積算条件区分一覧 (積算単位:基)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>支承形式</th> <th>現場条件</th> <th>下部工ブラケット取付の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">I</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">II</td> <td rowspan="2">鈹桁</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁2脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁1脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">III</td> <td rowspan="2">鈹桁</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁2脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1箱桁1脊</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">IV</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、橋梁補修工における鋼橋の鋼製支承からの支承取替、仮置場又は運搬用トラックまでの搬運搬、桁付ブラケット取付、支承直下部の沓座コンクリートのはつりの他、電力に関する経費、コンクリートブレーカ、ピックハンマ、電気溶接機、油圧ジャッキ、手動油圧ポンプ、ガス切断機、ディスクサンダ、電気ドリルの損料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、鉄筋、型枠材、溶接棒、酸素、アセチレン、無収縮モルタル、チゼル、ドリル刃、ディスクサンドペーパー等の材料費、損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、支承(材料費)は含まない。</p> <p>2. 反力受け架台として下部工ブラケットを取付ける場合は、下部工ブラケット取付の有無「有り」とし、「3-6 下部工ブラケット取付」により別途計上すること。</p> <p>3. 支承の材料費は別途計上する。</p> <p>4. 桁付ブラケットの材料費(製作費含む)は、別途計上する。</p> <p>5. 現場補修塗装は別途考慮する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>現場条件</p>  <p>図3.1 現場条件</p> </div> </div>		支承形式	現場条件	下部工ブラケット取付の有無	I	-	無し	有り	II	鈹桁	無し	有り	1箱桁2脊	無し	有り	1箱桁1脊	無し	有り	III	鈹桁	無し	有り	1箱桁2脊	無し	有り	1箱桁1脊	無し	有り	IV	-	無し	有り	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <hr style="border: 1px solid black;"/> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p>語句の修正</p>
支承形式	現場条件	下部工ブラケット取付の有無																																	
I	-	無し																																	
		有り																																	
II	鈹桁	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁2脊	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁1脊	無し																																	
		有り																																	
III	鈹桁	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁2脊	無し																																	
		有り																																	
	1箱桁1脊	無し																																	
		有り																																	
IV	-	無し																																	
		有り																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																

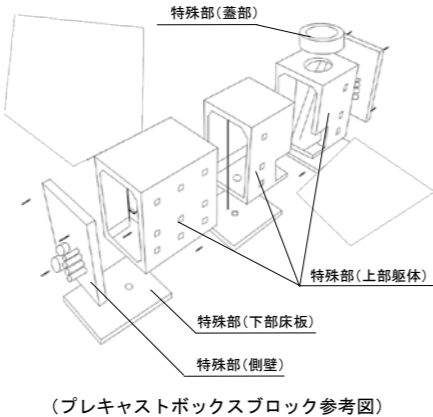
改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																								
	<p>現 行</p> <p>3-7 アンカーボルト挿入 アンカーボルト挿入は、「第IV編第3章道路維持修繕工③落橋防止装置工」を適用する。</p> <p>3-8 鉄筋（沓座拡幅工） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 鉄筋(沓座拡幅工) 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>鉄筋規格</th></tr> <tr><td>(表 3.4)</td></tr> </table> <p>(注) 1. コンクリート沓座拡幅工における鉄筋加工・組立の他、結束線、スペーサー、鉄筋加工機、切断機損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は+0.01 とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.4 鉄筋規格</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td>SD295A D13</td> </tr> <tr> <td>SD295A D16</td> </tr> <tr> <td>SD345 D13</td> </tr> <tr> <td>SD345 D16～25</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 鉄筋(沓座拡幅工) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>鉄筋工</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">11・②・4</p>	鉄筋規格	(表 3.4)	積算条件	区分	鉄筋規格	SD295A D13	SD295A D16	SD345 D13	SD345 D16～25	項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	鉄筋工	R 2	普通作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	—	材料	Z 1	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の削除</p>
鉄筋規格																																											
(表 3.4)																																											
積算条件	区分																																										
鉄筋規格	SD295A D13																																										
	SD295A D16																																										
	SD345 D13																																										
	SD345 D16～25																																										
項目	代表機労材規格	備考																																									
機械	K 1	—																																									
	K 2	—																																									
	K 3	—																																									
労務	R 1	鉄筋工																																									
	R 2	普通作業員																																									
	R 3	土木一般世話役																																									
	R 4	—																																									
材料	Z 1	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16																																									
	Z 2	—																																									
	Z 3	—																																									
	Z 4	—																																									
市場単価	S	—																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>② 電線共同溝工 (C・C・BOX)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 舗装版破砕積込 (1) 厚さが 15cm 以下のアスファルト舗装版の破砕及び積込作業の場合</p> <p>1-1-2 床掘り (1) 土質が土砂 (砂質土及び砂, 粘性土, レキ質土) の床掘り作業の場合</p> <p>1-1-3 埋戻し・締固め (1) 管路材及びプレキャストボックス設置後の埋戻し・締固め作業の場合</p> <p>1-1-4 運搬 (電線共同溝) (1) 舗装版破砕後のアスファルト塊及び床掘土砂の運搬作業の場合</p> <p>1-1-5 軽量鋼矢板設置・撤去 (1) 土留工における軽量鋼矢板の設置及び撤去作業の場合</p> <p>1-1-6 覆工板設置・撤去 (1) 覆工板の設置及び撤去作業の場合</p> <p>1-1-7 管路材設置 (1) 露出部に単管 (呼び径 150mm 以下) を設置する場合 (2) 埋設部に単管・FA管 (呼び径 150mm 以下), ボディ管 (呼び径 200mm (さや管 12 条以下), 250mm (さや管 21 条以下)), 多条管 (可とう性のある波付き管路材で呼び径 150mm 以下) を設置する場合</p> <p>1-1-8 プレキャストボックス工 (1) 質量が 11,000kg 以下のプレキャストボックスブロックの設置作業の場合</p> <p>1-1-9 蓋設置工 (1) 質量が 2,000kg 以下の蓋の設置作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 運搬 (電線共同溝) (1) 運搬距離が 60km を超える場合 (2) 自動車専用道路を利用する場合</p> <p>1-2-2 管路材設置 (1) 多孔管を設置する場合 (2) 材質が合成樹脂製品以外の場合</p>		<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の追加</p>
12・①・1			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/5

改正理由	一部改正	改正 現行																																																
現	行	改	正																																															
<p>3-3 埋戻し・締固め</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 埋戻し・締固め 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">土質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土砂</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">中埋砂</td></tr> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(注) 1. 電線共同溝工における埋戻し・締固めの他、締固め機械（ランマ・振動コンパクタ）、水締施工器具（散水車・高圧洗浄機・発動発電機）、竹ぼうき、スコップの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 中埋砂の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.20）</p> <p>3. 埋戻し・締固め（中埋砂）の締固めは、水締施工とする。</p> <p>4. 水締施工に用いる水に、水代が必要な場合は、別途計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 埋戻し・締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3（平積0.2m3）吊能力1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>砂 再生砂</td> <td>土質が中埋砂の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">12・①・5</p>		土質	土砂	中埋砂	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3（平積0.2m3）吊能力1.7t	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手（特殊）		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	砂 再生砂	土質が中埋砂の場合	Z2	軽油1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(注) 1. 電線共同溝工における埋戻し・締固め、<u>埋設表示シートの設置作業</u>の他、締固め機械（ランマ・振動コンパクタ）、水締施工器具（散水車・高圧洗浄機・発動発電機）、竹ぼうき、スコップの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 中埋砂の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.20）</p> <p><u>3. 埋設表示シートの材料費は、別途計上する。</u></p> <p>4. 埋戻し・締固め（中埋砂）の締固めは、水締施工とする。</p> <p>5. 水締施工に用いる水に、水代が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p>備考</p> <p>語句の追加</p> <p>記載の追加・修正</p>
土質																																																		
土砂																																																		
中埋砂																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																
機械	K1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3（平積0.2m3）吊能力1.7t	賃料																																															
	K2	—																																																
	K3	—																																																
労務	R1	普通作業員																																																
	R2	運転手（特殊）																																																
	R3	土木一般世話役																																																
	R4	特殊作業員																																																
材料	Z1	砂 再生砂	土質が中埋砂の場合																																															
	Z2	軽油1.2号 バトロール給油																																																
	Z3	—																																																
	Z4	—																																																
市場単価	S	—																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5																																															

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																												
現	行	改 正	備 考																																												
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 運搬(電線共同溝) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 軽量鋼矢板設置・撤去 (1) 条件区分 軽量鋼矢板設置・撤去到積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(注) 1. 電線共同溝における軽量鋼矢板、切梁・腹越し材の設置・撤去及び運搬距離 30m 程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、軽量鋼矢板等の賃料は含まない。</p> </div> <p>2. 現場条件により、根入れが必要な場合及び他の土留工法を行う場合は別途考慮する。 3. 矢板設置延長は、総延長とする。 4. 軽量鋼矢板等に関する賃料等は、別途計上する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>参考図(土留工)</p> <p>12・①・7</p> </div>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2	—		K3	—		労務	R1	運転手(一般)		R2	—		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(注) 1. 電線共同溝における軽量鋼矢板、切梁・<u>腹越し</u>材の設置・撤去及び運搬距離 30m 程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、軽量鋼矢板等の賃料は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																												
機械	K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																												
	K2	—																																													
	K3	—																																													
労務	R1	運転手(一般)																																													
	R2	—																																													
	R3	—																																													
	R4	—																																													
材料	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5																																												

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																								
現	行	改 正	備 考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 軽量鋼矢板設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m³（平積 0.2m³）吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6 覆工板設置・撤去 (1) 条件区分 覆工板設置・撤去到積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 電線共同溝工における覆工板の設置・撤去等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、覆工板の賃料は含まない。 2. 覆工板設置撤去の施工数量は、工事中の延べ設置・撤去面積とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 覆工板設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m³（平積 0.2m³）吊能力 1.7t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）吊能力 1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手（特殊）		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）吊能力 1.7t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手（特殊）		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）吊能力 1.7t	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	普通作業員																																																																																									
	R 2	特殊作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	運転手（特殊）																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目	代表機材規格		備考																																																																																								
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m ³ （平積 0.2m ³ ）吊能力 1.7t	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	普通作業員																																																																																									
	R 2	運転手（特殊）																																																																																									
	R 3	特殊作業員																																																																																									
	R 4	土木一般世話役																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項	12・①・8		(控え頁) 4/5																																																																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考					
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>3-8 受金具（材料費） （1）条件区分 受金具（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-9 支持金具（材料費） （1）条件区分 支持金具（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-10 管路受台（スペーサ）（材料費） （1）条件区分 管路受台（スペーサ）（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-11 プレキャストボックスブロック設置 （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 プレキャストボックスブロック設置 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ボックスブロック1個当り質量</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000 kg以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000 kgを超え4,000 kg以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,000 kgを超え11,000 kg以下</td> </tr> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、プレキャストボックスブロックの設置、水抜きドレーンの設置等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 特殊部（プレキャストボックス）は、側壁、本体（上部躯体、下部床版）からなる個々のブロックより構成される。 3. 上表にて計上するボックスブロック個数は、蓋、受枠を除く側壁、本体（上部躯体、下部床版）によるブロック数を計上する。なお、上部躯体質量は、蓋部、調整リング及び受枠の質量を含めないものとする。 4. 水抜きドレーン材は、必要量を別途計上する。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p style="text-align: center;">(プレキャストボックスブロック参考図)</p> <p style="text-align: center;">12・①・12</p> </div>	ボックスブロック1個当り質量	1,000 kg以下	1,000 kgを超え4,000 kg以下	4,000 kgを超え11,000 kg以下	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
ボックスブロック1個当り質量								
1,000 kg以下								
1,000 kgを超え4,000 kg以下								
4,000 kgを超え11,000 kg以下								
積算上の注意事項			(控え頁) 5/5					

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																																																		
現 行		改 正																																																																																																																																																																																		
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 舗装版破砕</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>舗装版破砕に積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 舗装厚さ 15cm 以下のアスファルト舗装版破砕積込作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. バックホウによる舗装厚さ 15cm 以下のアスファルト舗装版破砕積込作業以外の場合は、「第IV編第3章②舗装版破砕工」による。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m³（平積 0.22m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 床掘り</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>床掘りに積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 床掘り作業及び基面整正の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption style="text-align: center;">表3.2 床掘り 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m³（平積 0.22m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.22m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.22m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.2845m³（平積 0.2235m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <caption style="text-align: center;">表3.2 床掘り 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.2845m³（平積 0.2235m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.2845m ³ （平積 0.2235m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.2845m ³ （平積 0.2235m ³ ）	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手（特殊）		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p> <p style="text-align: center;">代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.22m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																		
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.22m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																		
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.2845m ³ （平積 0.2235m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																		
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 山積 0.2845m ³ （平積 0.2235m ³ ）	賃料																																																																																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																																																																		
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																																																																																		
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																		
	Z 2	—																																																																																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																																																		
積算上の注意事項	12・②・3		(控え頁) 1/6																																																																																																																																																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																															
現	行	改 正	備 考																															
<p>3-3 埋戻し</p> <p>(1) 条件区分 埋戻しに積算条件区分はない。 積算単位は、m³とする。</p> <p>(注) 1. 埋戻し・締固め、埋設表示シートの設置作業の他、締固め機械の損料・運転経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、中埋材（材料費）及び埋設表示シート（材料費）は含まない。 2. 埋戻しに砂を使う場合の砂材料費は、別途計上する。 3. 埋設表示シートの材料費は、別途計上する。 4. 水締めにおける用水に関する経費が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>表3.3 埋戻し 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m³（平積 0.22m³）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.22m ³ ）	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p>	<p>代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）[超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）] 山積 0.28m ³ （平積 0.22m ³ ）	賃料																																
	K 2 -																																	
	K 3 -																																	
労務	R 1 普通作業員																																	
	R 2 土木一般世話役																																	
	R 3 特殊作業員																																	
	R 4 運転手（特殊）																																	
材料	Z 1 軽油 1.2号 バトロール給油																																	
	Z 2 -																																	
	Z 3 -																																	
	Z 4 -																																	
市場単価	S -																																	
<p>3-4 中埋材（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>表3.4 中埋材 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</caption> <thead> <tr> <th>中埋材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入土</td> </tr> <tr> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>碎石</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 中埋材の数量は必要量とする。</p> <p>3-5 埋設表示シート（材料費）</p> <p>(1) 条件区分 埋設表示シート（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 (注) 埋設表示シートのロス率は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>表3.5 ロス率(K)</caption> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>埋設表示シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">12・②・4</p>		中埋材	購入土	砂	碎石	材料名	埋設表示シート	ロス率	+0.02	<p>現行どおり</p>																								
中埋材																																		
購入土																																		
砂																																		
碎石																																		
材料名	埋設表示シート																																	
ロス率	+0.02																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 2/6																															

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

3-6 基礎材
(1) 条件区分
条件区分は、次表を標準とする。

表3.6 基礎材 積算条件区分一覧
(積算単位：m2)

碎石の厚さ	碎石の種類
7.5cm以下	(表 3.7)
7.5cmを超え12.5cm以下	
12.5cmを超え17.5cm以下	
17.5cmを超え20.0cm以下	

(注) 1. 上表は、厚さ 20cm 以下の基礎材の敷均し・締固め作業の他、締固め機械の損料・運転経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 基礎材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.17)

表3.7 碎石の種類

積算条件	区分
碎石の種類	クラッシュヤラン 80~0
	クラッシュヤラン 40~0
	クラッシュヤラン 30~0
	クラッシュヤラン 20~0
	高炉スラグ CS-40
	高炉スラグ MS-25
	高炉スラグ HMS-25
	再生クラッシュヤラン 80~0
	再生クラッシュヤラン 40~0
	各種

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.8 基礎材 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.22m3)	賃料
	K 2 -	
	K 3 -	
労務	R 1 普通作業員	
	R 2 土木一般世話役	
	R 3 特殊作業員	
	R 4 運転手(特殊)	
材料	Z 1 再生クラッシュヤラン RC-40	
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 3 -	
	Z 4 -	
市場単価	S -	

現行どおり

表3.8 基礎材 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.2845m3 (平積 0.2235m3)	賃料
	K 2 -	
	K 3 -	
労務	R 1 普通作業員	
	R 2 土木一般世話役	
	R 3 特殊作業員	
	R 4 運転手(特殊)	
材料	Z 1 再生クラッシュヤラン RC-40	
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	
	Z 3 -	
	Z 4 -	
市場単価	S -	

代表機械の変更
(歩掛り改定に伴う)

12・㊦・5

積算上の注意事項			(控え頁) 3/6
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																		
現 行		改 正																																																		
<p>3-7 埋設部管路材設置 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 埋設部管路材設置 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>本体管の材質</th> <th>さや管の材質</th> <th>設置区分</th> <th>さや管の条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート製</td> <td rowspan="2">VU・FEP 管類</td> <td>本体管設置</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>さや管設置</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂製</td> <td>VU 管類</td> <td>本体管及びさや管設置</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td>FEP 管類</td> <td>本体管設置</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>さや管設置</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td>鋼 製</td> <td>—</td> <td>本体管設置</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、本体管、本体管用スリーブ、伸縮継手の設置作業及びさや管、さや管用スリーブ、伸縮継手の設置、通線確認、管内清掃の作業の他、本体管の材質が合成樹脂製のさや管設置（FEP管類）の場合のさや管引込用ウインチの損料及びベルマウス等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、スリーブ（材料費）及び伸縮継手（材料費）は含まない。 2. スリーブ及び伸縮継手の材料費は別途計上する。 3. 管路材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.01） 4. コンクリート製には、ヒューム管を含む。 5. 本体管設置の鋼製は、さや管のない構造でφ50mmの場合に適用する。 6. さや管設置のVU管類は、数m毎に管材どうしを現場接続する管材を用いる場合に適用し、FEP管類は、長尺で現場接続が不要な管材を用いる場合に適用し、管材種が異なっても設置方法が同一であれば上表を適用する。 7. さや管設置延長は、本体管延長をいう。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 さや管条数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">さや管の条数</td><td>1 管</td></tr> <tr><td>2 管</td></tr> <tr><td>3 管</td></tr> <tr><td>4 管</td></tr> <tr><td>5 管</td></tr> <tr><td>6 管</td></tr> <tr><td>7 管</td></tr> <tr><td>8 管</td></tr> <tr><td>9 管</td></tr> <tr><td>10 管</td></tr> <tr><td>11 管</td></tr> <tr><td>12 管</td></tr> <tr><td>13 管</td></tr> <tr><td>14 管</td></tr> <tr><td>15 管</td></tr> <tr><td>16 管</td></tr> <tr><td>17 管</td></tr> <tr><td>18 管</td></tr> <tr><td>19 管</td></tr> <tr><td>20 管</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">12・㊸・6</p>		本体管の材質	さや管の材質	設置区分	さや管の条数	コンクリート製	VU・FEP 管類	本体管設置	—	さや管設置	(表 3.10)	合成樹脂製	VU 管類	本体管及びさや管設置	(表 3.10)	FEP 管類	本体管設置	—			さや管設置	(表 3.10)	鋼 製	—	本体管設置	—	積算条件	区分	さや管の条数	1 管	2 管	3 管	4 管	5 管	6 管	7 管	8 管	9 管	10 管	11 管	12 管	13 管	14 管	15 管	16 管	17 管	18 管	19 管	20 管	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">7. さや管設置延長は、条数に関係なく本体管延長の数量をいう。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		備考
本体管の材質	さや管の材質	設置区分	さや管の条数																																																	
コンクリート製	VU・FEP 管類	本体管設置	—																																																	
		さや管設置	(表 3.10)																																																	
合成樹脂製	VU 管類	本体管及びさや管設置	(表 3.10)																																																	
	FEP 管類	本体管設置	—																																																	
		さや管設置	(表 3.10)																																																	
鋼 製	—	本体管設置	—																																																	
積算条件	区分																																																			
さや管の条数	1 管																																																			
	2 管																																																			
	3 管																																																			
	4 管																																																			
	5 管																																																			
	6 管																																																			
	7 管																																																			
	8 管																																																			
	9 管																																																			
	10 管																																																			
	11 管																																																			
	12 管																																																			
	13 管																																																			
	14 管																																																			
	15 管																																																			
	16 管																																																			
	17 管																																																			
	18 管																																																			
	19 管																																																			
	20 管																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																																																	

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.11 埋設部管路材設置 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	・賃料 ・本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	特殊作業員	
	R 4	運転手 (特殊)	本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
材料	Z 1	ボックスカルバート RC B300×H300×L2000 T-25 土被り 0.2~3.0m	本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
		硬質塩化ビニル管 (VU管 JIS K6741) φ 250mm	本体管の材質が合成樹脂製でVU管類の本体管及びびさや管設置又はFEP管類の本体管設置の場合
		管路材 ポリエチレン被覆軽量鋼管 φ 50mm	本体管の材質が鋼製で本体管設置の場合
		FEP 50mm	本体管の材質がコンクリート製でさや管設置又は本体管の材質が合成樹脂製でFEP管類のさや管設置の場合
	Z 2	軽油 1.2号 パトロール給油	本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
	Z 3	—	
	Z 4	—	
	市場単価	S	—

現行どおり

表3.11 埋設部管路材設置 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格		備考
機械	K 1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t	・賃料 ・本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	特殊作業員	
	R 4	運転手 (特殊)	本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
材料	Z 1	ボックスカルバート RC B300×H300×L2000 T-25 土被り 0.2~3.0m	本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
		硬質塩化ビニル管 (VU管 JIS K6741) φ 250mm	本体管の材質が合成樹脂製でVU管類の本体管及びびさや管設置又はFEP管類の本体管設置の場合
		管路材 ポリエチレン被覆軽量鋼管 φ 50mm	本体管の材質が鋼製で本体管設置の場合
		FEP 50mm	本体管の材質がコンクリート製でさや管設置又は本体管の材質が合成樹脂製でFEP管類のさや管設置の場合
	Z 2	軽油 1.2号 パトロール給油	本体管の材質がコンクリート製で本体管設置の場合
	Z 3	—	
	Z 4	—	
	市場単価	S	—

代表機械の変更
(歩掛り改定に伴う)

積算上の注意事項			(控え頁) 5/6
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																															
	<p>3-10 伸縮継手 (材料費) (1) 条件区分 伸縮継手 (材料費) に積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。</p> <p>3-11 ハンドホール (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.14 ハンドホール 積算条件区分一覧 (積算単位: 個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 4.9t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 16t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 20t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 25t 吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(注) 1. ハンドホール、蓋、固定板、支持金具の設置作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、ハンドホール蓋 (材料費)、ハンドホール固定板 (材料費) 及び支持金具 (材料費) は含まない。 2. ハンドホール蓋、ハンドホール固定板及び支持金具の材料費は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.15 ハンドホール 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">機械</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 4.9t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">労務</td> <td>R 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 2 ハンドホール 900×900×900mm 蓋無し</td> <td>トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊の場合</td> </tr> <tr> <td>Z —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	クレーン機種		トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊		ラフテレーンクレーン 4.9t 吊		ラフテレーンクレーン 16t 吊		ラフテレーンクレーン 20t 吊		ラフテレーンクレーン 25t 吊		項目	代表機材材規格	備考	機械	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 4.9t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	賃料	—	—	労務	R 普通作業員		R 土木一般世話役		R 特殊作業員		材料	Z 2 ハンドホール 900×900×900mm 蓋無し	トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊の場合	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊の場合	Z —		Z —		市場単価	S —		<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p> <p>代表機械の変更 (歩掛り改定に伴う)</p>
クレーン機種																																																		
トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊																																																		
ラフテレーンクレーン 4.9t 吊																																																		
ラフテレーンクレーン 16t 吊																																																		
ラフテレーンクレーン 20t 吊																																																		
ラフテレーンクレーン 25t 吊																																																		
項目	代表機材材規格	備考																																																
機械	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	賃料																																																
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 4.9t 吊	賃料																																																
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	賃料																																																
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	賃料																																																
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	賃料																																																
	—	—																																																
労務	R 普通作業員																																																	
	R 土木一般世話役																																																	
	R 特殊作業員																																																	
材料	Z 2 ハンドホール 900×900×900mm 蓋無し	トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊の場合																																																
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊の場合																																																
	Z —																																																	
	Z —																																																	
市場単価	S —																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 6/6																																															

表3.14 ハンドホール 積算条件区分一覧
(積算単位: 個)

クレーン機種	
トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊	バックホウ (クローラ型)
ラフテレーンクレーン 4.9t 吊	
ラフテレーンクレーン 16t 吊	
ラフテレーンクレーン 20t 吊	
ラフテレーンクレーン 25t 吊	

表3.15 ハンドホール 代表機材材規格一覧

項目	代表機材材規格	備考
機械	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級 吊能力 2.9t	賃料
	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.45m³ (平積 0.35m³) 吊能力 2.9t	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 4.9t 吊	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	
	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	
労務	R 普通作業員	
	R 土木一般世話役	
	R 特殊作業員	
材料	Z 2 ハンドホール 900×900×900mm 蓋無し	トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊バックホウ (クローラ型) の場合
	Z 2 軽油 1.2号 バトロール給油	トラック (クレーン装置付) 4t 積・2.9t 吊バックホウ (クローラ型) の場合
	Z —	
	Z —	
市場単価	S —	